

四季折々 2008

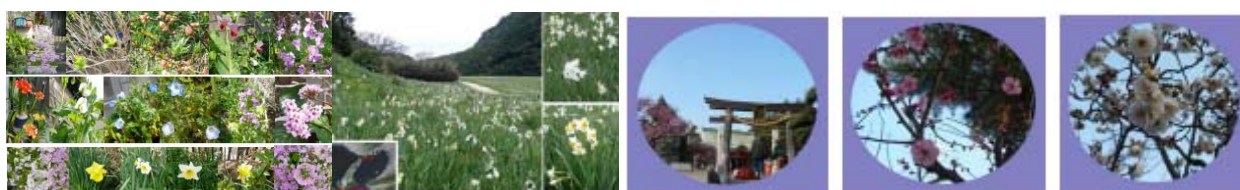
2008 四季折々 Mutsu 季節の便り <<神戸便り>>

2008 四季折々 おもいつくままに From Kobe

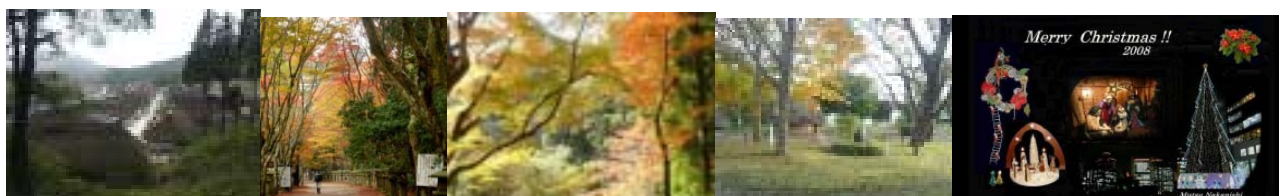
Mutsu.Nakanishi Home Page

<http://www.asahi-net.or.jp/~zp4m-nkns/>

2009.1.15.



By Mutsuo Nakanishi



四季折々 Mutsu 2008 神戸便り

■ 四季折々 Mutsu 2008 季節の便り

■ 四季折々 Mutsu 神戸便り 2008

■ [神戸で 思いつくまま 2008 From Kobe の page](#)

Monthly Top Page 1月~12月 季節の便り

Internetに掲載されていた オバマ・バラード

「Yes We Can」やれば出来る

I was a creed written into the founding documents that declared the destiny of a nation.
Yes we can.
It was whispered by slaves and abolitionists as they blazed a trail toward freedom.
Yes we can. Yes we can.
It was sung by immigrants as they struck out from distant shores
and pioneers who pushed westward against an unforgiving wilderness.
Yes we can. Yes we can.

やれば出来る
その信念で 憲法が書かれ 国が独立したじゃないか
そう、やれば出来る
それで 奴隷達と奴隷廃止論者は自由への道を切り開いただろう
やれば出来るんだ。
移民達は遠い海を渡り、
そして開拓者達は厳しい荒野を西に進んだ
歌詞はニューハンプシャー州の予備選後のオバマ氏のスピーチからとったもの、
the Black Eyed PeasのメンバーWilliam James Adams Jrが作曲、
ボブ・ディランの息子 Jesse Dylan がディレクターで作成された。

From Kobe			
1	2008年1月 年の初めに「くろがね」の「くろがかり」の美しさと暖かさ	2008.1.1.	fkobe0801.pdf
2.	From Kobe 2月 日本人の一部 節分の「鬼」	2008.2.3.	fkobe0802.pdf
3.	From Kobe 3月 鉄のモニュメント 世界遺産になっているこんな珍しい橋がある 世界遺産 世界最古の運搬橋「ス ペイン ビスカヤ橋」 TV TBS「世界遺産」2008.2.24. & インターネット「ビスカヤ橋」様率より	2008.3.1.	fkobe0803.pdf
4.	From Kobe 4月 4月 神戸より 思いつくまま 1. 3月23日 イースター・復活日に 2. 卑弥呼の時代 「大和への鉄の道」のルートは 淀川・大和川・紀ノ川 ??? やつぱり 大和川が最も有力か... 畿内に現れる庄内式土器が語る卑弥呼の重要路	2008.4.5.	fkobe0804a.pdf fkobe0804b.pdf
5.	From Kobe 5月 【1】大阪 国際ウエルディングショーに「ものづくり」の現実 【2】久しぶりにアフリカのむかしばなしとアフリカのリズムを堪能	2008.5.5.	fkobe0805a.pdf fkobe0805b.pdf
6.	From Kobe 8月 借 別 言葉と心の壁越える達人と愛された 江ローズさんが急逝 この5月「久しぶりに 江ロサロンの人たちに会えた」と紹介した仲間	2008.8.5.	fkobe0808a.pdf
7	From Kobe 9月 帯木蓮生著「国領」（新潮社）に物づくりの思いを見る 奈良の大仏を作った長谷の銅の周辺で	2008.9.5.	fkobe0809.pdf
8.	From Kobe 10月 「混乱の時代に」 「変えられないものを受け入れる 心の静けさ 変えられるものを変える 勇気と その両者を見わける	2008.10.1.	fkobe0810.pdf
9.	From Kobe 11月 1. Yes We Can やれば できる 2. 巣に引っかかった虫の振動で獲物を知る蜘蛛	2008.11.15.	fkobe0811.pdf



Merry Christmas & A Happy New Year !!



鉄の故郷 鍛冶職人が作る飾り看板が中世の街並みを演出
ドイツ ロマンチック街道 ローテンブルクの旧鍛冶屋敷



2008年元旦

by Mutsu Nakanishi

「くろがね」の「くろびかり」の美しさと暖かさ そんな思いが頭をよぎっています

本年もよろしくお祈りします。

昨年12月南ドイツのクリスマスの装いをした中性の街並みをめぐるツアーに出かけました。

そんな中で、落ち着いた中世の街並みを飾る手作りの鉄看板とそれを支えた街の鍛冶屋敷に出会いました。

伝統の美しさというか 日本では失われつつある伝統の「流儀」がごく自然に生きていると感じました。

■ 鉄の故郷 南ドイツ ロマンチック街道の宝石 「ローテンブルク」

中世の街並を飾るマイスターが作る鉄看板と鍛冶屋敷 walk (2007.12.7.&12.8.)

日本の鉄「和鉄」も伝来して 2000 数余年。鉄の製品化技術である鍛冶技術は早くから習得されたが、鉄鉱石などの鉄原料から鉄素材を作る技術は 必死の努力がなされたと考えられるが、中々習得できなかった。

1000 年近くもかけて、鉄の製造法「たたら」製鉄を編み出し、それを改良しつつ、現代の製鉄業につながっています。

他の金属材料では早くに素材を作る技術が習得されたのに、鉄だけが なぜ 1000 年もかかったのだろうか…

色々な説があるが、未だに良く解らない。

「たたら製鉄」のルーツは朝鮮半島・大陸にあると考えられるが、その類型はどこかに置き去りにされたのか、見つかっておらず、日本で延々と技術改良が積重ねられ、日本独自の製鉄法として 編み出されたと考えるのが妥当と見られている。

重厚長大・「鉄」というともう時代遅れの旧態 学ぶものもなしといわれそうであるが、今 鉄の持つ種々の技術・仕組みが、先端産業・技術を支え、先端産業の引き起こす矛盾是正の対抗軸となっている局面をしばしば 耳にする。

まさに 2000 年の黒光り。

「1000 年近くも探し求めて、編み出した製鉄のすごさ」そんな鉄の「技」・「流儀」・「知恵」が、今 変革の 21 世紀の幾多の課題解決の知恵として力を発揮出来ると感じています。

かつて 「鉄」がそうであったように 今、時代の先端を走るグループがその未熟さゆえに、流儀のないまた、基準のない歯止めのきかぬ競争・格差を引き起こし、地球環境の悪化にも大きな負荷をかけている。

かつて 先端として同じ道を歩き、今既にその未熟さを克服した五金の王「鐵」の技・流儀・知恵が「黒びかり」を発揮せねば……と。

よく、なぜ 「今たたらなんだ」と問いかけられますが、「2000 数余年を生き抜いてきた技術のすごさに未来を見たい」というのも理由の一つ。

ドイツ ローテンブルクでみた鉄のマイスターの作る鉄看板の見事さが石畳の街並に本当に良くマッチしていて、ドイツ人の気質などに触れたことも、この「鉄」の伝統の技・流儀・知恵が今のドイツの社会に色濃く息づいていると感じました。

また、本年 1月17日 神戸では 阪神淡路大震災 13年。

1995年（平成7年）1月17日午前5時46分52秒 あの大地震の記憶がまざまざとよみがえってきます。

被災の記憶とともに 老も若きもみんなが一緒になれた記憶や暗闇にパッとついたルミナリエのまばゆい光も忘れることが出来ません。

阪神淡路大震災ばかりでなく、世界には 今も多くの災難に苦しんでいる人たちが数多くいます。

「風化させてはならない」と良く言われますが、それも 追悼と苦難の中で培った業・流儀・知恵ではないだろうか・・・

2007年のルミナリエ 財政難から来年の開催が危ぶまれ、100円募金を呼びかけていましたが、その募金額は予想をはるかに超え、目標額の倍以上に達したという。いかに神戸の人たちが この「ルミナリエ」に愛着を持ち、存続を期待しているかの現れと見た。

ここに「風化させてはならない」ものの思いがある。

今 激動の時代に「ふるくさい」といわずに 伝統の技・流儀・知恵に一度目をむけるべき時ではないか・・・

それが 新しい時代を生み出す駆動力 基準のない社会の行き過ぎに 新しい道をつけるのではないのでしょうか・・・

激動の中 新しい年が 平和で穏やかな年でありますよう

2008年1月 年の初めに 神戸にて by Mutsu Nakanishi





節分の朝 雪で真っ白



ラグビー観戦にはまっています



大阪狭山池 1500年前に作られたダム湖 この堤もそっくりそのまま

2月になって、寒い日が続いています。お変わりありませんでしょうか・・・

2月3日 節分の朝 家の周りは雪景色。

地球温暖化の影響かもしれませんが、めったに雪を見る機会も減ってしまいました。

1月は 神戸で「穴熊」になっていましたが、元気なのがとりえ。

「今 しかない」と また、動けるときに できるだけ 動こうと思っています。

神戸では 1月17日 阪神淡路大震災13年目に当たり、数々のイベントが行われました。

震災の傷跡をめったに目にすることも少なくなり、「震災の記憶を風化させてはならない」の 声もだんだん消され勝ち。

「忘れてはならないもの」そんな意識をしっかりとっておかねば・・・

ルミナリエに集まる人たちの中 この灯を消してはならないの高まりがあり、

また 震災の 話がはじまると あっちでも こっちでも「ひとつ

の輪」になれる。経験者が多い間にこの「輪」が生活の知恵に継承されてゆくことが、一番大事になっています。

一番心配なのは、「古いものに縛られては、何もできない」とばかりに、今流行の即決 議論の中に埋没してしまうこと。

まあ、年寄りが考えるのは そんなことですが・・・

また、新しい年になって、大学時代の友が一人亡くなりました。

頻繁に出会っていたというわけではありませんが、自分を理解してくれるかけがえのない友が、仕事を終えて やっと ゆっくり語り合えるようになったのに、あっけなく逝ってしまいました。

友人が言うには 身近で 本当に心細くなるなあ・・・と。

「でも、向こうに沢山 友がいるのだから」 元気出してと思うようにしようとしています。

年の初めをはさんで、2ヶ月 ホームページ ほったままでしたが、やっと更新ができました。相変わらずですが、暇な折にでもごらんください。



1月17日阪神淡路大震災13年

「追悼の祈り」

震災記念聖堂 神戸聖ヨハネ教会で

「動」風来坊 をスタート

- この1月 ラグビー観戦にはまっていました
- 古代 土木技術のモニュメント 約 1500 年前に作られた巨大なダム湖 狭山池
- 山口の萩焼の田中講平さんの作陶展「萩 田中講平 作陶展」横浜高島屋で開催
- 今月更新のホームページ 概要
 - 南ドイツの古い町並み クリスマス市のツアーに行ってきました 2007.12.4.-12.10.
 - たたら遺跡のルーツを探して
愛媛大学 成都平原の古代製鉄遺跡 日中合同発掘報告 シンポジウム
 - From Kobe 思いつくまま 2月
2月3日 節分に鬼を思う「日本人の祖先の一部 節分の鬼」
 - 「和鉄の道 Iron Road たたら製鉄遺跡を訪ねて」2007book 作成(PDF file)

■ この1月 ラグビー観戦にはまっていました



神戸 ウイング スタジアムで ラグビー トップリーグの試合を観る 2008.1.



2008.2.3. 雨で生駒が煙る中 花園ラグビー場で

この1月 高校時代の仲間に誘われて、久しぶりに「ラグビー トップリーグ」を数試合観戦しました。

バスケットボールで いつも よたよた走って 跳ね飛ばされてばかりいた時代が僕にもあったのですが、その中で得た快感みたいなものが、呼び起こされています。往年の名選手に重ねながら 人と人がぶつかりあうプレーに、若い血がさわぐというか 野球やサッカーにはない魅力を感じています。

昔「男と男のぶつかりあい」それが魅力。ほかでは味わえないと花園によく通いましたが、ここ数十年 グラウンドで観戦する機会もなく、そのままになっていました。赤 えび茶 緑に そして黒のジャージに昔のチームをダブラせながら、楽しんでます。

友人は今も「赤パン」でプレーする根っからのラグビー好き。グラウンドで繰り広げられるプレーの解説や往年のいろんな選手のプレーなどに花を咲かせながらの観戦。試合が終わると これをさかにな一杯も楽しく、ラグビー観戦の面白さにはまっています。

ラグビー人気もサッカーに押されて、下降線とと思っていましたが、往年のラグーマンの厚いのにびっくり。また、観衆も本当に熱心なんといっても ラグビー通の多いスタンドの熱気も魅力。

かつてのトップチーム 神戸製鋼は若返りの真っ最中。

残念ながら優勝できませんでしたが、平尾総監督が帰ってきて新しいチームづくり。

近鉄も次から久しぶりにトップリーグに復帰。また、楽しみが増えた1月でした。

■ 古代 土木技術のモニュメント 約 1500 年前に作られた巨大なダム湖 狭山池

その堰が今もしっかりと堤を支えています

1月31日古代史の仲間と「発掘された日本列島 2007」展が開催されている近つ飛鳥博物館とともに狭山池博物館 弥生文化博物館の3つの博物館をめぐるバスツアー。

「発掘された日本列島 2007」展は昨年6月から日本各地を回って、最期の開催地が大阪。

すでに、この展覧会の図録を買って、幾度となく読んでいたので、フレッシュな発見の感じはあまりありませんでした。

縄文土器のすばらしさは相変わらず。でも 北海道で出土した縄文時代の子供の五本指がきっちり、縁取られた手形にはびっくり。

また、水晶を細工した縄文人の石器をはじめてみました。淡いピンクがかかった鏝には引き込まれました。

でも、水晶はサヌカイトのようにスパッと割れず、細工がしにくく、あまり数は多くないようです。

また、弥生文化博物館の「大阪の地域展」には 尼崎大物遺跡から出土した遺物の数々。そして また 17世紀の外人が書いた地図に大阪・堺とともに「尼崎・AMAGASAKI」が 地図に記されていました。

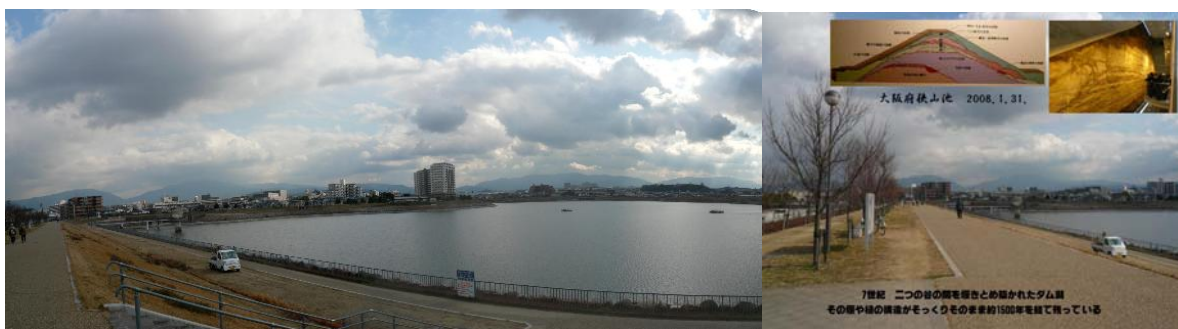
鎖国の時代に、故郷の地が広く 外人にも知られていたこと初めて知りました。

なんといっても びっくりしたのは 狭山博物館。以前から一度行きたいと思いながら行けなかった狭山池。

約1500年前に高さ10数メートル築かれた堰がその中に埋め込まれた樋とともにそっくりそのまま残っている。

しかも、この堰はほとんど粘土とっていい細かい土をつき固めて、幾重も積み重ねて作られている。

「土だけで、よう 持つものだ」とびっくり。もっとも それはそれで、きわめて緻密な技術が使われていると学芸員の人から教えてもらいました。



現在の狭山池と巨大な堰 2008.1.31. 写真奥に葛城・金剛の山並み



平成の大改修前の狭山池

平成の大改修後の狭山池

狭山博物館に展示されている堰の実物断面

狭山池は、池の東奥遠くに葛城・金剛山を眺める丘陵地の二つの谷の間を流れる川の間をせき止めて作られた大阪狭山市にある日本最古のダム式ため池。7世紀前半(616年か?)に築造されたとされ、『古事記』・『日本書紀』にもその名が記されている。

8世紀、行基 13世紀、重源による改修など幾度となく改修が重ねられ、平成の大改修でダム化するとともに、池の周囲は公園として整備されている。

1988年 平成の大改修時に樋や堤体の構造が、詳しく調査され、東樋の年輪年代測定結果から、7世紀前半につくられた日本最古のため池であることがわかった。

また堤体の盛り土が幾層にも積まれ、その1部に植物層を含む層があることが判明し中国や朝鮮から伝わった敷葉工法(しきはこうほう/葉のついた枝を土留めに使う工法)が用いられていることがわかった。

どうしても 建築物や出土した遺物に古来からの日本人の知恵・技術を見がちですが、一度 ぜひ出かけていってみる価値のある古代の土木技術のモニュメントです。

■ 山口の萩焼の田中講平さんの作陶展「萩 田中講平 作陶展」
陶芸に興味ある方 ぜひ 一度 お出かけを



「萩 田中講平 作陶展」横浜

期間 2月13日(水)→2月19日(火)

場所 横浜タカシマヤ (高島屋)
7階美術画廊

午前10時～午後7時30分

最終日は午後4時で閉会

横浜駅西口 横浜市西区南幸 1-6-31

Tel: (045)311-5111

〈陶 歴〉	
1952年 愛媛県砥部町千足に生まれる	2000年 西日本陶芸展 西日本新聞社賞受賞
1989年 砥部町永立寺堂にて修行	●日本伝統工芸展 6回入選
1993年 日本工芸会西国支部展 日本工芸会奨励賞受賞	●日本陶芸展(ビエンナーレ) 5回入選
1995年 萩市 島雲堂にて萩焼の修行 納富晋氏師事 一水会賞受賞	●水会陶芸展 13回入選
1998年 陶光会全国陶芸展 文部大臣奨励賞受賞	●他、受賞多数 ●個展多数開催
	現在 日本工芸会正会員

山口の良い仲間に加えてもらっている 萩焼陶 芸家の田中講平さんが、2月13日より、横浜高島屋で作陶展開催。
萩焼と磁器両方の世界にたけた田中さん 昨年 萩焼の陶芸家を中心とした「日本工芸会 山口」の記念大賞を受賞して
ますます円熟 新しいものにも挑戦。萩の七化けと言われる萩特有の持ち味と「優雅」を作品に探求する萩焼陶芸家。
伝統の萩焼に加え、独自のオブジェ作品も併せて 壺・花生・茶陶作品を中心に食器類を加えた新作 100 余点の展覧です。
萩焼に興味のある方 お近くの方 是非 一度 足をお運びください。
自分ひとりだけの愛用品が見つかるかも……

2008.2.5. by Mutsu Nakanishi

● ホーム ページ更新記事の概要 (2月5日更新)
ホームページを更新しました2月掲載した新しいページは下記の4件です。

■ 和鉄の道 Iron Road たたら遺跡探訪

1. 口 絵 和鉄の道 Iron Road 2007【7】

1. たたら製鉄の原点を探して 中国古代の巨大製鉄炉と中国西南部の重要性
2. たたら炉の製作過程 古代のたたら炉の製作過程
3. 古代製鉄炉の変遷 たたら炉の大きさと構造の変遷
4. 8世紀 モデル化された量産古代製鉄炉を完成 地方拠点に大製鉄コンビナートが出現
5. 和鉄の道 古代大和への道 北:淀川・木津川 西:大和川 南:紀ノ川

Iron Road 和鉄の道【7】 2007年総括版を作成。

2007年訪ねた製鉄遺跡などから、上記4件の写真を口絵にしました

Mutsu Nakanishi Home Page
『Iron Road 和鉄の道』2007【7】
- 日本の鉄道、たたら遺跡探訪 -
2008.2.5. by Mutsu Nakanishi



2. 愛媛大学「中国西南地域の鉄から古代東アジアの歴史を探る」シンポに参加して
ヒッタイト・ツタンカーメンの鉄そして四川をつなぐ西南シルクロードがたたら源流???

愛媛大学 東アジア古代鉄文化センターシンポジウム

「中国西南地域の鉄から古代東アジアの歴史を探る 鉄の起源を求めて」に参加して

1. 朝日新聞が伝える「四川省成都高原の古代製鉄遺跡の日中共同発掘調査」の意義
2. 東アジアへの製鉄技術の伝播 年表調査 まとめ 日本のたたら製鉄のルーツを求めて
3. 四川省 成都平原で発掘された古代の製鉄遺跡 愛媛大古代東アジア研究所・中国合同調査報告

愛媛大学 東アジア古代鉄文化センターシンポジウム参加 聴取概要 2007.10.27

4. 和鉄の道 たたら製鉄の源流を考える

ヒッタイト・ツタンカーメンの鉄 そして四川をつなぐ西南シルクロードの塊錬鉄がたたら源流 ???

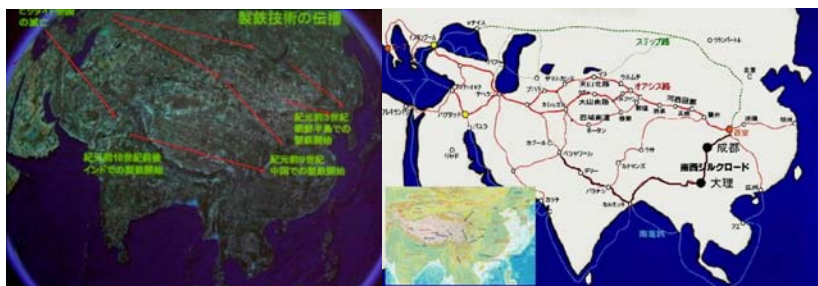
愛媛大学で「中国西南地域の鉄から古代東アジアの歴史を探る」シンポに参加して、中国古代の北西部に行くシルクロードともうひとつ最古の道 西南シルクロードがあり、アジアで生まれた鉄の伝播ルートとして、この西南シルクロードが重要ではないか・・・と聞く。特にヒッタイトの鉄 塊錬鉄の痕跡が溶融銑鉄法が広くいきわたる前の中国西南部に色濃く残っていると聞く。日本で製鉄が始まる5世後半から6世紀までの空白を埋める中国古代の製鉄の歴史。



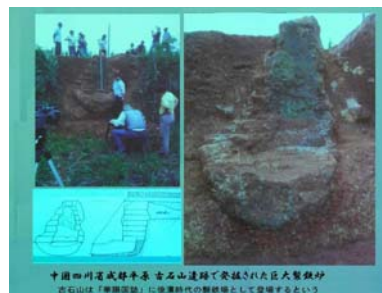
愛媛大学「中国西南地域の鉄から古代東アジアの歴史を探る」シンポ 2007.10.27.

鉄器伝来から製鉄開始まで800年もかかった日本のたたら製鉄は当時東アジアでは消滅している塊錬鉄法がたたら製鉄で忽然と現れた。このたたら製鉄ルーツの謎が解けるかもしれないと胸わくわく。

このシンポジウムの話を中心に西南シルクロードとそこに咲いた長江文明など調べて たたら製鉄・塊錬鉄について整理しました。また、中国漢代の巨大製鉄炉がそっくりそのまま出土。半信半疑だった中国古代の溶融銑鉄法にびっくりです。



東西のアジアを結ぶ西南シルクロード



成都高原で出土した古代中国の巨大製鉄炉

3. 中世の街並を飾るマイスターの作る飾り鉄看板と鍛冶屋敷 walk

南ドイツ クリスマスツア 見て歩き 鉄の故郷 南ドイツ ロマンティック街道の宝石「ローテンベルク」



鉄の故郷 鍛冶職人が作る飾り看板が中世の街並みを演出
ドイツ ロマンチック街道 ローテンブルクの旧鍛冶屋敷

昨年12月 クリスマスの装いをした南ドイツの中世の街並みをめぐるツアーに家内と二人参加。そんな中で、マンチック街道の小さな中世の城壁都市 グーテンベルグを訪れました。そこで、落ち着いた中世の街並みを飾る手作りの鉄看板とそれを支えた街の鍛冶屋敷に出会いました。伝統の美しさというか 日本では失われつつある伝統の「流儀」がごく自然に 生きていてと感じた鉄鍛冶職人の業。静かな中世の町並みと本当によくマッチした鉄看板 あこがれのスローライフ
南ドイツにはそんなことをほうふつとさせる静かな美しい街が今も生きています。

■ Country walk 風来坊

1. 南ドイツ クリスマス ツア 見て歩き (2007. 12. 4. -12. 10.)

ドイツ 中世の町並みと2007年クリスマス市を楽しみました 2007. 12. 4. -12. 10.

南ドイツの古い町並みと2007年クリスマス市を見て歩くツアーに家内と二人参加して歩いた南ドイツ見聞の写真アルバムです。



クリスマスを迎えるドイツ南部の街の風景をみるツアーで



■ From Kobe 2008年2月 おもいつくまま

1. From Kobe 2008年2月 日本人の一部 節分の「鬼」 2008.2.3.

また、同じような文になってしまいましたが、
節分になるといつも思い出す 東北 北上の
鬼 蝦夷の族長「アテルイ」

1月10日 朝日新聞に掲載された「アテルイ」
イ」の記事とあわせて紹介します。

坂上田村麻呂と蝦夷の族長「アテルイ」





春まじかの明石海峡



明石綱敷天満宮の梅

春の日差しにきらきら輝く明石海峡 行き交う船もふえ 梅の花も満開

神戸の春はもう まじか 春の風物詩 イカナゴ漁も 2月27日より始まりました

昨年とうってかわって、2月になって、暖かさがうそのような寒い日があったりですが、ようやく あちらこちらで 春の便りが聞かれるようになってきました。いかがお暮らしてでしょうか

ホームページを早春の便りに更新しました。

なにか いいことないやろか……と考えるのですが、家族ともども 毎日 平々凡々 気楽な生活送っている身 特になし。

でも「TVと話すな」といわれるのですが、次から次へとおかしなことが起こるものである。

食物・雇用偽装から賞味期限の偽装そして、老人相手の詐欺 そんな発想に 歯止めかけるやつおらんのか…と思っているところに 今度は中国輸入食品の農薬混入 そしてイージス艦の無謀操船による漁船衝突 よくまあ つぎからつぎへと……。

世は実感のない好景気。そんな中で、地方と中央の格差がますます広がってゆく。

それに「自己防衛・自己責任が基本だ」とあびせられる。

昔 ディベート術というのがあって、討論の中で 正・偽 善悪は別にして、相手を論破する術を学ぶということが、もてはやされた時代があった。今の世 そんな術がない庶民はいつも敗者に位置づけられているように見えて仕方がない。

俺は「六本木や赤坂なんかのど真ん中に住んでるとちやうぞ」と言いたくなってくる。

いったい 誰が喜んでいる社会なんでしょうか…… 年寄りのひがみかも。

春到来とともに こんな いらいらも ふっとんでほしいものです。

昨今「鉄」など重厚長大の基盤技術は過去のものといわれますが、TVなどで語られる華やかな先端技術の陰で それらが、いぶし銀のように支えている局面を数多く見る。

長年にわたり磨きぬかれた技術の源流の中で 培ってきた技術・流儀・組織・対応など そのすごさを社会に返さねば…と

重厚長大企業を持つ懐の深さと半導体など先端の未成熟企業の巨大パワーの弊害の抑止力

技術・考え方・ものづくり等々社会的影響力をその立場で行使することの重要性

3月23日はイースター キリストの受難から復活へ

自らをふりかえり、家族・周りの人たち・地球上の生きとし生きるもの すべてに思いを

本当に 何がおこるか分からぬ「自己中」の世の中 少しでも ほかの人たちと響きあえたらと思っています。
春はもうそこまで 元気なのがとりえ 前向いて
ホームページ 3月のページに更新しましたので ご高覧ください。

2008.3.1. Mutsu Nakanishi

「動」風来坊



■ 神戸 早春を求めて 陽だまりハイク

神戸のランドマーク「錨山」・「市章山」に登る
須磨の山から 明石海峡を眺める
淡路島の水仙郷



船の往来が多くなった明石海峡

神戸元町から眺めた左「錨山」 右「市章山」

南淡路 立川水仙郷

春の兆しに 足慣らしせねば・・・と ちょこちょこ 神戸の陽だまりハイクをはじめました。

元町を歩いていて、ふっと見上げた神戸のランドマーク「錨山」と「市章山」

夜のイルミネーションが神戸の市街地のどこからも見える。

「あのマークの上にとったことないなあ・・」と 元町から歩いて 1時間ほど
空気が澄んでいて 大阪湾から明石海峡 そして播磨灘まで見晴らせました。

毎年のことですが、神戸の春は明石海峡・須磨の梅から。

また、今年は淡路島の水仙郷にも 久しぶりにでかけました。

こんな神戸陽だまりハイクを今月の Country Walk のファイルに掲載しました。

暖冬といいながら、2月になってちょっと寒かったので、梅の開花は遅れているよう。 [春の陽ざしがきらきら 南淡路 紀淡海峡で](#)

イカナゴ漁も始まったようですが、去年は暖冬で不漁。今年は期待できそう。

市場やコープの店頭にはイカナゴの釘煮グッツもならび、みんな イカナゴが店頭に運び込まれるのを待ちかねています。

明石や垂水の港に船が入りだしたら、活気あふれる水揚げを見に港へ行ってみようと思っています。



■ 世界遺産になっているこんな珍しい橋がある

鉄のモニュメント 世界最古の運搬橋 スペイン ビスカヤ橋

2月24日 TV「世界遺産」の番組を見ていて、世界遺産に
なっている鉄構造の橋があるのを初めて知りました。

鉄製のワイヤーで空中にぶら下げられたゴンドラによって両岸
を渡る世界最古の運搬橋「ビスカヤ橋」

フランスと国境を接するスペイン北部バスク地方 ネルビオン川
に架かっている 1893年に建設された。

海上交通の妨げになることなく、また長い傾斜路をもつ巨大な
橋を造らずにすむ解決策。



TV TBS「世界遺産」 2008.2.24.

& インターネット「ビスカヤ橋」 検索より

現在使用されているゴンドラのキャパシティーは、約200人と乗用車12台(70人乗りの大型バス可)という。

行ったことはありませんが、 google earth の 3D 衛星写真でくつきりとその姿が見られました。

知らなかったのは 私だけかもしれませんが、 こんな「鉄のモニュメント」があるなんて・・・とお知らせです



ビスカヤ橋とその運搬ゴンドラ

■ 今月更新のホームページ 概要

今回 神戸早春の風景と昨秋 奥出雲雲南市周辺の製鉄遺跡を訪ねた記録をまとめましたので、ご高覧ください
もう 高速道路工事の下になってしまったかもしれませんが、昨秋 久しぶりに発掘されたままの姿で製鉄遺跡を見ることができました。たたら製鉄の先進地 中国山地の奥出雲・石見にはまだ 多くの製鉄遺跡が眠っているといわれ、古代日本の製鉄開始を解き明かす遺跡が出土するかもしれません。

1. 2008 神戸 陽だまりハイク 神戸のランドマーク「錨山」・「市章山」に登る 2008.2.14
2. 春まじか 早春の南淡路 立川水仙郷と梅満開の由良・生石岬 2008.2.15.
3. 奥出雲「たたら街道」 高速道路「松江道」工事で製鉄遺跡続々 2007.10.13.
雲南市吉田 中世の製鉄炉が 4 基出土した「大志戸(2)製鉄遺跡」現地説明会に参加 2007.10.13.
4. From Kobe 3月 鉄のモニュメント 世界遺産 世界最古の運搬橋 スペイン ビスカヤ橋
TV TBS「世界遺産」2008.2.24. & インターネット「ビスカヤ橋」検索より

■ 和鉄の道 Iron Road たたら遺跡探訪

1. 奥出雲「たたら街道」を貫く高速道路「松江道」工事で製鉄遺跡が続々

雲南市吉田 中世の製鉄炉が 4 基出土した「大志戸(2)製鉄遺跡」 現地説明会に参加 2007.10.13.



1. 奥出雲 雲南市の松江道建設工事で出土した製鉄遺跡とその位置づけ
2. 雲南市掛合六重 松江道工事現場へ「鉄穴内鍛冶工房集落遺跡」&「堂々ノ内(2)遺跡」を探す
3. 中世の製鉄炉 4 基が出土した「大志戸(2)製鉄遺跡」現地説明会に参加
4. まとめ 数々の知見が得られた松江道延伸工事現場から出土した製鉄遺跡

参考 1. 中世 芸北のたたら 広島県豊平町坤東製鉄遺跡

江戸期に繁栄を極める高殿を中心とした永代たたら原型が作られたという中世の芸北のたたら

2. いにしえの島根 7巻 記録に残る遺跡たち

たたらを掘る 炉の下に眠るたたら職人の「秘伝」 & 「たたらの変遷」



奥出雲雲南市周辺 の中国横断道路 松江・三次・尾道線の工事現場で続々と製鉄遺跡が出土。

インターネットで調べると10月13日にこの工事現場で発掘調査された雲南市吉田「大志戸?製鉄遺跡」の現地説明会が開催されるとの島根県埋蔵文化財センターの案内やこの高速道路工事に先立って 発掘調査された雲南市周辺の製鉄遺跡の概要報告などをみつけました。

「今 行けば、発掘調査されたままの姿を現している製鉄遺跡を前に解説が聞ける。

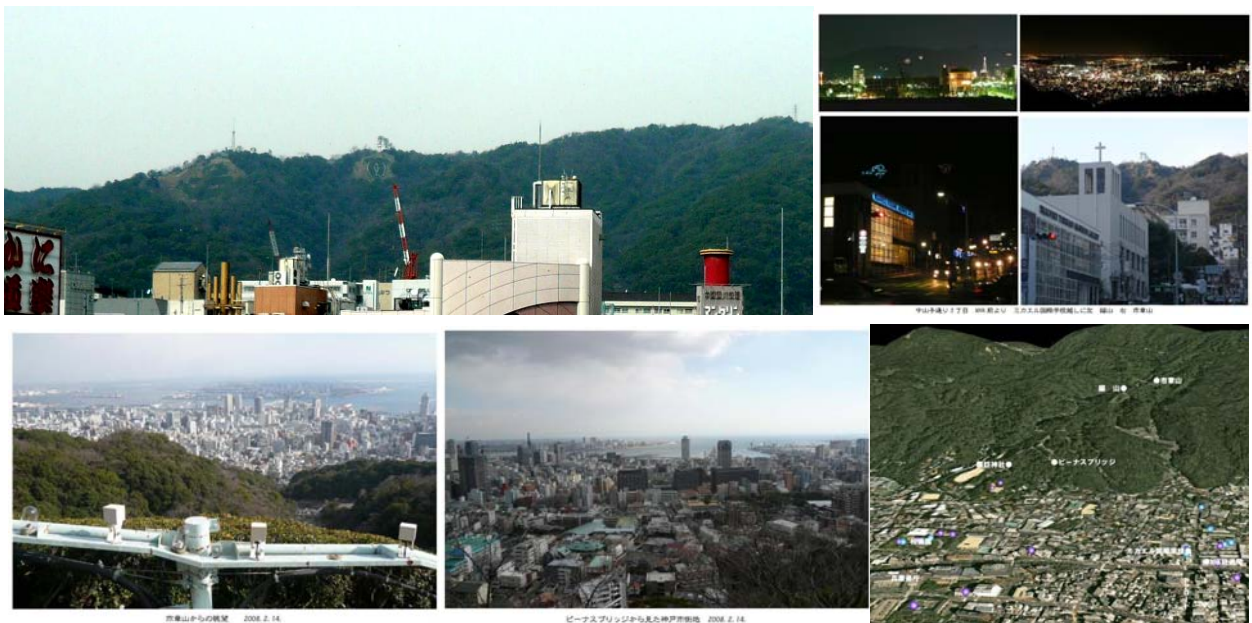
あわせて 今工事中のところから出土した幾つかの製鉄遺跡が見られるかもしれない。また、古代製鉄が始まる初期の頃の情報が得られるかも知れない」

10月13日の早朝に家内と二人、神戸から車で現地説明会の集合場所である奥出雲雲南市掛合の小学校へ。なんといっても 奥出雲 たたら製鉄のメッカ 先進地 奥出雲の古い製鉄遺跡の現地説明を聞くのは初めて。どんな話がきかれるか……また、古代製 鉄が始まる頃の話が聞けるかもしれないと興味深々ででかけました。

■ Country walk 風来坊

1. 2008 神戸 陽だまりハイク

【写真アルバム】神戸のランドマーク「錨山」・「市章山」に登る 2008.2.14



神戸は六甲連山と海に挟まれた東西に長い街。この街の背後の連山に「イカリ」のマークと神戸の市章が刻まれている。昼は緑 夜は青と橙の電飾で飾られ、神戸の市街地からはどこからでも見える。特に海から港に入るとこの電飾が美しく輝いていて、「神戸」に帰ってきたと思う神戸のシンボルである。

昔々 県庁の裏の諏訪山公園から登った記憶はあるのですが、とんと登ったことがない。

ボカボカ陽気の陽だまりハイク「あの電飾 どないなっているのやろう??」ただそれだけの野次馬根性ですが、元町の市街地から、歩いて約1時間。市街地の喧騒を忘れて、すばらしい大阪湾から明石海峡の展望が楽しめました

2. 南淡路 立川水仙郷と梅満開の由良・生石岬

【写真アルバム】春 まじか 早春の南淡路 2008.2.15.



春うらら 明石海峡



南淡路 立川水仙郷



南淡路 梅満開の由良・生石岬

花の島「淡路」

いい写真が取れませんでした。花を育てる畑には福寿草に菜の花 温室にはスイトピーにカーネーションが咲き始め、紀淡海峡の山の斜面には水仙と梅が満開で、春の海がきらきらと輝いて本当にきれいでした。

■ From Kobe 2008年3月 おもいつくまま

鉄のモニュメント 世界遺産

「スペイン ビスカヤ橋」

世界最古の運搬橋 (pdf file)

TV TBS「世界遺産」2008.2.24.

& インターネット「ビスカヤ橋」検索より



4

2008年 4月 【IRON ROAD 和鉄の道】

2008.4.1.



4月 野山は芽吹き季節 中国山地の山奥 高梁川の最上流 ダム湖に沈む 近世のたたら「大成山たたら」

桜の花も満開近し 野山は芽吹き 庭では春の草花が今が盛り

4月のホームページをお送りします

4月は新しい出会いと出発の月。

ペナンのNさん 今年是中国広東省 まだまだ若い人たちに混じって仕事するという。

また、Sさんは富士山を見ながら週末 家に帰る生活 大阪での仕事を始めたMさん・Oさん

TさんやOさん Hさんは まだまだ海外でがんばるという。

みんな 元気に挑戦しているなあ……と。でも 無理せず、健康に注意して

元気な仲間の新しい門出に こっちも気持ちがりフレッシュ。

春休みのシーズンになって 三宮・元町の商店街もいつになく人が多いこのごろ。

ほかの人はどうなのでしょう?? 今年は何年になく、花粉症もたいしたことなく

ポカポカ陽気にさそわれて、陽だまりハイクを楽しんだり 元気にやっています。

春というと神戸では イカナゴ漁なんですが……

今年は 明石海峡での油の流出があって、昨年が続いて 神戸・明石の船は打撃を受けたようですが……

でも 今年も 播磨灘はもとより、伊勢湾や東北の三陸などからも入荷して……

もう 神戸だけでなく 何処でもスーパーで手に入るようになって 関西では珍しくなくなりました。

でも 明石海峡のイカナゴ漁の写真ないと どうも 春らしくなくて

今年も 油流出前に 明石海峡に群がるイカナゴ漁の写真撮りたくて 垂水漁港へ行ってきました

我が家の春の草花と明石海峡のイカナゴ漁の風景の写真です

■ 春の草花 庭では 桜草が満開 春の草花が今 盛りになりました



春 庭の草花 桜草が満開です 2008.4.1.

■ 春到来 明石海峡のイカナゴ漁



いかなごのせり 神戸 垂水漁港で 2008.3.4.



いかなごの到着 明石 魚の棚 商店街で



いかなごを求めらる唄れやかな顔・顔 明石 魚の棚 商店街で 2008.3.1.

いかなごの釘造
元気に2008年の春を迎えました
神戸の春をお届けします
2008年3月



■ 今月更新のホームページ 概要

やっと暖かくなって また Country Walk の楽しみをはじめています。

青春 18 きっぷを持って、中国山地の山奥 備中/伯耆の国境近く「新見」そして 越前/美濃の国境九頭竜湖駅をめざしました。

野山はめづきがはじまり、その間を雪解け水がトウトウと流れ下る川 早春の素晴らしい山里の風景が見られました。

下記の孤独相変わらずですが、3月の陽だまりハイクを中心に 4月のページに更新しましたので、暇な折にでもどうぞ。

1. 東大寺のお水取り「おたいまつ」 2008年3月8日夕

立ち寄りたかった故河島英五さんゆかりの喫茶「TEN.TEN>CAFE」にも立ち寄れました

2. 備中の山奥 ダム湖に沈んだ近世のたたら 新見市神郷町「大成山たたら」を訪ねて

3. 越前と美濃を結ぶ街道 未完に終わった越美北線/越美南線

越美北線の終点 九頭竜湖駅へ行く 2008.3.25.

4. 山口県美祢からの便り「奈良の大仏の採銅所 美東町 古代の長登銅山遺跡でイベント」

5. From Kobe 4月

1. 3月23日 イースター・復活日に

2. 卑弥呼の時代「大和への鉄の道」のルートは 淀川・大和川・紀ノ川 ????

やっぱり 大和川が最有力か… 畿内に現れる庄内式土器が語る卑弥呼の重要路

ホームページ見ていただいていると聞くとうれしくなります。

メールやお手紙 ご返事対応できていませんが、ありがとうございます。

たたらのこと 縄文のこと 山口のこと 年よりのことなど 色々お聞かせください。

2008.4.5. 神戸 MUtsu Nakanishi

■ 和鉄の道 Iron Road たたら遺跡探訪

1. 新見市 神郷町「大成山たたら」を訪ねて 2008.3.15.

備中の山奥 ダム湖に沈んだ近世のたたら新見市 神郷町「大成山たたら」



東西に伸びる中国脊梁山脈の南北で、島根・鳥取と広島・岡山の4つの県が接する奥深い山奥はそれぞれの谷筋は古くからたたら製鉄が行われた中国山地の大製鉄地帯。この製鉄地帯の中、備中 高梁川が南に流れ下る最上流部に平成18年建設されたダム湖に沈んでしまった近世のたたら遺跡群がある。

新見市神郷町油野 高梁川の最上流部の分流三室川の谷をせき止めて作られたダムに沈んだ「大成山たたら遺跡群」

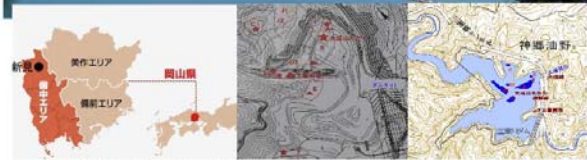
「新見」は中国山地の最深部 東西の備後・安芸と津山・美作 そして南北の伯耆米子・奥出雲と備中岡山・倉敷の十字路であり、古くからの交通の要衝であり、日本で最初に製鉄がはじまった中国山地の製鉄地帯を古代から結んできた。中国山地のぼくのたたら地図の中で空白になっていた新見周辺のたたら。

青春18切符でぎりぎり 日帰りができるところ。電話でダムの事務所に確かめると歩くしかない山中という。興味津々で出掛けました。備中の中央部を雪解け水を集めて流れ下る高梁川と芽吹きはじめた周りの山のコントラストが実に美しく、久しぶりに流れ下る大河の美しさも見ることができました。晴天にめぐまれ、早春のたたら製鉄の山郷を訪ねる気持ちのいいWalkでした。

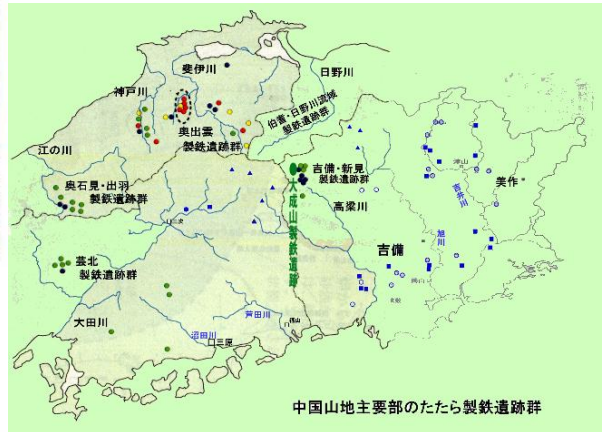
ちょっと余裕がなくて、今回はインターネットスタイルのページにまとめられず、PDF形式で、原寸での写真がみられませんが、お許しください。



芽吹き始めた山間を流れ下る高梁川 高梁川の最上流部三室川が流れ下るたたら里油野周辺 2008.3.15.



三室川ダムに沈む大成山たたら跡



中国山地のたたら製鉄遺跡群

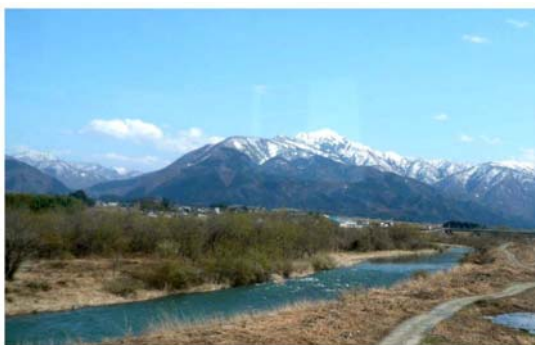
■ Country walk 風来坊

1. 東大寺のお水取り「おたいまつ」 2008年3月8日夕

立ち寄りたかった故河島英吾さんゆかりの
喫茶「TEN.TEN>CAFE」にも立ち寄りました

2. 越美北線の終点 九頭竜湖駅へ行く 2008.3.25.

越前と美濃を結ぶ街道 未完に終わった越美北線／越美南線
九頭竜川に沿って芽吹きはじめた山が美しい
福井県の名峰 日本百名山 越前大野盆地の南にそびえる荒島岳



福井県の名峰 日本百名山 越前大野盆地の南にそびえる荒島岳 2008.3.25.



青春 18 きっぷを持って 北陸へ 越美北線を越前／美濃の国境の九頭竜湖駅へ

北陸トンネルを越えると車窓から眺める真っ白な山 日本百名山の一つ 深田久弥の故郷の山「荒島岳」の美しさに目的地変更。

去年は美濃側から旧越美南線を長良川沿いに遡ったのですが、福井から越前大野を経て越美北線で九頭竜川を遡り、「荒島岳」をトンネルで抜けて、終着駅九頭竜湖駅へ。

幻に終わった越前／美濃を超える越美線 一度は汽車とバスが何かを乗り継いで 超えてみたい国境です。

3. 山口美祢からの便り 復元された古代の円筒炉で 銅製錬実験が行われました

奈良の大仏の採銅所「古代の長登銅山遺跡」のイベント



古代の銅製錬法を再現へ

奈良・東大寺の大仏に使われた銅を産出したという美東町大田の長登銅山跡で12日午後2時から、初めて「銅山まつり」が開かれる。古代の銅製錬技法を再現する復元実験が行われる。製錬炉に風を送り込むためのふいごの足踏みが体験できる。美東町と町教委、長登古代銅製錬愛好会の主催。

古代の銅製錬復元実験は手づくりの土製円筒型炉に火を入れて開始。日本鉱業史研究会の植田晃一理事（国際資源大学校講師）の技術指導で、午後2時すぎにチリ産の酸化銅鉱石や木炭を投入。ふいごを交代しながら踏み続けて炉に風を送り込み、1200度前後で熱する。午後3時ごろ、からみ口を開けし、その後炉底につながらる湯口の栓を開き、不純物との比重差で下に沈んだ銅を流し出せたら成功という。

午前中に荒銅を製錬して銅の抽出実験を行うほか、国指定史跡・長登銅山跡や資料館の見学もできる。問い合わせは美東町教委（☎08396・2・5555）へ。

奈良の大仏用も同じ方法？ 美東・長登銅山跡で

美祢の仲間から、古代 奈良の大仏の銅を納めた美祢の東隣の美東町の長登銅山遺跡の古代の復元銅製錬のイベントの記事を送ってくれました。先日 兵庫県川西市の多田銀銅山遺跡のイベントの話聞き、こちらも奈良の大仏の銅を納めた古代銅山という。いろんなところで、技術を見直すイベントと共に、なつかしい郷の便りでした。

美祢の隣のこの美東町も 秋吉台の秋芳町もいまはみんな美祢市 古い地名が消えてゆく中で、旧の地名と共に古いものづくり技術と生産遺跡が伝えられてゆくのはうれしい限り。

美祢には 現在の大理石・セメントのほか、もう誰も知らない消えそうな時代の生き証人 石炭・古い於福の銅山そして山中に散在するたたら製鉄跡など数多くの生産遺跡がある。これらの遺跡が生かされる道はないのだろうか・・・

■ From Kobe 2008年4月 思いつくまま

1. 3月23日 イースター・復活日に
2. 卑弥呼の時代「大和への鉄の道」のルートは 淀川・大和川・紀ノ川 ???
 やつぱり 大和川が最有力か・・・ 畿内に現れる庄内式土器が語る卑弥呼の重要路

5.

2008年5月 『IRON ROAD 和鉄の道』 2008.5.5.

新緑が目まぶしい5月 5月のホームページをお送りします
 桜の花とともに 里山は芽吹きから新緑へ 毎日山の色合いが変化する 素晴らしい季節
 もう5月の連休も終わりですが、いかがお過ごしでしょうか・・・
 5月のホームページをお送りします。



和鉄の道 1. 中国山地の製鉄地帯を縫うたたら道「出雲街道」奥備中 和鉄の道に咲く一本桜「醍醐桜」 2008.4.13.



和鉄の道 2. チンギスハーンの大鉄器生産工房 鍛冶遺跡「アウラガ宮殿遺跡」の発掘の講演会に出かけました。 2008.4.26.

「奥備中で 中国山地のたたら製鉄地帯 国境を越えて結ぶ和鉄の道 出雲街道・東城街道のすぐ近くの峠道で 1000 年近く このたたら街道を見下ろしてきた桜の巨木「醍醐桜」がいま満開」と教えてもらって 飛んで見に行きました。

峠道の見上げる丘の上で 大空に向かって 四方に満開の枝を広げる堂々とした姿。久しぶりのその存在感に感激しました。

今年はこの「醍醐桜」に「優美な姿の奈良県大宇陀の又兵衛桜」そして「北播磨三日月町の佐用川堤の桜」と和鉄の道・街道筋に咲く桜を見ることができました。そして 神戸の桜も。

私の桜アルバムに 素晴らしい桜が加わり、和鉄の道のファイルにも こんな鉄のモニュメントもあると悦んでいます。

また、多くの方々から桜の便りをメール戴き、今月のホームページで 僕の桜アルバムと一緒に紹介させていただきました。

素晴らしい桜の風景 僕も来年 挑戦したいですね、ありがとうございました。

もう ひとつ。

「12世紀 ユーラシア大陸を制して 大モンゴル帝国を作ったチンギス・ハーンの根拠地で出土したアウラガ宮殿遺跡。その中心街に鉄器生産工房があり、この鉄の支配がチンギス・ハーンの強さの源泉」そんなアウラガ宮殿遺跡の鍛冶遺跡を発掘している愛媛大学の講演会が 4 月末に開かれるとの案内をいただき、「まったく知らない中央アジアでの鍛冶遺跡の発掘されたままの姿の話が聞ける。それも チンギスハーンを中心遺跡」と松山に出掛けました。

神戸からは 少し距離がありますが、 たたら製鉄と世界の接点をふくめ、目を世界に向ける素晴らしい機会 まんぞく一杯で帰ってきました。聴講記録を整理しました。次回は朝鮮半島 洛東江周辺の製鉄遺跡がテーマ 次も是非出掛けようと思っています。



4月16日⇒4月28日 二週間ほどで 里山の緑が芽吹きから新緑に一変 森の中でも 国道482号線 神戸箕谷/淡河の稚児墓山と帝釈山の暗部を越える峠から神戸山田の集落



毎日刻々変化する周辺の里山の緑の変化に ぶらぶら Country walk を楽しんでいます。

今年は天気がよく、チョコチョコと近くの里山に何度も出掛けたためか、余計に緑の変化の印象が強いです。桜の花とともに モノトーンの野山から緑が混じりだし 日増しにその淡い緑がますます、山つつじのピンク。そして、あっという間に 淡い緑一色に。

また、ビックリしたのですが、神戸の街の北側の里山 丹生山塊の山裾で 今年は何度も雉を見かけました。

近くにゴルフ場が多いので、ゴルフ場の雉かとも思いましたが、集落の人によると間違いなく野生の雉だと……。

山を歩いていて、雉が飛び出すのは 何度か見たことはありましたが、山裾の田圃の草原につがいの雉を眺められるとは……初めてでした。頭に真っ赤な冠を付け、美しいきらきらの緑の雄 雌は薄茶色の地味な色。その雌をチョコチョコ おいながら 声を出して 気を引く雄のどかなひと時でした。

2,3 日後、山越えした北側の集落の山裾をめぐりましたが、そこからも、雉が飛び出しました。
 山が荒れているのか 里山が落ち着いてきて 野犬も居なくなって 里へ出てきているのか どっちだろうか・・・
 それとも これも温暖化が里山にもたらした変化なのか
 なんで こんなところで・・・と いまも不思議です。



神戸の裏山 丹生山塊 稚児墓山周辺の山裾で見かけた雉のツガイ 2008.4.16.

関西では珍しい「縄文」の展覧会が篠山市立杭の陶芸博物館で開催されていて、神戸から山越えするとミニバイクで1時間ほど。
 里山の新緑を楽しみながら、行ってきました。芽吹きが山が刻々変わるのが、素晴らしく 神戸の裏山 丹生山・稚児墓山に通って、
 移り変わる新緑の風景を撮ってきました。

立杭へ行くのは久しぶり。日本6古窯 緑の山々に囲まれ、今も登り窯が主流の陶芸の郷。立派な陶芸博物館ができていて、そこ
 での「縄文」の展覧会。周りの景色とよくマッチ。

これだけよう 一堂にあつめたなあ というぐらい各地の縄文土器や土偶などが集められていました。

山内丸山や亀ヶ岡の土偶 そして 八戸是川の漆 そして 長岡の火炎土器 ハヶ岳山麓の人面土器 複製ですが、縄文のビーナス
 も。これに 九州 上野原と東名遺跡の縄文が加わればフルなんですけど……。

でも 関西でこれだけ縄文を楽しめる機会はまたとなし。立杭の郷を歩いて窯や陶器を見るのもよし。

博物館のテラスに座ってじっくりと立杭の自然の中にゆったりと身をおくのもよし。

まだ、もう少し 会期があるようです。お勧めです。

そんな 神戸近郊の里山の芽吹きから新緑への移り変わりも……。



日本6古窯 今も多くの登り窯が残る丹波城の郷「立杭」 2008.4.16.

レンガ畑が広がる淡河の田園郷 2008.4.16.

春の里山 新緑の森を演出するつつ「のびんく」 2008.4.16.



神戸 里山ハイク 日本6古窯 陶芸の郷「立杭」と周辺の里山で 2008.4.16.

本当に緑がまぶしい季節 是非一度 近場でも walk に お出かけください。下に あちこち出掛けた先々で見た新緑の写真です。
 また、最後になりましたが、桜の便りを多くの方々から戴きました。素晴らしい桜の写真ありがとうございます。
 僕の今年の桜アルバムの中に 一部入れさせていただき、今月のホームページに入れさせていただきました。

■ **春の草花** 庭では 春の草花が満開。道端で育てたえんどう豆もとれました。



■ **出掛けた先々で見かけた まぶしい 新緑**



四国 徳島／松山自動車道 吉野川サービスエリア周辺 2008.4.26.

京都青蓮院の大クスノキ 2008.5.5.



京都 祇園 白川端で

岡崎界限

出雲路橋周辺より 比叡山



加茂川より大文字山



加茂川 植物園周辺



加茂川より 比叡山

久しぶりに新緑の京都 加茂川周辺を歩く 2008.5.5.

■ **今月更新のホームページ**

桜の花便りから新緑へ 野山を歩くのには絶好の季節。

遠くへは ようでかけませんが、声をかけていただくとぶらぶら出かけています。

毎年、桜が咲き出すと何処へ行こうか…ということになるのですが、今年は中国山地のたたら郷の峠の上で そらに向って枝を広げる桜があると聞いて3月につづいて、奥備中へ。また、昨年 教えていただきながら よう行かなかかった大宇陀の郷に咲く「又兵衛桜」へも。また、毎年楽しみにしている美祢の N.Y.さんほかからも素晴らしい桜便りの写真を送ってもらって、一緒に今年の桜アルバムを作りました。

この奥備中「醍醐桜」の真庭市は3月でかけた新見市三室ダムの大成山のすぐ近く。前回 よう でかけなかった高梁川本流 上流部のたたら郷 今も 砂鉄採取跡の地形が残り、そこでタタラ衆が育てた和牛がコウベビーフのルーツだという新見市「千屋」や「神郷 三坂」へも足をのびました。

また、相変わらずですがあちこちの行事や仲間の会に誘っていただいて出かけています。

その中から 少し新緑の季節の便りとともに 感じたことなどとともにまとめました。

1. 2008 春 桜 アルバム

「醍醐桜」・「又兵衛桜」・「神戸妙法寺川」・「美祢桜山」・「南アルプス市桜並木」ほか

2. 「和鉄の道」をずっと見下ろしてきた一本桜「醍醐桜」を訪ねる
奥備中・美作と伯耆の国境近く 和鉄の道の十字路の山上で 700 年
3. 愛媛大学アジア歴史講演会
「モンゴル・アウラガ宮殿における鉄器生産の様相」
「チンギス・ハンの鍛冶遺跡」発掘の講演会の聴講記録
チンギス・ハンのモンゴル帝国を支えた鉄
4. 新緑の里山をめぐって 日本6 古窯の一つ 陶芸の郷 立杭へ 2008.4.16.
【PDF 写真アルバム】陶芸の郷 立杭へ
5. From Kobe 5 月
【1】大阪 国際ウエルディング ショウに「ものづくり」の現実
【2】久しぶりにアフリカのむかしばなし と アフリカのリズムを堪能

ホームページ見ていただいていると聞くとうれしくなります。
メールやお手紙 ご返事対応できていませんが、ありがとうございます。
たたらのこと 縄文のこと 山口のこと 年よりのことなど 色々お聞かせください。

2008.5.6. 神戸 MUtsu Nakanishi

***** ホーム ページ更新記事の概要 (5 月 6 日更新) *****

5 月掲載した新しいページは下記の 4 件です。今回も 更新 file を十分につくれず、PDF ファイル中心の更新になっています

■ 和鉄の道 Iron Road たたら遺跡探訪

1. 「和鉄の道」をずっと見下ろしてきた一本桜「醍醐桜」を訪ねる 岡山県真庭市「醍醐桜」 2008.4.13
奥備中・美作と伯耆の国境近く 和鉄の道の十字路の山上で 1000 年



中国山地の製鉄地帯を縫うたたら道「出雲街道」奥備中 和鉄の道に咲く一本桜「醍醐桜」 2008.4.13

中国山地のたたら製鉄地帯を国境を越えて結ぶ和鉄の道 出雲街道・東城街道。そのすぐ近くの峠道で 1000 年近く このたたら街道を見下ろしてきた桜の巨木「醍醐桜」があるという。

また、この山中は山を切り崩して砂鉄を採取した大製鉄地帯。そしてその砂鉄採取跡は格好の牧場地。この地でたたら衆が育てた肉牛「千屋牛」がその後 神戸・近江・松坂牛のルーツになったという。

たたら道を見守ってきた桜の老木とたたら衆が育てた「牛」これも「和鉄の道・Iron Road」のモニュメント。

今 上げる丘の上 空に向かって、満開の花を咲かせていると聞いて「醍醐桜」を訪ねました。

また、たたら衆が「千屋牛」を育てたたたら郷「千屋」「神郷 三坂」には今も山を崩したすり鉢状地形が残っているという。

奥備中にそんな和鉄のモニュメント「醍醐桜」と「千屋牛」を訪ねました。



「醍醐の桜」岡山県真庭市別所 2008.4.13

千屋牛 新見市千屋

千屋牛の歴史は、江戸時代、太田辰五郎が一代をかけて築きあげた千屋の牛市に始まる。

江戸時代、伯耆との国境をなす中国山地の峰々がそびえる千屋周辺では砂鉄が取れ、砂鉄を採る場所・鉄穴場がたくさんあり、鉄穴流しの作業に、馬を使う代わりに牛を使い始めた。

この地の鉄山師 太田辰五郎は 鉄山業を営むかたわら、牛の改良繁殖に心を砕き、体型が優美で堅牢、性質温順な千屋牛が作られるとともに、千屋では「牛比べ」が行われた。この「牛比べ」で出る豪華や、角突きの見世物が評判を呼び、その後規模の大きい「牛市」へと発展し、明治・大正・昭和と続き、名をとどろかせるほど有名となった。

その後 農村の近代化が進み、牛市は閉鎖されたが、千屋牛は品種改良が進められ、肉牛のブランド牛として、その名を全国にとどろかせ、鉄穴流しと千屋牛の歴史は千屋牛誕生秘話として語り継がれている。

太田辰五郎物語 ～千屋牛誕生秘話～ 藤原嗣治著より



砂鉄採取のすり鉢状地形の残る新見市神郷 三坂 2008.4.13.

2. 愛媛大学アジア歴史講演会

「モンゴル・アウラガ宮殿における鉄器生産の一様相」 2008.4.26.

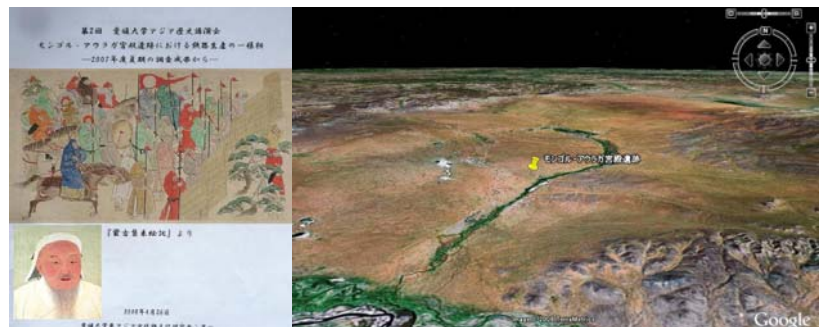
「チンギス・ハンの鍛冶遺跡」発掘の講演会の聴講記録 チンギス・ハンのモンゴル帝国を支えた鉄

愛媛大学であったチンギスハーンの大鉄器生産工房鍛冶遺跡「アウラガ宮殿遺跡」の発掘の講演会の聴講記録をまとめました。

12 世紀 ユーラシア大陸を征し、大モンゴル帝国を作ったチンギス・ハンの力の源泉は「鉄」だという。そんなチンギス・ハンの宮殿址に鉄器の大生産工房があったという。

モンゴル・日本の合同調査隊に加わる愛媛大学東アジア古代鉄研究所の 2007 年度成果の講演会。

初めて聞く海外の鍛冶遺跡の発掘調査 それも チンギス・ハンの……。



チンギスハーンの大鉄器生産工房 鍛冶遺跡「アウラガ宮殿遺跡」.

ちなみにチンギス・ハンの宮殿址はなにもない草原の中。

google earth インターネットで その場所の今がわかる。興味深々で 出かけました。

Country walk 風来坊

1. 2008 春 桜 アルバム 「醍醐桜」・「又兵衛桜」・「神戸妙法寺川」・「美祢桜山」・「南アルプス市桜並木」ほか

- 神戸の桜 東須磨 妙法寺川堤の桜 ● 大寺院「又兵衛桜」と室生寺・長谷寺の桜 ● 岡山県真庭市「醍醐桜」
- 北播磨 三日月町 佐用川沿いの桜
- 山口県美祢 N.Y.さんからの桜便り 美祢桜山の桜に遊ぶ めじろ と 岩国錦帯橋の桜
- 山梨県甲府の Nさんからの桜便り 素晴らしいと桜並木の富士山

本年春でかけた桜 walk の写真や桜便りをいただいた写真をアルバムに整理しました。

今年は天気に恵まれ、素晴らしい満開の桜を見ることができました。



2. 新緑の里山をぬけて 日本6古窯の一つ 陶芸の郷 立杭へ 2008.4.16.



立杭へ行くのは久しぶり。日本6古窯 緑の山々に囲まれ、今も登り窯が主流の陶芸の郷

立杭の郷を歩いて窯や陶器を見るのもよし。博物館のテラスに座ってじっくりと立杭の自然の中にゆったりと身をおくのもよし。

また、今開いている「縄文の展覧会」も もう少し 会期があるようです。

そんな 神戸近郊の里山の芽吹きから新緑への移り変わりも……。

のんびりと出かけのお勧めコースです。(電車だと JR 福知山線で 三田よりももう少し篠山寄りの相野駅より バス有)

From Kobe 2008 年 4 月 おもいつくまま

- [1] 大阪 国際ウエルディング ショウに「ものづくり」の現実
- [2] 久しぶりにアフリカのむかしばなし と アフリカのリズムを堪能

ホームページを更新しました 6月のホームページをお送りします



里の田圃に水が入り、田植えがはじまり、いよいよ梅雨の季節
まぶしい新緑や野の花に 命の輝きや大切さを意識するこのごろです
中国 四川大地震 そして ミャンマーのサイクロン
想像をはるかに越える災害にみまわれた人たちに 支援の手を

気にかかる四川・ミャンマー 被災者に支援の手を

四川・ミャンマーへは行ったこと無いのですが、マレーシアのペナンで仕事をしたときにみた ミャンマーの出稼ぎの人の群れ。愛媛大シンポで 聴講させていただいた たたら製鉄につながる成都平原 蜀の製鉄・西南シルクロード調査の人たち

神戸大震災の時にアメリカに出張でいた私に即座にカンパを託してくれた名もしらぬアメリカの人たち

「週末 ちょっと手を貸して」ではどうにもならぬ時代 みんなで支えあわねば……



6月 まもなく入梅。一年で 一番「命・いぶき」の輝きを感じる時です。

庭では 真紅のバラをはじめ数々の花が今が盛り。そして 庭の隅のアジサイも静かに花を咲かせ、新緑の里山の田畑にも水が入り、田植えが始まりました。何とはなしに、里山に足が向き、Country Walk を楽しんでいます。

つらいのは 仲間の訃報。この HP 書いている時に 案じていた中高の仲間の訃報が入ってきました。

長年母校など高校の先生を勤め上げ、地元にいなかった私を 神戸の仲間の会に誘ってくれ、同窓会を立ち上げてくれた仲間
これから まだまた みんなで寄って 楽しもう……と言っていた矢先 残念です。

彼の分まで 元気出さねば……です。

会社勤めをやめて5年

会社にいるときには ビジネスも 社会も 自分たちが動かしていると思ってきましたが、最近はその仲間に入ってないなあ・・・と。後期高齢者にちかづいて、最近の社会情勢を聞くにつけ、距離がますます遠くなるのを感じながら。高度成長時代の厳しさ以上に 社会の中での仲間ははずしというか 差別がきびしいなあ・・・と。

2008.6.2. Mutsu Nakanidshi

この5月 多くの仲間からも元気な便り そのいくつか 紹介。

● 山口の萩焼 陶芸家の 田中さん

7月 Top に愛媛 松山三越で 萩焼 作陶展を開くと新作「翔」シリーズの写真を送っていただきました。

その力感あふれる作品に、新しい鼓動を感じています。

● ペナンのSさん

ペナンを本拠に中国で大学の先生やビジネスマンとして ビジネス体験をエッセーにして 若い人に語り継ぐ。

いつも 送ってくれるエッセー。

一年前の同じ日に書いた文と今日の文とを読み比べると おもしろいと。

● 大学時代の仲間 Sさん

「和歌でつづる甲子園 タイガース」の冊子に続いて、こつこつ書き貯めた西宮・甲山周辺のスケッチの個展を開く」という。

仲間が次々集まって 絵と一緒に飲むのがたのしみ

● 高校のFさん

関西の学生野球の復活にもえる。

あんたの大学も もう少し 勝てんか・・・と。

こっちも 応援のかいあって 春1勝。

高校でも 大学でも トラでもいい そして神戸のラグビ・サッカーでも 肩組んで 応援歌 うたいたいなあ・・・と

● 大学の山仲間

10数年ぶりにこの秋 会う計画が進んでいる。

ユニークな放浪仲間 どんな話が聞けるか 今から楽しみ。

● 先日会社の同窓会で十数年ぶりにお会いした諸先輩

みんな いまだに 鉄が好きな人ばかり。

自分だけかと思っていましたが、みんな 自分の和鉄の道 を…………



田中講平 作 「翔」 2008

萩焼田中講平作陶展

2008年7月12日～18日松山三越で

みんなエネルギーをくれる人ばかり がんばらねば・・・と。

■ 今月更新のホームページ

新緑の五月 新緑に誘われて、里山をふらふら歩いています。

そんな中から 今月は 地元の加古川流域 氷上回廊で出土した

草食恐竜の発見地 篠山川に行った Country Walk をまとめました。

新緑の素晴らしい里山を流れ下る篠山川 のんびり歩くにはお勧めのコースでした。

また 恐竜というと福井県の白山に近い勝山

そして、恐竜の名前も 姿もほとんど外国産の姿。

この「丹波竜」の何がすごいかというと まだ 調査が終わった

わけではありませんが、20メートルに近い巨大恐竜 ほぼ全身が化石になってそっくりそのまま埋まっていた「自前の」恐竜です。



「本当かいな???'」と思ってきた外国産とおなじような巨大恐竜が日本列島の地にもいたのです。
今月はこの恐竜を訪ねる新緑の里山 Walk を6月の便りとともにお届けします。
毎度同じようなものですが、元気にあちこち風来坊続けています。

***** ホーム ページ更新記事の概要 (6月5日更新) *****

■ 和鉄の道 Iron Road たたら遺跡探訪

今月は記事なし。

大地震が起こった中国四川は たたら製鉄の先進地。

想像を超えた被災にただただ びっくり。はやく 立ち直られることを願っています。

また、先日訪れた「丹波竜」恐竜化石発見の地 丹波市山南町上滝。その発見された地層は1億4000万年前の赤茶けた篠山層群と呼ばれる地層。この赤茶けた地層は含有した酸化した鉄分の色「レッド ベッド」と呼ばれるという。

世界の恐竜化石の大半はこの「レッド ベッド」と呼ばれるこの赤茶けた地層から出土するという。

ここにも 鉄のモニュメントがあるとうれしくなっていました。 まだまだ 訪ねる所多しです。

■ Country walk 風来坊

1. Country Walk 巨大草食恐竜「丹波竜」を訪ねる 丹波市山南町上滝 2008.5.15.

1. 国道175号線 加古川沿いを北へ

2. 恐竜化石の発掘場所 篠山川へ

丹波市山南町谷川から下滝・上滝周辺へ

3. 恐竜化石の発掘場所

篠山川 河床岩盤 丹波市山南町上滝

4. 山南支所内にある丹波竜 化工工房

5. 「丹波竜」化石 Walk まとめ

2007年1月 兵庫県丹波市の河床そばの岩盤の中から、巨大な草食恐

の化石が次々と見つかり、世界でも珍しい保存状態の良い「全身骨格の化石」が出土する可能性がある人と自然の博物館が発表し、しかも その場所が荒らされるのを恐れて、正確な場所を隠したこともあって、大ニュースとなった。(場所の保存と見張りをつける処置がなされ、現在は公表されている)

恐竜好きの友人が「紀元前1万年」の映画を見に行ってきたとっていたのを思い出して、「そや、丹波竜の発見場所 確認に行こう」と。篠山盆地から篠山川に沿って西へ下ってきた福知山線が谷川駅に入るひとつ前の駅が「下滝」駅で、この駅から約700メートルほど西の篠山川の河床そばである。

日本一低地の表日本と裏日本を分ける分水界「石生・いそお」(海拔94m)を経て、播磨灘から加古川・旧佐治川から竹田川・由良川を日本海側の若狭湾へ抜ける「氷上回廊」。「丹波竜」の恐竜化石が発掘されたのは その分水界「石生」のすぐ南側 1億4000万年前の古い地層篠山層が加古川水系の篠山川の河床に露出して小さな溪谷をつ波市山南町上滝の河床そばの岩盤である。



竜



くる丹

表日本と裏日本をつなぐ「氷上回廊」

●地点が丹波竜発掘地点 白丸が石生 分水界



7月トップ スイス アルプスは初夏の花盛り アルプスをめぐるハイキングのツアーにでかけました
ホームページを更新しました 8月のホームページをお送りします

暑い夏到来。いかがおすごでしょうか

約2ヶ月ぶりの更新です。だんだんと更新のスピードが落ちていることお許しください。

なんやかや ありますが 2ヶ月 ホームページ ほったらかしになっていましたので、
「どないしてん 寝込んでないか」とご心配いただいて…。とりあえず 元気です。

■ 「ひまわりの夏」

大きなひまわりが咲いた夏 今年も 暑い暑いひまわりの夏到来

孫がよちよち歩きで、ひまわりの咲く庭にビニール製の丸いプールを置いて水浴びをしている光景を写真に撮ったのが「ひまわりの夏」のはじめ。

その孫も今東京で3年生になって、下の子ども幼稚園。お盆には家族一緒に神戸に帰ってくると……。楽しみにしています。

先日は 神戸で災害が起こるほどの大雨 すごい雨でした。ほんの30分ほどでしたが……

上流の雨が まだあまり降り出していない下流に影響をおよぼすなど 台風か集中豪雨の長雨 黄河などの大河の話とおもっていましたが……

また、こんなことも。甲子園で大雨で野球が中止 でも ほんの20kmほどしか離れていない神戸 間に大きな山があるわけではないのですが、カンカン照り。ここ数年 地球温暖化とともに 地球上で起こる自然変化がますますダイナミックになり、今までの常識 対応が間に合わなくなっています。

地球温暖化・炭酸ガス対応は「まさか 自分には…… 自分独りぐらいいは……」では すまされなくなりました。

もっとも マスコミ・政治の世界で発せられる「炭酸ガス対応・エコ」は ほんの数年前の「IT アイティ」の大合唱と同じく 時代に乗り遅れまいとするのみの薄っぺらな話のようで、いささか 心もとなし。

無責任な「自己責任」の言葉がはびこっているが、自分でしっかり見つめる眼が今ほど必要な時は無いように感じています。

グローバル化・効率化・コンピュータ化の大合唱で進められた「二値化 二者択一 勝ちか負けか 多数決」の押し付けは「価値の多様性や質」をみとめず、声高に「あなたは 何々派？」と参加することだけが認められ、全く考える能力・判断が退化してゆく時代の

始まりだった。これを最近「強欲資本主義」というのだそうですが、ヨーロッパの落ち着いた対応と実行力を見聞きするにつけ、その確かな眼に世界の中心の変化にビックリしています。

技術の世界でも何かちやほやされる技術のみが大脚光を浴びる一方で、これを支える多数の「ものづくり」「評価分析」の技術が言葉とは裏腹に切り捨てられた。これも 上記した同じ構図か……。

最近 日本の国際社会での地位が著しく低下してきたことを見聞きすることが、多くなりましたが、つけが回り始めたのでしょうか。

はやく ギャーとアクセルを切り替えないと……

もはや 日常生活も 今までの常識 おまかせでは どうにもならなくなっています。

日本社会に身におく立場からは 後からの解説はもういい。

また、社会やほかの人への依存・依頼はもういい

今 自分はこう動くとの情報が欲しい。

そんな小さなネットワークの広がりか 日本変革の原動力になるのでは……

最近の酒を飲みながらの またひとつ ぼやきです。



6月 小学校からの友達に続いて「江口サロンの仲間」とこの5月紹介した神戸の仲間、学者の江口一久さんが駅での転倒事故で急逝。

かけがえのない友人の相次ぐ死に気持ちにぽっかり穴が開いたよう。

落ち込んでしまいましたが、「今出来ることは今」と気持ちを切り替えています。

5月の「江口サロン」のときにも、

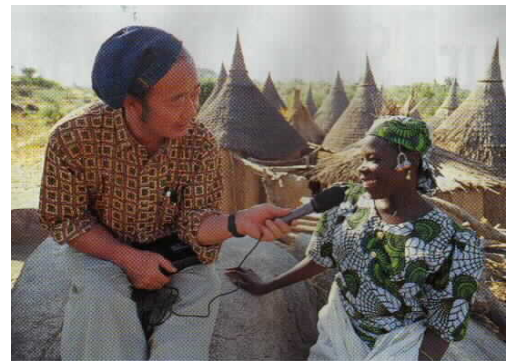
「アフリカのために また何かやろうや。」

6月15日 御所の中でお茶会とおはなし村 京都で一杯どうや」

と話したのが最後だった。くちぐせは「まあ そやな ひとつよろしく」

まだまだ、聞かしてほしかった昔話。また 博識の先を見据えた地球人の話等々。

本当に残念で ぽっかりと 穴があいたような気持。彼の「ひとつ よろしく」が耳に残っています。



■ 惜 別

言葉と心の壁越える達人(朝日新聞 惜別より)と愛された 江口一久さん

6月には草取りに山口・美祢に帰ったり、7月トップには10日ほど スイスアルプス ハイキング ツアにも行ってきました。

また、愛媛大学の古代鉄のシンポ参加と萩焼の田中講平さんの萩焼作陶展が開催された松山にも

今 出来ることは今 歩けるあいだにと。

今月も ホームページ 時間切れになってしまいました。

また スイスの素晴らしいWalk。 まだ、整理がつかずですが、ほんの断片ですが、更新に組み入れています。

2008.8.1. 神戸にて Mutsu Nakanishi

6月から7月にかけて

■ スイス アルプスをめぐるツアー 素晴らしい山の旅をしてきました 6月29日～7月8日



エーデルワイスの花 はは笑みて
鋭き岩角 金色(コジキ)に照り
山は目覚めぬ 夏の朝風
乱雲おさまり 夕空晴れぬ
命のザイルに 我が身をたくし
思わず仰ぐ アルペングリュエー

飛行機で雲の上から見る機会はありませんでしたが、スイスアルプスに行くのは 今回が初めて。

ちょうど スイスは 雪が消え 一斉に初夏の花咲き出したとき。学生時代によく山で歌った「エーデルワイス」の歌そのままの光景に感激。思わず 赤く染まる山を見ながら歌いました。

おまけに グリンデルワルトでの夜明け アルプスに2重の虹がかかりました。いまだに膨大な写真どうしようかと 眺めながら楽しんでます。

■ 和鉄の道

- 「鉄」と同じく、「銅」にも数百年 銅製錬の技術の空白期 銅銭を輸入しつづけた時代があった。
古代の銅製錬は酸化銅鉱石。この酸化銅鉱石は古代に枯渇し、硫化銅鉱石の製錬技術開発に数百年。
奈良の大仏は山口県美祢市美東町の長登銅山の「銅」。
鎌倉大仏は 中国から輸入された「銅銭」がその素材らしい ?????
- 日本国内の箱型炉による鉄製錬は近世初頭ではないかとの説を佐々木稔氏は提示している。
「5世紀後半から6世紀 強力なフイゴがない時代に箱型炉で製錬が安定して行い得たのだろうか」
この私と同じ疑問に取り組んでいる人がいる
- 愛媛大 東アジア古代鉄文化研究センターの歴史講演会 金想民氏の栄山江流域の古代鉄文化の講演 聴講
古代朝鮮半島の「鉄」 日本と大きなかわりを持つ洛東江流域とともに 前方後円墳があり、
日本との関係が注目を集める栄山江流域。この地域での製鉄遺跡調査はさほど多くはないが、
百済と伽耶・新羅の狭間の南西部でどうも独自の鉄分かが見られるという

■ 「鉄」とは その時代・技術が異なりますが、

「銅」にも数百年 銅製錬の技術の空白期 銅銭を輸入しつづけた時代があった 2008.6.10.

「鉄」製品が伝来して以来 鉄素材の生産・製錬が始まるまで、約800年。長きに渡ってその製造法が求め続けられた。

一方 銅はその製品が伝来して 早くに銅鐸や銅鏡など鑄込み生産が行われていたので、何とはなしに鉄に比べて溶融点の低い銅では簡単に銅素材の生産も確立されていたと思っていました。ところが 美祢の仲間が知らせてくれた長登での古代銅の還元実験は「鉄」と同じように円筒炉で酸化銅鉱石を還元製錬するという。

銅の鉱石は山などに露出した自然銅は別にして硫化銅石でなかったけ??

確か「カラミ」を作るややこしい工程があったはず……と。

調べてみると 製錬の簡単な酸化銅系の鉱石は掘りつくされ、硫化銅鉱石では硫黄がはいって、脆くて使い物にならず。日本では古代末から中世にかけて銅の生産はほとんどストップする。そして、中世の末から近世にかけて、硫化銅鉱石を製錬する技術が摸索されつづけた。この間 銅銭の発行は中止され、銅銭が中国から大量に輸入され続けたという。

奈良の大仏が長登をはじめ、国内で製錬された銅素材であったのに鎌倉の大仏は中国から輸入された銅銭がその素材だという。

古代酸化銅鉱石から近世硫化銅鉱石へ 銅製錬の変遷



古代の銅山跡遺跡「長登銅山跡」 山口県美祢市美東町 2008.6.10.

時代と技術は違いますが、「銅」製錬もその自前の製錬法確立に数百年を使っている。鉄だけではないんだ……と。

ものづくりの技術習得には 桁外れの時間がかかること理解。

溶けた硫化銅を空气中にさらして 酸化銅主体の「カラミ」を取り出す技術が確立されて 日本の銅製錬は生き返り、別子・足尾・小坂など大きな銅山は皆 中世以降の銅山が興る。美祢の隣町美東町の長登や多田などだけが古代からこの技術変遷を見届けた銅山である。そして 最近 世界遺産に登録された石見銀山 近世 世界の銀の供給基地となりえた銀抽出の技術「灰吹き法」この技術も おそらく 硫化銅鉱石処理の技術摸索の中で 一緒にみつけれられたと想像している。

ものづくり技術の根幹を成す金属製錬の技術の先人の苦闘の歴史は今もつづいている。
その素材の脚光とは裏腹に あまり脚光を浴びないが レアース金属の取だし技術も同じだろう。

銅の製錬にこんな歴史があったこと、知らなかったのは 僕だけかも知れませんが、ビックリでした。
そんな思いで 6 月山口美術に帰った時に秋吉台カルストの東麓 古代長登銅山跡遺跡に行ってきました。直ぐ近くが、秋吉台 秋芳洞。もっと よく知られても良いと思うのですが、山には古代の坑口めぐる散策路が整備され、明治の製錬跡も残り、史跡公園としてよく整備されていました。別子銅山の巨大な堅坑とは異なりますが、銅 そしてものづくりを考える貴重な古代銅山跡です。

■ **日本国内の箱型炉による鉄製錬は近世初頭ではないか??** との説を佐々木稔氏は提示している、「鉄と銅の生産の歴史」の共著や「鉄の歴史」の著者 佐々木稔氏は「鉄の歴史」の中で「国内砂鉄製錬の開始を近世初頭」との新説を提示。古代のたたら製鉄と見ていた長方形箱型炉は鉄滓や鉄素材分析の傾向や古代の製鉄炉復元分析などから「古代の箱型製鉄炉はほとんど精錬炉ではないか」との説を出されている。

5 世紀半ばから 6 世紀 強力なフィゴがないままで なぜ 箱型炉が製鉄炉として突如登場するのか……は私にとっても同じ疑問。最近の実験考古学の進展の中で、愛媛大学の村上先生たちも 安定な製錬のためには 1m 以上の炉高が必要と解析されている。そうすれば、風を送る巨大なフィゴの登場が必要になるのでは……というのが私の疑問。
私は 古代のたたら製鉄初期 強力なフィゴが登場するまでは「沸かし付け」的な製錬・精錬の時代をイメージしている。
もう 国内のたたら製鉄開始時期はついているのかと思っていましたが、同じ疑問に取り組まれている人たちが多くいるのにもビックリです。また、これが実証されれば「銅 と鉄 」いずれも国内の製錬量産技術は近世初頭ということになる。

■ **愛媛大 東アジア古代鉄文化研究センターの歴史講演会**
金想民氏講演「栄山江流域の古代鉄文化」の 聴講 2008.7.12.

古代朝鮮半島の「鉄」日本と大きなかわりを持つ洛東江流域とともに前方後円墳があり、日本との関係が注目を集める栄山江流域
この地域での製鉄遺跡調査はさほど多くはないが、百済と伽耶・新羅の狭間の南西部でどうも独自の鉄分かが見られるという。
まだまだ やること多しです。



■ **田中講平さんの作陶展「萩焼 田中講平 作陶展・松山 」に出かけました 2008.7.12.**

愛媛大 東アジア古代鉄文化研究センターの歴史講演会と時を同じくして、萩焼の田中講平さんの 2008 年新作を中心とした作陶展が 松山三越で開催。
毎年 作陶展にあわせて、新しい新作が展示されるのですが、今年はなにがあるのか……とその驚きが楽しみ。
今年は新しい萩焼のシリーズ「翔」の連作に 新しい「陶額」のシリーズ
田中さんの陶額は よく眼にする絵付けの陶額ではなく 萩焼そのもの さすが陶芸家の陶額。



どちらかという 凹凸のある油絵の創作表現を思わせる また 新しい作品群が加わった。
この秋には 田中さんの山口吉敷「陶房葉月」で 陶額のシリーズ展示もしてみたいと意欲的 この秋 山口をおとづれる楽しみがまた ひとつ増えました。これら田中さんの作品は田中講平 さんのホームページでどうぞ

■ 今月更新のホームページ

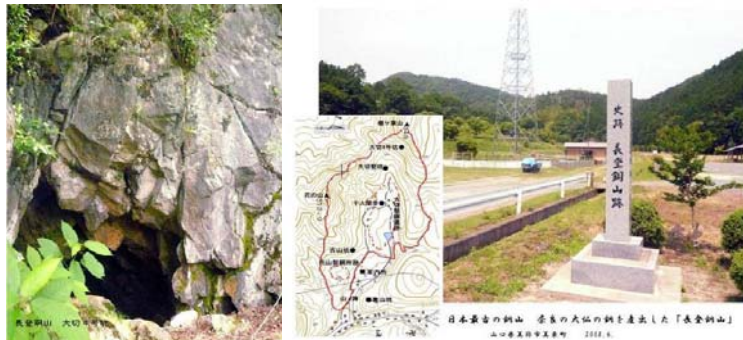
1. 日本最古の銅山 奈良の大仏の銅を産出した「長登銅山」を訪ねて 2008.6.10.
 1. 日本最古の銅山 奈良の大仏の銅を産出した「長登銅山」概要
 2. 「長登銅山」と奈良の大仏 長登銅山の変遷と日本国内銅生産事情概説
 3. 日本最古の銅山 奈良の大仏の銅を産出した「長登銅山」Walk
 4. 長登銅山の銅鉱床・銅鉱石の変遷と銅製錬技術 銅の製錬も 鉄と同じく 一筋縄ではなかった
 5. 東大寺大仏と 重源 東大寺大仏殿の焼失後 山口県佐波川上流の山 徳地の木材で再建された 山口市徳地町
2. 【写真アルバム】 佐々木小次郎/宮本武蔵血統の場 下関海峡 巖流島 2008.6.7.
3. 初夏の花 満開のスイスアルプス ハイキング アルバム 2008.6.29. - 7.8.
 1. 雪が消えて アルプスの山々には 初夏の花が満開
 2. 「エーデルワイスの花ほほ笑みて 鋭き岩肌 金色に照り
 3. スイス アルプスは『鉄のモニュメント』『鉄の郷』
 4. From Kobe 8月
惜 別 言葉と心の壁越える達人と愛された 江口久さんが急逝

***** ホーム ページ更新記事の概要 (8月5日更新) *****

■ 和鉄の道 Iron Road たたら遺跡探訪

1. 日本最古の銅山 奈良の大仏の銅を産出した「長登銅山」を訪ねて 2008.6.10.

1. 日本最古の銅山 奈良の大仏の銅を産出した「長登銅山」概要
2. 「長登銅山」と奈良の大仏 長登銅山の変遷と日本国内銅生産事情概説
3. 日本最古の銅山 奈良の大仏の銅を産出した「長登銅山」Walk
4. 長登銅山の銅鉱床・銅鉱石の変遷と銅製錬技術 銅の製錬も 鉄と同じく 一筋縄ではなかった
5. 東大寺大仏と 重源 東大寺大仏殿の焼失後 山口県佐波川上流の山 徳地の木材で再建された 山口市徳地町



美祢に帰った折 久しぶりに日本最古の銅山「長登銅山跡」を訪れた記録です。

「銅」にも時代・技術は異なりますが、中世から近世初頭にかけて 「鉄」と同じく製錬技術がみつからず、数百年摸索の時代があった。そんな古代から近代まで、銅製錬の歴史を見続けた「長登銅山」。

この銅山のある美祢町が平成の大合併で秋芳洞のある秋芳町と一緒に美祢市に合併した時でもあり、もう一度ゆっくり「長登銅山」を見てみたいと訪ねました。

秋吉台カルストの東端の小さな榎ヶ葉山の山中に数多くの古代の坑口があり、また、その山麓花の山には明治末から大正時代の製錬所 花の山精錬所跡がありました。静かな山郷ですが、榎ヶ葉山の坑口を巡る遊歩道・花の山精錬所跡など一帯は史跡公園としてよく整備されていました。あの別子銅山跡の大堅坑などと比べるわけには行きませんが、古代から近代まで 銅製錬の歴史を見続けた貴重な遺跡 もっと 評価されても良いと。

直ぐ近くに秋吉台・秋芳洞 これらを結ぶ学習コースが整備されるといいのですが……

私にとっては 金属製錬が一筋縄でいかず、「ものづくり」技術の原点を見る良い機会でした。

■ Country walk 風来坊

1. 【写真アルバム】 佐々木小次郎/宮本武蔵血統の場 下関海峡 巖流島 2008.6.7.



佐々木小次郎/宮本武蔵 決闘の場「巖流島」

関門海峡の真ん中であって、下関唐戸の棧橋から 観光船が出ているのは知っていましたが、海峡のどのあたりなのか 行ったことなく、知りませんでした。海峡のどのあたりか 興味津々で行ってきました。

五万分の一の地図には「巖流島」の記載はなく、「船島」と記載された船形の小島。現在 住人はなく、1周してもせいぜい20分ほどの小島。

島全体が海峡を見渡せる公園として整備されている。

2. 初夏の花満開の「スイスアルプス ハイキング」アルバム 2008.6.29. - 7.8



1. 雪が消えて アルプスの山々には 初夏の花が満開
2. 「エーデルワイスの花ほほ笑みて 鋭き岩肌 金色に照り
3. スイス アルプスは『鉄のモニュメント』『鉄の郷』

7月の初め 10日間のスイスアルプスのツアーに行ってきました。

ツアーといっても大手のツアーと違って トラマークの旅行社が主催する少人数とゆっくり連泊が売りのツアーで気楽なので、何回か参加したのですが、今回は6名の個人旅行見たいな物。ハイデッカーバスを占領し、ホテルはすべて山を部屋から見上げるとびっきりのスペース。雪が消え、一斉に初夏の花が咲く花のスイス アルプス季節。

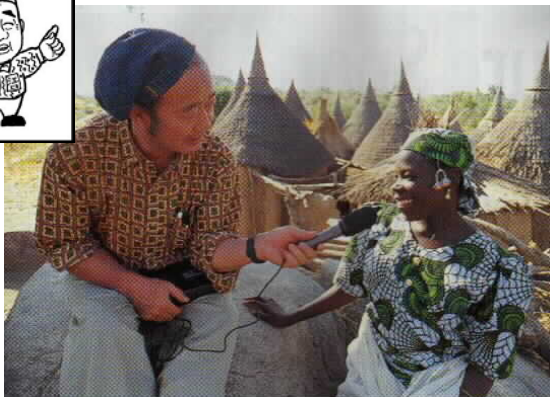
氷河を抱いたアルプスの峰々とそれを背景に高山植物満開のお花畑ハイキングも堪能してきました。

まだ、写真整理できていませんが、そんな写真の羅列です。

■ From Kobe 2008年 8月 おもいつくまま

惜別 言葉と心の壁越える達人と愛された 江口一久さんが急逝

この5月「久しぶりに 江口サロンの人たちに会えた」と紹介した仲間





多数の銅山の坑口が点在する東播磨多可 妙見山 加古川の中流 西脇から眺めた多可周辺 右端に妙見山が見える 2008.8.25.

本当に暑かった夏も お盆が過ぎるとめっきり涼しくなり、田圃には稲穂が揺れ 秋の足音がすぐそこまで・
ホームページを更新しました 9月のホームページをお送りします。

本当に暑かった夏も お盆が過ぎるとめっきり涼しくなり、秋の足音がすぐそこまで……

北京オリンピックに一喜一憂した今年の夏 いかがだったでしょうか……

神戸に来ていた孫たちが帰ってしまうと いっぺんに静かになって、つくつくぼうしの鳴き声
はっと 我に返って、また平常の日々の生活に戻りました。

晴れと雨の境目 同じ街中ですごいスコールのところと晴れのところが混在する。

甲子園球場にすごい雨が降っているのに 私の住む須磨ではまったくその兆候なし
連日局地大雨警報が播磨や大阪に出ているのに 神戸では まったくその兆候なし。

たった 一度だけ 来るぞ と一気に真っ暗になって すごい大雨とカミナリ 都賀川で命を奪った局地豪雨でした。
都会が制御できない局地熱帯の気候に見舞われるようになってきました。

ほんとに局地気象が荒れ狂う これは もう熱帯のサイン

わが身に直接振りかかってくるほどに 地球温暖化の影響がスピード アップしている。

この影響は気候にと止まらず、地球全体が一斉に変わり出している。もう 他人事ではいられない。

そんなことを感じた今年の夏でもありました。

今日 炭酸ガスを直接原料にしたプラスチック製造の実証プラントが動き出したとTVのニュースが伝えている。

植林にとどまらず、産業活動として 炭酸ガス固定化のプログラムが具体的に動き出したことに大いに期待したい。

炭酸ガスの削減と固定化 両方のプログラムが成果を挙げることにより、同じ土俵に先進国・発展途上国が乗れると思う。

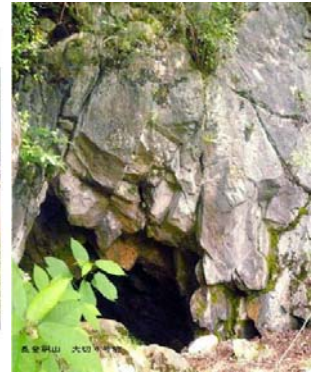
車を利用するのを少しひかえて 炭酸ガス削減にちょっぴり参加したような気分 それでは もう いかんのですが……

2008.9.1. by Mutsu Nakanishi



2008年8月 丹後で 久しぶりに 父のふるさと 京丹後へ 2008.8.11.

■ From Kobe 9月 帯木蓬生著「国銅」(新潮社)に物づくりの思いを見る
奈良の大仏を作った長登の銅の周辺で



8月の更新で奈良大仏の銅を産出した山口県美祿市美東の「長登銅山」をご紹介しましたが、先輩・友人諸氏より、「帯木蓬生氏著の『国銅』に奈良の大仏建立と長登銅山の銅生産の様子が丁寧に描かれている。」とのメールをいただきました。

長登周辺の秋吉カルスト台地の自然とともに「丁子」として働いた「国人」という人物を通して、長登銅山の鉱石採取から銅製錬の様子そして奈良の大仏建立の様子が克明にえがかれています。面白くて一気に読みました。

長登銅山堅坑での鉱石採取 たたら踏みと炉吹き製錬 製錬家庭での亜硫酸ガスとの戦いの厳しさ そして 鑄かけによる克明な巨大第仏の建立等々 少しは知っていましたが、プそれらにたずさわる仲間・組織とともにロセスそして作業歌が克明に描かれていて、古代のたたら衆の山の作業の様子がありあり。

本当に丹念に準備された筆。長登での銅製錬 そして 奈良での 大仏鑄造を通じて、物づくりの苦勞とそして 物づくりから得られる喜びが苦勞が生き生きと描かれています。古代の物づくりという浮浪・俘囚などを使った「苦役」のイメージがついて回りますが、「物づくり」の真髓というか 面白さが描かれ、

物づくりを通じて得られる真の技術とは何か 物づくり技術として伝えたいことがふつふつと浮かんできます。

帯木蓬生氏が『国銅』の著で描きたかったのは何だったのか……

別子銅山の作業を描いた「鼓銅図録」の工程絵図を重ねながら「吹屋」での物づくりの作業描写に夢中でした。

鉄と同じくフイゴを踏む「たたら」衆 この銅製錬の吹屋で歌われる作業歌も印象的でした。

機械に名前をつけ、歌を歌って調子をとる。そんな時代はるか彼方に消えてしまいました。「機械が物を作る」「機械とマニュアルがあれば 効率よく物が作れる」とした現在の管理社会の中で、うつろに響く「物づくり」技術の大事さをお題目のようになえても…… 物づくり技術で何を伝えたいといけないのか…… マニュアルでは判らん作業の中に生きる知恵

物づくりは この知恵なしでは 出来ないだろう。材料屋としての思いいれもあって、ちょっと異質な見方もかもしれませんが、全編にわたり そんなイメージで 一気に読みました。

教えていただいて 本当にありがとうございました。

2008.8.20. by Mutsu Nakanishi

■ 山口の陶芸家 田中講平 さん 平成20年度 第55回日本伝統工芸展 入選

山口の田中講平さんの作品「青白磁流文大鉢」が 日本でもっとも権威ある日本伝統工芸展に入選。

既に 何度も入選されているのですが、新聞でその名前を見るとやっぱり うれしい。

2008年 9月23日(火)～10月 5日(日) 東京三越本店で開催予定です

■ 今月更新のホームページ

相変わらずですが、元気に Country Walk を楽しんでいます。

今回は 見た目にもすがすがしい夏の風物詩「京朝顔」の展示会と 福井県若狭「三方湖」の畔にある「縄文のタイムカプセル鳥浜貝塚」です。

夏の朝の楽しみのひとつ 「朝顔」

植木鉢で背が高くならぬよう丹精こめて 何度もつるをを切りそろえて育て、

大輪の朝顔を同じ高さで咲かせる「京朝顔」



大輪の淡い花がすがすがしい。今年も京都の植物園で展示会があり、朝早く起きて出かけました。
関東で「朝顔市」や「江戸の変化朝顔」とはちょっとちがった魅力。
早朝の柔らかい日差しの中でさきそろうた京朝顔の写真をとってきましたのでご紹介

また、この春 関西圏を走る JR 新快速が福井県敦賀まで延びたのを機会にぜひ出かけたかった若狭 三方五湖のひとつ「三方湖」の畔にある「縄文のタイムカプセル」鳥浜貝塚を見学しました。

「関西に縄文の火を」が合言葉。

関西の縄文遺跡がもっとポピュラーになればと思うのですが。 そんな思いもこめて、鳥浜貝塚への walk の紹介です。

「若狭」は関西圏ではないのですが、新快速が走り出して、神戸からでも2時間ちょっとで 行けるようになり、昔からの京都・近江との結びつきを考えるともう関西。昔からの交通路 近江今津で国鉄バスに乗り換えれば、もっと時間は短縮。

「あなたのそのかばん 京 市沢のやね」とさらっと若狭の街で言われたのも 若狭がもう関西です。

関西一押しの縄文遺跡「鳥浜貝塚」と本当に静かな三方の湖の風景です



暑さボケではありませんが、あまりうまく出来ていません。暇な時にでもご覧ください。
2008. 8. 1. 神戸にて Mutsu Nakanishi

今月更新のホームページ

1. 夏の朝の清涼をたっぶり 「京朝顔」 京都府立植物園の「朝顔展」 2008. 8. 4.
2. 「鳥浜貝塚」 縄文の時代観を換えた「縄文のタイムカプセル」を若狭に訪ねる 福井県若狭町三方 2008. 8. 5.
 1. 福井県若狭町三方「縄文のタイムカセル 鳥浜貝塚」を訪ねて walk.
 2. 縄文の時代観を書き替えた「縄文のタイムカプセル」鳥浜貝塚 概要
 1. 縄文時代像を塗り替えた鳥浜貝塚出土遺物
 2. 日本最古の栽培植物「ひょうたん」の種子と皮
 3. 鳥浜貝塚 & 三方湖周辺の写真
3. From Kobe 9月
常木蓬生著「国銅」（新潮社）に物づくりの思いを見る 奈良の大仏を作った長登の銅の周辺で

***** ホーム ページ更新記事の概要（9月1日更新） *****

■ 和鉄の道 Iron Road たたら遺跡探訪

1. 「鳥浜貝塚」縄文の時代観を替えた「縄文のタイムカプセル」を若狭に訪ねる 2008. 8. 5.



縄文のタイムカプセル 鳥浜貝塚
福井県若狭町三方



若狭 三方駅の西北 日本海側に広がる田園
かつて ここは広大な古三方湖



静かな湖面の三方湖

1. 福井県若狭町三方「縄文のタイムカセル 鳥浜貝塚」を訪ねて walk.
2. 縄文の時代観を書き替えた「縄文のタイムカプセル」鳥浜貝塚 概要
 1. 縄文時代像を塗り替えた鳥浜貝塚出土遺物
 2. 日本最古の栽培植物「ひょうたん」の種子と皮
 3. 鳥浜貝塚 & 三方湖周辺の写真

この春 関西圏を走る JR 新快速が福井県敦賀まで延びたのを機会にぜひ出かけたかった若狭。三方五湖のひとつ「三方湖」の畔にある「縄文のタイムカプセル」鳥浜貝塚を見学しました。

たたら製鉄遺跡でもなく、関西ではあまり話題にのぼらぬ縄文ですが、ビッグな関西の縄文。

日本のルーツの 1 ページです。 アフリカ原産のひょうたんがすでにこの地で栽培され、野山の木の実を栽培採取して食料に。

身には漆を塗った装身具をつけ、草木を摘んで網を作り、丸木舟を操って漁をする。

交流ははるか遠くの国々にまで及び、交換で手に入れた数々の品が生活をさらに豊かにする。

若狭には 縄文の始まり 1 万 2000 年前にすでにそんな村があった。

若狭はその後 古代には大陸と大和を結ぶ重要な交易路として、日本誕生にかかわってゆく。

そのルーツもまた この鳥浜縄文遺跡の若狭なのかも知れない。どこまでも静かな三方湖 静かな三方湖の湖岸に立つと一挙に喧騒を忘れ、遠い昔に引き込まれて、博物館で見た一つ一つを思い浮かべながら、遠い昔のイメージが膨らんでくる。

鳥浜貝塚・若狭縄文博物館は「関西の縄文」 縄文の世界を知る上でも ぜひお勧めの場所です。

■ Country walk 風来坊

1. 夏の朝の清涼をたっぷり 「京朝顔」 京都府立植物園の「朝顔展」 2008. 8. 4.



今年で 49 回目を迎える京都半日会の「朝顔展」が京都府立植物園で 8 月 1 日から始まった。

「朝顔は早朝から半日だけきれいに咲かせ萎れる。明日開く花は もうつぼみとして順次準備されている」といい、この朝顔展も開園は 6 時半。誰でも咲かせられる朝顔。でも その奥は深い。

自分ではよう育てないが、好きな花。

江戸伝統の「変化朝顔」に「こんな姿の朝顔もあるのか?」とびっくりしたこともありました。

丹精こめて低い背丈に切りそろえ大きな花を咲かせる京都独特の「京朝顔」。淡い色が見た目にも涼しい朝顔に 大輪の色鮮やかさが清涼感をいっそう際立たせる。京都の義母が毎年丁寧に育てていた京朝顔である。

久しぶりの京都府立植物園 朝のすがすがしい空気の中 木陰に展示された朝顔に 夏の朝のすがすがしさをたっぷり味わってきました。

■ From Kobe 2008 年 9 月 おもいつくまま

1. 帚木蓬生著「国銅」(新潮社)に物づくりの思いを見る 奈良の大仏を作った長登の銅の周辺で



長い間 庭や軒先で飛び回っていたツバメたちも 電線に列にならんで 南の国へ旅立ちの準備
来年も帰って来いと ついつい 声をかけたくなる

天高く馬肥ゆる秋 古い表現ですが、真っ青な空が大空いっぱいになり、
近くの里の田には黄金色の穂がたわわに実り、その畦を真っ赤な彼岸花が縁取っています。

Country Walk が一番楽しい時節 いかがお過ごしでしょうか

ホームページを更新しました 10月のホームページをお送りします



左: 西神戸 布施畑の里土手の野菊 中央&右: 東播磨 妙見山の里山 多可町間子集落で



秋の風物詩を見つけて Country Walk 一番 楽しい季節です【1】 西神戸・東播磨で 2008年9月下旬

9月の局地的豪雨がおさまると、急に涼しくなって、急いで 半袖から長袖に衣替え。

電線にずらっと一列に停まって南の国への旅立ちを整えるツバメたちに秋到来を感じます。

また、秋の風物詩 田圃の畦を縁取る真っ赤な彼岸花 今年も田の畦を美しく彩っています。

山口県美祢周辺の田圃の畦を飾る彼岸花がすばらしいとのレターが深夜のラジオから流れている。

防長路の見渡す限り一面の田圃の畦を縁取る彼岸花の美しさ これはやっぱり日本一か????。

この季節になると、ついつい気になって、近くの里山にコスモスや彼岸花の風景探しの里山 Walk。

数年前までは 休耕田や畑一面を埋め尽くすコスモスがいたるところで見られましたが、随分少なくなり、逆に田圃の畦を彼岸花が飾る里が増えたよう ????

今年の夏 何度か 坑口探しに通った播磨の古い銅山 「播磨 妙見山」

この山裾の里近くで 三色の彼岸花が咲いていると聞いて、出かけました。

この里に暮らす人たちが、せっせと株分けをして育てた三色の彼岸花。

妙見山から加古川に注ぐその名も「思い出川」の土手近くの畦に満開の花をつけていました。



播磨 彼岸花の郷 多可町 間子集落 思い出川 土手でみた三色の彼岸花 2008. 9. 22.

秋の風物詩を見つけて Country Walk 一番 楽しい季節です 【2】

お彼岸に 「思い出川」の名に触発されたわけでは ありませんが、あの人この人 あんなことこんなこと 思い出すままに花に彩られた里をゆったり歩きました。

彼岸花の赤はあまりに強烈で、マジかにみるとハレーションを起こしてなかなかきれいには撮れませんが、一輪 一輪 眺めると本当にきれいな花です。

■ 大阪 新世界・日本橋界限 戻った活気にびっくり

街中も歩かないと取り残される

9月23日の祭日に大阪天王寺の大阪市立美術館に「佐伯祐三展」を見に行きました。

最近ヨーロッパからの展覧会が京阪神のどこかの美術館で絶えずやっていて、大勢の人で、本当にのぞき見るといったことが多いのですが、ネームバリューがないのか すいていて、佐伯祐三の描くパリの街角の絵が好きな私にはラッキー。

久しぶりにゆったりと絵を見られました。

その折り 美術館へ通り抜けて行く新世界や動物園にびっくりするほどの人出でした。

一時は 本当に寂れていましたが、「じゃんじゃん横丁」も通天閣の通りもどこも人であふれ、活気に満ちた街に。ちょうど昼時だったこともあるのですが、まっすぐ歩かず。これで、「叩き売り」の音が聞こえてくれば、昔のままなのですが、それはなし。 かわって、何軒もある最近の新世界の名物「串かつ」

「どてやき」の店の前にはどこも長い行列でした。

こんなに活気もどってきたのか・・・とびっくりとともにうれしくなりました。

帰りに 久しぶりに日本橋の電気屋街にも行きましたが、ここ

にも活気が戻っていました。 量販店がばたばた つぶれて下降線一途でしたが、随分店の相も変わり、食べ物やちょっとピンクの店が増えていますが、活気が戻っていました。

何はともあれ、大阪のわびしい話ばかりが多い中 活気が戻った大阪の街を見るのはうれしい限り。



ついでながら パソコンの街日本橋でみつけた 位置情報をハンディーに記録できる「GPS ロガー」。

腰にぶら下げたり、自転車に取り付けて歩くと数秒置きに位置情報(時間と位置と高度)をメモリーに記憶。後でパソコンと結べば、google Map などに歩いた軌跡を描いてくれる。 またカメラの撮影時間と連動すると撮影場所が表示できる。

ハンディーGPS は液晶画面に現地そのまま軌跡を地図の上に描いてくれるのですが、まだ高くて手が出ない。

見ていると ひっきりなしに 若者がやってきて、品薄の品も・・・。

山歩きにハンディーGPS ほしくて仕方なかったのですが、これだと手が出る。 何に使う人が多いのか聞くと 自転車につけてツーリングの記録をとるのに使うのが、もう随分前から はやっているという。 これはおもしろそう。

もっとも ほしかった機種を含め、ほとんどが輸入品でパンフは英語なのですが、入荷を待って Country Walk の共にしよ

うと思っています。 街中歩きの一筆書き 子午線歩きや Country walk の軌跡記録などにも 使えそう。
知らぬ場所や海外にもっていても、あとで、どこをどう歩いたか記録できるのも魅力
また、ひとつ 面白い遊びができそう。
やっぱり 街中も歩いてみないと 昔のイメージのまま 世の中 取り残されると。

■ 京都で学生時代の山仲間の同期会

前回集まった時の記憶も遠くなっていた大学時代の山仲間たちとの一泊どまりの同期会が京都であり、 宴会の前に みんなで大文字山へ登って 夜遅くまで話し込みました。

学生時代からすると40年を超える年輪が顔に でも すぐ昔の顔にかえって 学生時代の昔話にも花を咲かせ、思いもかけなかった話も飛び出して。 現役のバリバリから これから 新しい仕事に取り組む人 地域のリーダー 山小屋建てて悠々自適の仲間 気楽な年金組みも。みんな ようもまあ バラエティーに富んだ生活してきたなあ・・・と。

また、これからのライフにみんな 夢を持っている。 一人年寄りを決め込むわけに行かず。

みんなの元気と 遠く消え去ってしまっていたことがフレッシュな記憶となってよみがえってくるのが楽しみ

闘病生活の仲間の全快をまって、元気な顔で来年も会おうと

一日も早い友の全快の報が聞けるのを祈り望む

■ 青春18キップ

今年の夏も青春18キップを使いました。 青春切符でどこまで行けるのか?? 色々本も出ていて、時刻表できっちりスケジュールをつめてゆけば かなり遠くまで行ける。 風来坊の私には 無理ですが・・・

「青春きっぷで出雲へ行けるか?」と息子に聞くと「滞在時間2時間」という。

まあ 帰りは特急乗ってもいいか・・・と9月9日早朝 姫路で乗り換えて岡山行の電車に乗る。

9月10日までが期限なので、青春切符を持った中年組が数多く乗っている。

僕の向かいに座った年寄りグループは京都から青春18キップで広島厳島神社へ行って日帰りするという。

「えっ 宮島 日帰りできるの?」と。 朝5時京都発で夜遅く京都に帰り着くスケジュール表を見せてくれた。

ほんと ご立派で、僕にはまねできず・・・岡山でもう挫折。

昼までに山へ行って、出雲大社・出雲考古博物館に行って 木次線でも乗れば・・・と思ったのですが、特急に乗らないととてもとても。

結局 岡山/神戸が青春18キップで後は特急に・・・。

でも 行きたかった四隅突出境の出雲の王墓群 西谷古墳群の丘の上にも立てました。



出雲の母なる川



斐伊川出雲大社



四隅突出境 西谷古墳群 出雲の王墓

■ From Kobe 思いつくまま 10月 混乱の時代に

「変えられないものを受け入れる 心の静けさ

変えられるものを変える 勇気と

その両者をみわける 英知と」

「変えられないものを受け入れる心の静けさ 変えられるものを変える勇気と その両者をみわける英知と」

教えてもらって ピンときた いつも 頭にある言葉。これが 庶民の現実的知恵とおもっています。

世の中は 本当に何が正しいのか 良くわからん 混乱の時代

政治家は 全く先を語らず、目前の政争に精を出し、マスコミは話題づくりか何か、せつな的なことばかりにしか目を向けず、自分たちが誘導したお祭り騒ぎが世論という。踊らされる方も 今踊らないと・・・と流されてゆく。

もっと落ち着いた先への道がないのか・・・・・・・・と。

どこを見ても芸能人の学会 TV 番組のひどさに悪態をつつく。

家族からは「年寄りの冷や水 自分が世の中に 付いて行けなくなっているのを自覚しろ」と怒られるのですが、最近読んだ「アエラ」に最近のTVのひどさについて書かれた一文に喝采。おんなじこと言っている人がいる。

大阪人にある「わらわせて 場を盛り上げないと」との刹那の論理が東京でもっと変質してTVを席卷。

正と偽を見分けることもなく政治家までもそれを利用する。

アメリカのサブプライム問題に端を発した金融危機が世界を席卷。金融危機の世界連鎖と不景気と雇用の不安感。

資金に余裕のある日本の銀行によるアメリカ金融への膨大な投資。 なにか割り切れない。

低金利で利子を10数年銀行にせせとつぎ込んだ結果である。アメリカもついに公的資金を投入する。

アメリカもついに強欲資本主義の道の看板を下ろすのか・・・・・・・・と思いましたが、

今日 アメリカ下院は政府の金融安定化法案の公的資金投入は拒否した。

これはアメリカが進めてきた効率化 奥行きのない強者弱者の二者選択 O×論を推進してきた自己責任の社会の道としては当然の道か。すごい社会である。

良い悪いは別にして アメリカには こんな凄みのある事を進めても それぞれが 生きてゆく道があるのか・・・・・・・・と。

この成り行きは しっかり見たい。でも アメリカのこの凄みある強欲主義は世界から見放されるだろう。

ちょうど BS ではオリビア ハッセイの「マザーテレサ」の映画を再放送していました。

「変えられないものを受け入れる 心の静けさ

変えられるものを変える

勇気と

その両者をみわける

英知と」

私には やっぱり こっちの生き方の方に共感する。

今の混乱の社会世相を反映してか、新聞の出版広告などで見ると最近 国際競争や金融の本の中に この「愛」をテーマにした本が増えてることも気になっています。団塊の世代が云々いわれるが、団塊の世代の社会は 働けば働くほど生活がみんな向上した社会。企業の汚さや歪はあったものの・・・ 一億総中流 総何々といわれた平準社会

今ほど 若者がかわいそうに見える時代はない。 やっぱり 平和が一番 武器は取らない。

それでは立ち行かぬと人は言うが、あまりに強欲なのは悪を通り越して罪であること そろそろ認識しなくては・・・と思う。

また、 取り込むばかりでなく 与えることも

今度の総選挙 さあ どうなるでしょうか・・・・・・・・

「アエラ」の檄文に触発されて、 また ぶつぶつです。

2008.9.30. 神戸にて Mutsu Nakanishi

■ 10月のホームページに更新しました

あいも変わらずですが、 ふらふら あっちへいたり こっちへ行ったり、Country Walk を楽しんでいます。

9月に出かけたCountry walk から3件をとりまとめました。

- 初秋の風物詩 彼岸花 播磨多可町の赤・黄・白三色の花が咲く 彼岸花の郷 間子集落
- 大陸・日本海沿岸から若狭/近江・琵琶湖を結ぶ「鉄の道 若狭街道」
- 縄文の仲間と千葉市にある大型環状貝塚「加曾利貝塚」・船橋市の「飛ノ台貝塚」

今年の夏せせと通った播磨妙見山の麓に秋の風物詩 彼岸花が三色の花をつけると教えてもらって、訪ねました。

また、古代大陸の「鉄」に思いをさせ、「和鉄の道 若狭街道」に残された弥生の製鉄関連や初期前方後円墳など古墳群を尋ねました。

琵琶湖湖岸の近江今津から西北の日本海側小浜へ 水坂峠を越えてスパツと直線的に結ぶ約40kmk 最短距離の道がある。

若狭街道は畿内・近江から若狭国への街道で、断層帯の中を日本海へ流れ下る北川沿いの道。最も起伏の少ない最短距離の道。古代以来の重要な交通路。地溝地帯の中を行く地形的な興味と共に、この道は卑弥呼の時代から大陸・朝鮮半島の「鉄」を畿内・大和に運んだ「鉄の道」の道に違いないと。

縄文の仲間と9月の初めに千葉市にある大型環状貝塚「加曾利貝塚」・船橋市の「飛ノ台貝塚」を訪ねました。

縄文人が印した渦巻き文様や円環遺構は「日本人の心を映す」といわれる。そのルーツを考える縄文の旅になりました。

皆さんには貝塚がどんな風に写るでしょうか・・・

ついでながら 今 兵庫県立考古博物館で 2008年日本列島発掘新発見展を開催しています。

昨年度 日本各地で発掘された石器時代から近代までの発掘新発見展。今年の日玉は高松塚の石室解体と世界遺産石見銀山ほか。

私には東北岩手県で 真円に近い縄文の環状集落遺構が出土したのが一番。

なぜ 円なのか 今も Country walk の一番の興味で、また 東北を歩きたくなっています。

JR 山陽本線土山駅から歩いて15分 時間があれば、秋の一日 大中遺跡の中にある兵庫県立考古学博物館を訪ねられてはいかがでしょうか・・・。 また、西神戸 播磨の初秋の景色も

いつも ワンパターンですが、暇な折にでも お付き合いください。

2008. 10. 5. 神戸 Mutsu Nakanishi



秋 森の恵み 縄文人の森から採取した食べ物

兵庫県立考古博物館で 2008年日本発掘新発見展に出かけて

秋の風物詩を見つけて Country Walk 一番 楽しい季節です 【3】

下の写真は 先日 NHK の趣味悠々かなにかで、パソコンのイメージスキャナーを使って、植物や動物を接写して楽しむ話を紹介していたので、これは面白いとちょうど季節の花 庭に咲いていた千日紅と季節の果物 イチジクを接写してみました。

写真そのものとはちがった加工ができ これはおもしろいと・・・。

そのうちに 素晴らしいイラスト写真が私にもできるかもしれない。

秋の風物詩を見つけて Country Walk 一番 楽しい季節です 【おまけ】



秋の味覚 イチジクを二つに割って 庭に咲く千日紅を接写して べたべた角度を変えて貼り付けました

今月更新のホームページ

1. 【写真アルバム】 秋の風物詩 黄金色の畦を飾る 赤・黄・白三色の彼岸花 2008. 9. 22.
彼岸花の郷 播磨 多可町 間子集落
2. 卑弥呼の時代からの大陸への玄関口 若狭・北近江の「若狭街道」 2008. 9. 1.
大陸・朝鮮半島の鉄を求めて続く若狭・北近江の「和鉄の道」を訪ねて
分水嶺「水坂峠」の両側 北近江「高島 熊野本」と若狭「上中 熊川宿&脇袋」
 1. 北近江「高島 熊野本」安曇川左岸 饗庭野丘陵 「鉄の加工工場があったという弥生の熊野本集落遺
 2. 若狭「上中 熊川宿 & 脇袋」 大和と結ぶこの地を治める王の墓群「脇袋古墳群」
5世紀 若狭ではじめて築かれたた前方後方墳・前方後円墳群

3. 関東の縄文貝塚から縄文の暮らしを考える旅 2008.9.3&4.
千葉市加曾利貝塚 & 船橋市飛ノ台貝塚を訪ねる

4. From Kobe 10月 「 混乱の時代に 」
「変えられないものを受け入れる 心の静けさ
変えられるものを変える 勇気と
その両者を見わける 英知と 」

***** ホーム ページ更新記事の概要 (10月5日更新) *****

■ 和鉄の道 Iron Road たたら遺跡探訪

1. 卑弥呼の時代からの大陸への玄関口 若狭・北近江の「若狭街道」 2008.9.1.

分水嶺「水坂峠」の両側 北近江「高島 熊野本」と若狭「上中 熊川宿&脇袋」



1. 北近江「高島 熊野本」

安曇川左岸 饗庭野丘陵 「鉄の加工工場があったという弥生の熊野本集落遺

2. 若狭「上中 熊川宿 & 脇袋」

大和と結ぶこの地を治める王の墓群「脇袋古墳群」

5世紀 若狭ではじめて築かれた前方後方墳・前方後円墳群

琵琶湖湖岸の近江今津から西北の日本海側小浜へ 水坂峠を越えてスッと直線的に結ぶ約 40kmk 最短距離の道がある。

若狭街道と呼ばれ、畿内から日本海沿岸への街道。断層帯の中を日本海へ流れ下る北川沿いの道で、最も起伏の少ない最短距離の道で、古代以来の重要交通路。地溝地帯の中を行く地形的な興味と共に 卑弥呼の時代から大陸・朝鮮半島の「鉄」を畿内・大和に運んだ「鉄の道」の道に違いないと。

この北近江・若狭の出入口それぞれに古墳時代この道ににらむ地域王族の大型古墳があり、特に近江側出入口 高島の熊野本では 古墳が築かれる前の弥生時代に すでに大陸から持ち帰った鉄を この地で鉄器に加工していた鉄器生産工場の始まりの可能性が有る。



饗庭野丘陵 鉄鍛冶工房があった熊野本遺跡 若狭街道沿いを若狭湾へ流れる「北川」 若狭国の王墓 脇袋古墳群

古代大和王権が最も重要視したであろう「鉄の道 若狭街道」を 実りの秋を迎えた湖北若狭平野の風景と共に訪ねました。

近江の高島と若狭の日本海沿岸がこんなに近いのか・・・と実感するとともに 古代大陸の「鉄」に思いをはせた和鉄の道 若狭街道 Walk を紹介します。

若狭街道というと京都から比良の西の谷間を北に進む鯖街道・若狭・京街道をすぐ描きますが、古代はむしろ 琵琶湖北岸の湊・近江今津から若狭へ越える道。若狭・京街道とは同じ高島の朽木の北で合流して水坂峠を越えて若狭に下ってゆく。

2. 関東の縄文貝塚から縄文の暮らしを考える旅 2008.9.3&4.

千葉県加曾利貝塚 & 船橋市飛ノ台貝塚を訪ねる



- 1. 日本最大の環状サークル 千葉市 加曾利貝塚
- 2. 縄文の村の生活のはじまりを伝える飛ノ台貝塚

貝塚はゴミ捨て場ではない。再生の願いをかけた一番大事な神聖な場所か ???

9月の初め 縄文の仲間と千葉市にある大型環状貝塚「加曾利貝塚」・船橋市の「飛ノ台貝塚」を訪ねました。

「貝塚は縄文人のゴミ捨て場ではない。自分たちの食べ物を含め、生きとし生けるものすべてに再生の願いを込めたもっとも大事な場所」と飛ノ台貝塚遺跡で聞いた解説には感激。

日本人の心を映すといわれる縄文人が印した渦巻き文様や円環遺構 そのルーツの精神かと……。

皆さんにはどううつるでしょうか…… そんな縄文の旅をご紹介します。

■ Country walk 風来坊

【写真アルバム】

1. 秋の風物詩 黄金色の畦を飾る 赤・黄・白 三色の彼岸花 2008.9.22.

彼岸花の郷 播磨 多可町 間子集落

今年の夏何度か 坑口探しに通った播磨の古い銅山「播磨 妙見山」。この山裾の里近くで 秋の風物詩「彼岸花」がすばらしい花をつけると教えてもらって、訪ねました

この里に暮らす人たちが、せっせと株分けをして育てた三色の彼岸花。顔を引っ付けて 除きこむと、田圃の畦を縁取る群生の姿とはまた違った 美しい一輪 一輪の姿が浮かびあがる。

そんな三色の彼岸花の姿を写真に収めました。



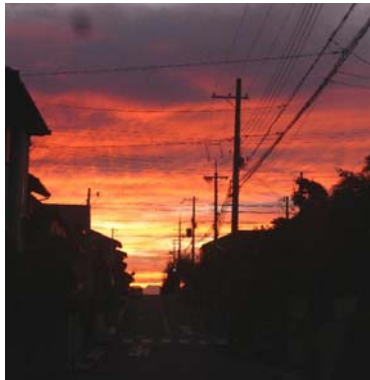
■ From Kobe 2008年 10月 おもいつくまま

1. 「 混乱の時代に 」

「 変えられないものを受け入れる
 変えられるものを変える
 その両者をみわける

心の静けさ
 勇気と
 英知と 」

ホームページを更新しました 11月のホームページを お送りします

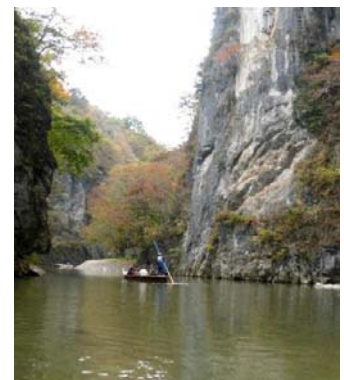


神戸自宅前の夕日 .11.11



八戸 是川遺跡・高家遺跡全景
2008.10.31.

八戸 是川・風張縄文遺跡と出土した漆製品・土偶 10.30



一ノ関 狛鼻溪・砂鉄川 10.31.



広島備北 古事記伝承の山 比婆山とその麓



六の原に残る鉄穴流し洗い場遺構



砂鉄川 川底の砂鉄紋様 10.31.

11月になって めっきり寒くなって 遅れていた紅葉も色づいて 秋まっさかり いかがお過ごしでしょうか？

10月から11月にかけて 世相は本当に大変な時代 もう 時代の流れに身を任すしかなしと決め込んでそこは「毎日が日曜日 思ったときが したいとき 勝手気ままな生活です。勝手気ままな Country Walk 深まり行く秋を楽しんでいます。

11月1日 キリスト者にとっては諸聖徒記念日 逝去者のために祈る日。

今年も親しい人が次々となくなって 本当にさびしい限り。

一緒に遊んだ仲間や ずっと私を見守ってくれた義兄も つい いつでも会えると思っていたながら ……

旅から帰って、あれやこれや あの人 この人 思い出しながら 一日すごしました。

今を精一杯 元気にと 思うこの頃です。

top の夕焼けの写真は神戸自宅前の通りから撮った写真 夕焼けが本当にきれいな季節です。

最近 位置情報と距離が記録できる GPS ロガー(PC とつないで地図やデジカメ・google earth とつないで 歩いた軌跡を表示できる 手動のナビゲーション)にはまって 腰にぶら提げて walk を楽しんでいます、手軽に GPS で遊べるようになりました。

Google と言えば 最近 住所を入れれば 自分の街や自宅が映し出される「google ストリートビュー」が始まり、話題になっていますが、まさかと思いながら やってみるといつ撮影しに来たのかごく最近撮影の私の家も通りもバッチリ。

すごい時代です。色々目を向けないと 取り残されてしまうと感じます。

相変わらずですが、家族ともども 元気に暮らしています。

つつい更新が遅れましたが、ちょっとでも元気をお伝えせねばと

非常に雑ですが、遅ればせながら 11月のホームページ更新をしました。

■ すごい時代の到来 と Yes We Can

オバマ次期大統領の勝利宣言の演説。

やっぱり すごい。

その格調にびっくりしました。

アメリカ サブプライムローン問題に端を発した大金融不安・株の大暴落・今までにない不景気の到来。あれよあれよと知らぬ間に資産はすごい勢いで目減りし、送られてくる銀行からの手紙(投資信託資産運用成績書)に 大幅に目減りした数字が冷たく並ぶ。

いやになるが、どうしようもなし。

おりしも、日米共に 選挙がらみの政治家の発言が相次ぐ。

何度も聞く 政治家の無節操な付け焼刃の言葉の数々に もううんざりの中 オバマ次期大統領の勝利宣言の演説 「Yes We Can」

その落差の大きさにびっくり。

日本にもこんな未来を語るリーダー出てこないでしょうか・・・

でも 自己責任 多数支配主義ばかりで 動いた時代の 瓦解。

いまだに それを追う日本の政治家・マスコミ。これからどんな時代になるのでしょうか

2008.11.10. by Mutsu Nakanishi

Internet に掲載されていた オバマ・バラード

「Yes We Can 」 やれば出来る

I was a creed written into the founding documents that declared the destiny of a nation.

Yes we can.

It was whispered by slaves and abolitionists as they blazed a trail toward freedom.

Yes we can. Yes we can.

It was sung by immigrants as they struck out from distant shores and pioneers who pushed westward against an unforgiving wilderness.

Yes we can. Yes we can.

やれば出来る

その信念で 憲法が書かれ 国が独立したじゃないか

そう、やれば出来る

それで 奴隷達と奴隷廃止論者は自由への道を切り開いただろう

やれば出来るんだ。

移民達は遠い海を渡り、

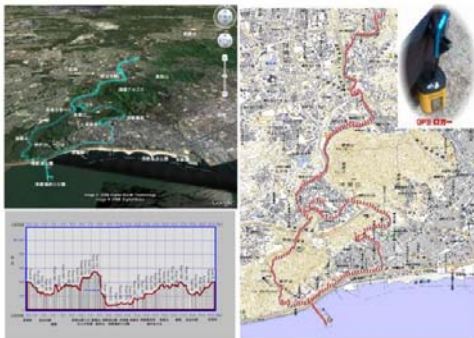
そして開拓者達は厳しい荒野を西に進んだ

歌詞はニューハンプシャー州の予備選後のオバマ氏のスピーチからとったもの、

the Black Eyed Peas のメンバー William James Adams Jr. が作曲、

ボブ・ディランの息子 Jesse Dylan がディレクターで作成された。

■ GPS ロガーにはまっています 10.10.

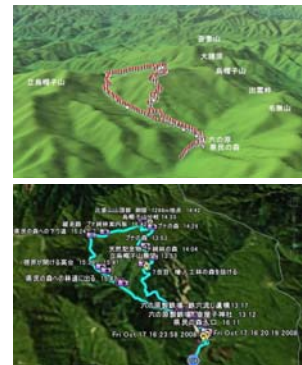


GPSロガーを腰にぶら提げ 須磨Walk 2008.10.3.

GPS ロガーに記録した須磨 Walk



GPS ロガー



GPS ロガーに記録した比婆山

先月ご紹介した GPS ロガー 腰につけて 歩くとなんて面白い。外に出歩くときには腰につけて はまっています。

家に帰って、パソコンに接続して、インターネットに接続して google earth で歩いた経路を眺め、鳥瞰図にしたり、国土地理院の 2 万 5 千分の 1 の地図の上に経路を書かしたり。また、歩いているときにスタートからの距離が即見れるのも万歩計の代わりに面白い。

どんなことができるか まずやってみよう 近くの須磨の山から海岸まで歩きましたが、本当に簡単にまた正確。

デジカメ写真の位置もわかるので、整理にも goo

10 月 広島県備北の山「比婆山」や山口・美祢や東北でも しっかり歩いた位置を記録していました。

今回 須磨での walk のきろくをまとめましたので、その面白さの一端をご紹介します。

■ 東北の紅葉 縄文の秋 をたずねました 10.29-11.1.

- 会津・裏磐梯
- 八戸 是川遺跡・一戸 御所野遺跡・滝沢村 湯舟沢遺跡
- 一関 狢鼻溪 砂鉄川にひかる砂鉄

10.29から10.31. 関東の大学時代の仲間が計画してくれた同窓会が紅葉の会津であったのを機会に 同窓会の後 みんなと別れて久しぶりに東北を歩いてきました。天候には恵まれませんでしたが、紅葉の美しい季節 素晴らしい自然とのふれあいの旅でした。縄文の遺跡の詳細は別途整理してまとめますが、「縄文人は素晴らしい景色が見渡せる高台に集落をつくった」「今も残るたたら遺跡 それをたどれば 素晴らしい自然に合える」が私の持論。

同窓会の楽しい仲間たちとの出会い・語りいと共に 本当に素晴らしい東北の紅葉が行く先々で見られました。

そんな 東北の秋 縄文の秋をご紹介します 行かれた事のある場所・ない場所 素晴らしい秋を眺めていただければうれしいです。

● 会津・裏磐梯 2008.10.28.&29.



会津若松 鶴ヶ城



裏磐梯 五色沼の紅葉



奥会津 大内宿

久しぶりに出会う仲間たち。観光バスで苗代・会津若松・喜多方・裏磐梯に奥会津大内宿を回って 夜は東山温泉で祝宴。

仕事を抜けてきた仲間もいますが、みんな もう 自由人 良い顔立ちになりました。

会津は何度が歩いた場所ですが、印象の違うフレッシュさにびっくり。また、企画してくれた工場見学にみんな活き活き 技術屋はやっぱり 現場だなあ・・・と。忘れかけていた技術屋魂も呼び起こされて

これだから やめられぬ同窓会 何度でも どこでも

● 東北 縄文の秋をたずねました 10.30.

八戸 是川遺跡・一戸 御所野遺跡・滝沢村 湯舟沢遺跡



八戸 是川遺跡・風張縄文遺跡全景



岩手一戸 御所野縄文遺跡



漆かきが今も行われている縄文の森



岩手一戸 御所野縄文遺跡 復元された土屋根竪穴住居群



岩手滝沢村 湯舟沢ストーン サークル

郡山の駅で別れて 東北新幹線に飛び乗って この夏計画詞ながら行けなかった 東北 縄文の旅に行ってきました。

青森県の南部から岩手県にまたがる南部地方 北上山地と八幡平・八甲田の山々の間を馬淵川が八戸へ向かって流れくんだり、東北新幹線も盛岡から八戸へこの山間を抜けて行く。この一帯は縄文時代から多くの人たちが住んだところで、また「漆」の産地 南部馬・浄法寺 そして、三内丸山縄文遺跡とならぶ縄文の代表的集落遺跡 八戸の是川遺跡 一戸の御所野遺跡がある。

是川遺跡から出土した大量の縄文漆製品は縄文の花と呼ばれる美しいもの また 一戸御所野遺跡は今も縄文の森が残る森の中 茅葺屋根に土が載せられた土屋根竪穴住居の集落がストーンサークルを取り囲む環状集落で、ここからも数多くの縄文漆が出土している。「世界で一番古い漆文化を花咲かせた日本の縄文「漆」とストーン サークル」 北の縄文の世界遺産登録運動の中心的遺跡では是非見たかったところ。

「縄文人は素晴らしい景色が見渡せる高台に集落をつくった。そして 今も観光地では味わえない素晴らしい自然を目にすることができる」は私の持論。ちょうど紅葉の秋 縄文の森が一番輝くとき やっぱり 素晴らしいところでした。

● 一関 狛鼻溪 砂鉄川にひかる砂鉄 10.31.



紅葉した一関 砂鉄川 狛鼻溪の川底に溜まる砂鉄が描く紋様 2008.10.31.

前回訪れたのは5年ほど前の6月 砂鉄川の名前に惹かれて出かけた狛鼻溪の川くだり。ちょうど増水期で水がにごっていて砂鉄川底に模様を作る砂鉄を見ることができなかった。「素晴らしい紅葉の秋にもう一度 おいでよ 川底に美しい紋様を描く砂鉄もみられっから」と。東北で同窓会をやると聞いて 是非いっしょに 周ってこようと。

一関から東へ気仙沼へ向かう大船渡線に乗って約30分の山間 流れ下って北上川に合流する砂鉄川 狛鼻溪。

さすがに紅葉の季節 平日なのに 川下りの船が幾つも出ていました。

前回と違って 紅葉の渓谷 澄んだ水に 砂鉄が美しい紋様を描いていました。

また この砂鉄川へは遠く北上川から遡ってきた鮭が遡上する。ちょうど 産卵を終わって 一生を終わろうとする老鮭がゆっくりと川を泳いでいるのに数度出会い、思わず拍手したくなりました。話は聞いていましたが、こんな鮭を砂鉄川で見るなんて……

一層 砂鉄川の印象が強くなりました。

■ 参考 心の残りだった東北「和鉄のふるさと」Walk 2003.7 月

■ 広島県北東部 備北の「比婆山」に登って山口・美祢へ



頂上付近に広がるブナ純林の森 天然記念物

山麓 六の原鉄穴流し洗い場遺構

広島県と島根・岡山県の国境のたたら製鉄地帯にある古事記国生み伝承の山「比婆山」

10月17日から1週間 美祢の家の草抜きかねて山口へ

山口へ行く途中 広島県と島根・岡山県の国境のたたら製鉄地帯にある古事記国生み伝承の山「比婆山」とその山麓にある六の原たたら跡を訪ねました。ブナの本はどこでもあると思っていましたが、低山では開発人工林が取って代わって、その純林となると少なくこの比婆山山頂部が古代からの原生のブナの純林 きれいな紅葉が見られました。

また、この中国山地最奥の庄原市を中心とした備北は私にとって空白のたたら製鉄地帯。そこに残された鉄穴流し洗い場遺構(復元)は今も砂鉄の混じった土砂を流して砂鉄の精製ができる復元遺構。言葉や写真では知っていても 中々操業がイメージできぬ

鉄穴流し遺構。 やっと自分のものになったような気がします。 今月まとめて 掲載しました。

美祿の家に行くのは半年振り。 除草剤を庭にまいといたので たいしたことないだろうとの淡い期待は裏切られ、たっぷり 1日分 草ぼうぼうでした。 それと 今年はどこもそうなのかもしれませんが、背中が黄色の女郎蜘蛛が何匹も巣を張って、「よう あんな高い所からも巣を張るわ」とびっくりでした。

■ 萩焼陶芸の田中さんの新作 萩焼 陶額のご紹介

美祿に帰ったら、いつも訪ねる萩焼陶芸の田中さんの陶房 陶房葉月

今回は当たらしく製作したと案内をいただいた萩焼陶額を見るのが楽しみ。

「こんな萩の世界もあるのだ」とすっかり魅せられました。

こつこつと小さな萩の土を根気よく絵の具で描くのと同じように貼り付けて絵を構成し、焼き上げる。「萩焼の土・技法を用いて、肉感のある絵が陶板に焼き上げられ、新しい萩アートの世界が展開されている」と。まさに田中さんの新しい萩の世界。絵心と確かな陶芸の技なしには作りえない「絵画と萩の融合」

「陶板画」や「陶額」などと従来の陶板の世界とひとつにまとめ表現されるには あまりにも惜しく、この一連の新作「萩・陶額」に独自の名前をつけられたらたらと。



田中さんの萩・陶額「月・山」

■ 今月更新のホームページ

和鉄の道 11月のホームページに更新しました。

今月ホームページには上記しました9・10月のWalkより 次の3件を取りまとめました。

1. 「今 GPS Logger が面白い」 GPS Logger を腰に 須磨 Walk
2. 広島県備北のたたら製鉄地帯
歴史の山 比婆山(御陵)1256m とその懐「六の原たたら跡」を訪ねる
3. From Kobe
 1. Yes We Can やれば できる
 2. 巣に引っかかった虫の振動で獲物を知る蜘蛛

相変わらずですが、暇な折にでもご覧ください。

***** ホーム ページ更新記事の概要 (10月5日更新) *****

■ 和鉄の道 Iron Road たたら遺跡探訪

1. 広島県備北のたたら製鉄地帯

歴史の山「比婆山(御陵) 1256m とその懐「六の原たたら跡」を訪ねる 2008.10.17



古事記に記された国生み伝承の山「比婆山」 頂上には古い円墳が今も残る。高さはさほど高くはないのですが、古代早くから多くの人が分け入った中国山地のたたら製鉄地帯の真っ只中。この比婆山伝承もたたら製鉄と関係した伝承か???

広島県備北・島根県奥出雲・岡山県北備の国境尾根にある比婆山 その麓にもたたら跡。また 神域として古くから信仰で守り抜かれた頂上部周辺は南限のブナの純林が山体を覆う貴重な原生林。中国山地のたたら製鉄の中心地のひとつであるが、私にとっては初めて歩いたこの地のたたら跡。そこはやっぱり素晴らしい森でした。

1. 歴史の山 比婆山（御陵）1256m Walk

1. 県民の森 六の原製鉄遺跡と鉄穴流し復元遺構
2. 比婆山御陵登山口から森の中を御陵へ
美しい檜の人工林の森と天然記念物 プナ純林の原生林
3. 比婆山の頂上部 御陵
4. 帰路 越原峠から六の原へ
5. まとめ

2 比婆山 六の原製鉄遺跡跡 概説

1. 六の原 たたら場跡
2. 六の原 鉄穴流し洗い場遺構
3. 六の原 たたら場 操業年代
4. 鉄穴流し洗い場諸施設の機能
5. 備北の比婆山・吾妻山周辺の砂鉄採取による地形変化



鉄穴流し 洗い場遺構 中池と乙池の結合部周辺 2008. 10. 17.

■ Country walk 風来坊

1. 「今 GPS Logger が面白い」GPS Logger を腰に須磨 Walk

ハンドルのGPSの一種GPSロガーを買いました。リアルタイムに位置情報を地図の上に示す。機能はないのですが、腰にぶら提げ記録をとって、パソコンにつなげば、地図や衛星写真の上に歩いた道が現れる。実に面白い。早速 須磨の山から海岸までいつものコースを Walk しました。GPS で記録した須磨 Walk です。



GPSロガーを腰にぶら提げ 須磨Walk 2008.10.3.



■ From Kobe 2008年 11月 おもいつくまま

1. From Kobe 11月

1. Yes We Can やれば できる
2. 巣に引っかかった虫の振動で獲物を知る蜘蛛

あっという間に 12月 本年最後の更新です。 一年間 お付き合いいただき、ありがとうございました



今年も多くの笑顔にであえました 神戸ルミナリエで 2008.12.12

あっという間に 12月 本年最後の更新です。 一年間 お付き合いいただき、ありがとうございました。

今年も本当に色々なことがあって、時代が大きく変化していることをひしひし感じます。でも あまり良い話無く、落ち着いた暮らしやすい時代に早くなって欲しいものです。

神戸では ルミナリエが始まると師走のムードが高まり、一気に年末。今年も ルミナリエで 沢山の笑顔に出会えました。昨年に続き、神戸ルミナリエの存続が危ぶまれています。夜になると神戸三宮・本町の街に人があふれ、これだけ、沢山の人の笑顔に出会えるイベントはありません。来年も引き続き開催されることを祈っています。

11 月末 松山で愛媛大ヒガシアジア古代鉄文化研究センターで「鉄と帝国の歴史」と題して、「鉄は国家なり」と言われる鉄の「何がこんな力を生むのか」を探る シンポジュームの案内をいただき、願ってもないことで、松山へ 6世紀 突如として 日本で始まった「たたら製鉄」の謎もとけるかも……と。

「人類に鉄器文化をもたらし、紀元前 15 頃から 12 世紀にかけて今のトルコに大帝国を築き、ラムセス 2 世・ツタンカーメンのエジプトを苦しめたヒッタイト」・「モンゴル高原に興り、ユーラシア大陸を制覇したチンギスハン」・「秦始皇帝に始まり、東アジアの諸国に多大な影響を与え続けてきた中国」。場所も時代も異なるこれらの大帝国。鉄の何がほかと違うのか… 最近の発掘調査で新事実が続々。

その原動力は 鉄の中でも強靱な鉄「鋼」を安定して作る技術を持っていたことだと言う。物づくり技術が 世界を動かした。それも 品質の良い鉄「鋼」の技術だとききました。

トルコ アナトリア半島の発掘調査で新発見 ヒッタイトの鉄がペールを脱ぎ始めた

鉄器と鉄の優れた鉄の製造法を持ち 鉄器文化の幕開けをもたらしたヒッタイト

ヒッタイトの都「ハットウシャ(ボアズギョイ)」その近くでヒッタイトの鉄の故地がみつかった
鉄の起源は少なくとも 19 世紀にさかのぼれ、ヒッタイトの強さの秘訣は「鋼」の製造

愛媛大学東アジア古代鉄文化研究センター「鉄と帝国の歴史」シンポジウムより



「アラジャホユック」遺跡(大村幸弘氏が特定した ヒッタイトの製鉄の中心地「アリンナ」) カマン・カレホック遺跡

「鉄は国家。鉄は産業の米」と大仰に言う人が居ますが、
その中身はこつこつと積み上げた「良質の鉄」を作る物づくりの技 黙々と鉄を作りあげた工人の技である。
「鉄鋼は剛柔にして、時にあわせてその態を変える」と「鋼」について学びましたが、
鉄の強靱さを引き出す技術 それが鉄器文化の原動力。

おりしも ノーベル賞受賞者が発表され、日本人が物理学賞・化学賞あわせて 3 人も、分野は違いますが、「現場」の匂いブンブンのぶれない人たちの系譜。別なところに身を置いて お題目の「激動・変革」を唱えるよりも時代を計る良い視点だと思いますが…… どちらにも 本当によろしくなっています。

昨今 時代の変革の中で、「言葉」と「中身」が違う時代への大きな警鐘。

本年最後のホームページ 更新。ばたばたの中での更新で、つつい遅れ勝ち。

だんだん 頭も鈍ってきて、なかなか まとまりません。

10月の末出かけた「北東北の縄文の旅」の整理もまだできていませんが、やっとう八戸「是川の里」の Walk をまとめたところ。

縄文の優しき心を映すというサークル そんな環状の集落を作った風張遺跡と川を挟んで向かいの水辺の台地に縄文漆の文化を咲かせた是川遺跡「縄文遺跡を訪ねれば、素晴らしい自然に出会える」が縄文 Walk にかりたてる原動力。

今回も素晴らしい景色 そして 縄文文化にであえました。

また、上記しました松山での「鉄と帝国の歴史」シンポの概要をとりまとめました。

「鉄は国家なり」この力を社会変革に…

皆さんにはどう映るでしょうか……

本当に暗い話ばかりの中で迎える年の暮れ ひとつぐらい 良い話がないやろか……と思うこのごろです。風が流行っています。ご自愛ください。

本当に 1年 ホームページにお付き合いありがとうございます。引き続きよろしく願います。

また、色々お便りください。



■ 鉄のモニュメント

- 四国伊予 日本最古の現役 道路開閉橋 長浜大橋 大洲市長浜
- 瀬戸内 来島海峡の夜明け 来島大橋

鉄のモニュメント【1】 四国伊予 日本最古の現役 道路開閉橋 長浜大橋 大洲市長浜



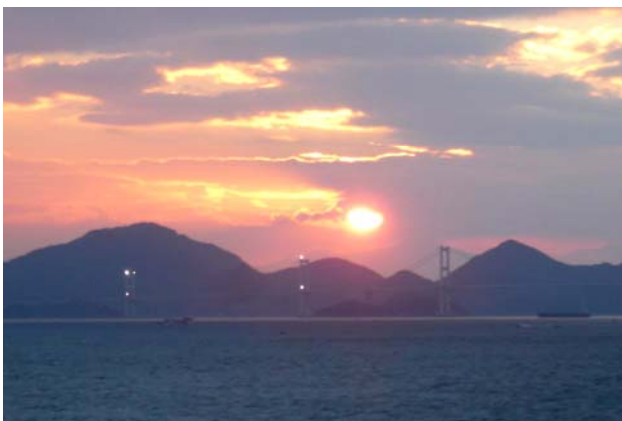
鉄のモニュメント 愛媛県 大洲市長浜 鉄10の河口に架かる日本最古の現役道路開閉橋

鉄のモニュメント 伊予灘に流れ下る舩川河口 日本最古の現役道路開閉橋 大洲市長浜 長浜大橋（昭和10年竣工）
松山から列車で45分ほど 日曜日午後1時に定期的に開閉されていますが、今回間に合わずでした 2008.10.30.

鉄のモニュメント【2】 瀬戸内 来島海峡の夜明け 来島大橋



鉄のモニュメント 瀬戸内 来島海峡の夜明け 来島大橋 2008.11.29.



合掌する土偶が出土したことで有名になった風張遺跡であるが私の興味は墓域がある広場の周囲を環状に竪穴住居が取り囲む縄文環状集落の大遺構。

縄文の優しき心を映すというサークル そんな環状の集落を作った風張遺跡と川を挟んで向かいの水辺の台地に縄文漆の文化を咲かせた是川遺跡。 縄文を代表する東北の遺跡で、青森三内丸山遺跡と一緒に世界文化遺産登録を目指している。是非自分の眼で確かめたかった場所である。

日本人の心のルーツ 縄文人の心を映すサークルがどんなところに配置されているのかを見るのが一番の楽しみ。 何度も本で読んだり、その出土品に眼を奪われたり、遺跡の名前は良く知ってはいるのですが、その場所については 五万分の一の地図と泊まったビジネスホテルで教えてもらった簡単な八戸のアクセス地図が頼り。 まあ、是川の郷に行けば、遺跡の横に是川縄文館があり、是川の縄文漆も見られるし、風張遺跡のことも分かるだろう。

2. 愛媛大学東アジア古代鉄文化研究センター 国際シンポジウム 「鉄と帝国の歴史」 聴講概要 2008.11.29.



「鉄」が巨大帝国を作り上げ、大きな社会変革を成し遂げた」 そんな「鉄・鉄技術」とは何か？

1. 「人類が初めて手にした鉄の故地 ヒッタイト」 基調講演 アナトリア研究所長 大村 幸弘氏
2. 「東アジアにおける鉄の故地 中国」 基調講演 中国社会科学院考古研究所長 王巍氏
3. 「チンギスハンの大モンゴル帝国 における鉄」 基調講演 新潟大学教授 白石典之氏
4. パネル討論 「鉄と帝国の歴史」

コーディネイター 愛媛大学教授 & 東アジア古代鉄研究センター長 村上恭通氏

パネリスト 記基調講演 3氏

「巨大帝国を作り上げ、大きな社会変革を成し遂げた」 鉄。 そんな「鉄・鉄技術」とは何なのか？

- ・世界で始めて人工鉄を操ったヒッタイト
- ・何も無いモンゴル高原に興り、鉄の戦車群の騎馬軍団でユーラシア大陸を駆け抜けたチンギスカン
- ・秦の始皇帝・漢に始まる巨大な鉄の力を見せ付けた中国
- ・たたら製鉄の日本。

これら世界の「鉄」の故地で実際に現在も発掘の現場に立っておられる 4 人のトップリーダーから「鉄の歴史」「直近の生の発掘現場の話」が聞けるまたとない機会。また、たたら製鉄・古代鉄文化研究のナショナルセンターとして 着々と歩みを続ける愛媛大学東アジア古代鉄文化センターの成果が聞けるのも楽しみ。

また、私にとっては今一番の興味は 日本で たたら製鉄に発展してゆく「プレたたら」の技術は何なのか…

そんな 疑問にも 答えてもらえるかもしれない。

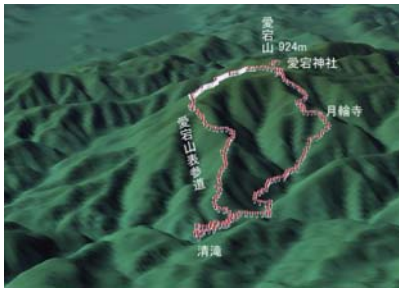
鉄の起源・鉄の社会変革に 対するインパクト 常々日本の「鉄」でも論じられてきたことを世界の事例の討論。

しかも最新の発掘調査の謎解きとそれを踏まえての議論には書物では分からぬ具体的な話に釘付け。

「鉄」の持つ魅力ででしょうか 異分野 が全く違和感無く融合して共通の視点に到達した面白いシンポジウムでした。

■ Country walk 風来坊

1. 写真アルバム 愛宕山 (924m) 紅葉 Walk 2008.11.15 京都市最高峰 火伏せの神 愛宕神社が鎮座する霊山



西から桂川を渡ると京の街の背の山並みの東西の角を占めるひとときわ高い山「東端の比叡山と西端の愛宕山」。

いつも「京都に来た」と感じる光景。また、夜 真っ暗な北西の空にぽんとひとつ灯る愛宕山の明かりは、京都を離れるときの見送り。学生時代の古き思い出。

日本各地の愛宕神社・愛宕山の総本宮で、京都人にとっては「愛宕さん」と愛着を込めて呼ぶ。

愛宕山の山裾を溪谷となって流れる保津川・清滝川の四季は素晴らしく、周辺の嵐山・嵯峨野そして清滝・高雄など京の紅葉の名所として、名高い。

紅葉見物がてらに、夜の灯のつく位置を確かめようと紅葉見物でごったがえす京都の町並を抜けて、清滝から愛宕山へ 紅葉ハイキング。京都ではポピュラーな山で高さは924m とさほど高くはないのですが、都を取り囲む西山・北山・東山の最高峰で、たいしたことないと侮るときつい。



2. 青森・八戸 縄文の郷「是川」 縄文文化を代表する是川遺跡・風張遺跡を訪ねる 2008.10.30.

- 縄文漆の素晴らしい文化を咲かせた縄文晩期の是川中居遺跡
- 墓域のある広場を環状に取り囲む住居群 縄文後期の環状集落 風張遺跡

■ From Kobe 2008年 12月 おもいつくまま

From Kobe 12月 休み～です

神戸で 思いつくまま 2008 From Kobe

■ [四季折々 Mutsu 神戸便り 2008 のpageへ](#)

■ [神戸で 思いつくまま 2008](#)

[神戸で 思いつくまま VII 2008 もくじ](#)

From Kobe

1. 2008年1月 年の初めに 2008.1.1. fkobe0801.pdf
「くろがね」の「くろびかり」の美しさと暖かさ そんな思いが頭をよぎっています
2. From Kobe 2月 2008.2.3. fkobe0802.pdf
日本人の一部 節分の「鬼」
3. From Kobe 3月 2008.3.1. fkobe0803.pdf
鉄のモニュメント 世界遺産になっているこんな珍しい橋がある
世界遺産 世界最古の運搬橋 「ス ペイン ビスカヤ橋」
TV TBS「世界遺産」2008.2.24. & インターネット「ビスカヤ橋」検索より
- 4.. From Kobe 4月 2008.4.5.
4月 神戸より 思いつくまま
1. 3月23日 イースター・復活日に fkobe0804a.pdf
2. 卑弥呼の時代 「大和への鉄の道」のルートは fkobe0804b.pdf
淀川・大和川・紀ノ川 ??? やつぱり 大和川が最有力か…
畿内に現れる庄内式土器が語る卑弥呼の重要路
5. From Kobe 5月 2008.5.5.
【1】 大 阪 国際ウエルディングショウ に「ものづくり」の現実 fkobe0805a.pdf
【2】 久 しぶりにアフリカのむかしばなしとアフリカのリズムを堪能 fkobe0805b.pdf
6. From Kobe 8月 2008.8.5. fkobe0808a.pdf
惜 別 言葉と心の壁越える達人と愛された 江ロー久さんが急逝
この5月「久しぶりに 江ロサロンの人たちに出会えた」と紹介した仲間
7. From Kobe 9月 2008.9.5. fkobe0809.pdf
帯木蓬生著「国銅」（新潮社）に物づくりの思いを見る
奈良の大仏を作った長登の銅の周辺で
8. From Kobe 10月 「混乱の時代に」 2008.10.1. fkobe0810.pdf
「変えられないものを受け入れる 心の静けさ
変えられるものを変える 勇気と
その両者を見わける 英知と 」
9. From Kobe 11月 2008.11.15. fkobe0811.pdf
1. Yes We Can やれば できる
2. 巣に引っかかった虫の振動で獲物を知る蜘蛛

2008年1月 年の初めに

「くろがね」の「くろびかり」の美しさと暖かさ そんな思いが頭をよぎっています

0801kobe01.htm by Mutsu Nakanishi

Merry Christmas & A Happy New Year !!



鉄の故郷 鍛冶職人が作る飾り看板が中世の街並みを演出
ドイツ ロマンチック街道 ローテンブルクの旧鍛冶屋敷

本年もよろしくお祈りします。

昨年12月南ドイツのクリスマスの装いをした中性の街並みをめぐるツアーに出かけました。

そんな中で、落ち着いた中世の街並みを飾る手作りの鉄看板とそれを支えた街の鍛冶屋敷に出会いました。

伝統の美しさというか 日本では失われつつある伝統の「流儀」がごく自然に生きていると感じました。

■ 鉄の故郷 南ドイツ ロマンチック街道の宝石「ローテンブルク」

中世の街並を飾る鉄看板と鍛冶屋敷 walk (2007.12.7.&12.8)

日本の鉄「和鉄」も伝来して 2000 数余年。鉄の製品化技術である鍛冶技術は早くから習得されたが、鉄鉱石などの鉄原料から鉄素材を作る技術は 必死の努力がなされたと考えられるが、中々習得できなかった。

1000 年近くもかけて、鉄の製造法「たたら」製鉄を編み出し、それを改良しつつ、現代の製鉄業につながっています。

他の金属材料では早くに素材を作る技術が習得されたのに、鉄だけが なぜ 1000 年もかかったのだろうか…

色々な説があるが、未だに良く解らない。

「たたら製鉄」のルーツは朝鮮半島・大陸にあると考えられるが、その類型はどこかに置き去りにされたのか、見つかっておらず、日本で延々と技術改良が積重ねられ、日本独自の製鉄法として 編み出されたと考えるのが妥当と見られている。

重厚長大・「鉄」というと「もう時代遅れの旧態 学ぶものもなし」といわれそうであるが、

今 鉄の持つ種々の技術・仕組みが、先端産業・技術を支え、先端産業の引き起こす矛盾是正の対抗軸となっている局面をしばしば 耳にする。

まさに 2000 年の黒光り。

「1000 年近くも探し求めて、編み出した製鉄のすごさ」

そんな鉄の「技」・「流儀」・「知恵」が、今 変革の 21 世紀の幾多の課題解決の知恵として力を発揮出来ると感じています。

かつて「鉄」がそうであったように 今 時代の先端を走るグループがその未熟さゆえに、

流儀のない また基準のない 歯止めのきかぬ競争・格差を引き起こし、地球環境の悪化にも大きな負荷をかけている。

かつて 先端として同じ道を歩き、今既にその未熟さを克服した五金の王「鐵」の技・流儀・知恵が「黒びかり」を発揮せねば……と。

よく、なぜ「今 たたら なんだ」と問いかけられますが、

「2000 数余年を生き抜いてきた技術のすごさに未来を見たい」というのも理由の一つ。

ドイツ ローテンブルクでみた鉄のマイスターの作る鉄看板の見事さが石畳の街並に本当に良くマッチしていて、ドイツ人の気質などに触れたことも、この「鉄」の伝統の技・流儀・知恵が今のドイツの社会に色濃く息づいていると感じました。

また、本年 1 月 17 日 神戸では 阪神淡路大震災 13 年。

1995 年(平成 7 年)1 月 17 日午前 5 時 46 分 52 秒 あの大地震の記憶がまざまざとよみがえってきます。

被災の記憶とともに 老も若きもみんなが一緒になれた記憶や暗闇にパッとついたルミノリエのまばゆい光も忘れることが出来ません。

阪神淡路大震災ばかりでなく、世界には 今も多くの災難に苦しんでいる人たちが数多くいます。

「風化させてはならない」と良く言われますが、それも 追悼と苦難の中で培った業・流儀・知恵ではないだろうか……

2007 年のルミノリエ 財政難から来年の開催が危ぶまれ、100 円募金を呼びかけていましたが、その募金額は予想をはるかに超え、目標額の倍以上に達したという。

いかに神戸の人たちが この「ルミノリエ」に愛着を持ち、存続を期待しているかの現れと見た。

ここに「風化させてはならない」ものの思いがある。

今 激動の時代に「ふるくさい」といわずに 伝統の技・流儀・知恵に一度目をむけるべき時ではないか……

それが 新しい時代を生み出す駆動力 基準のない社会の行き過ぎに 新しい道をつけるのではないのでしょうか……

激動の中 新しい年が 平和で穏やかな年でありますよう

2008 年 1 月 年の初めに 神戸にて by Mutsu Nakanishi



2007 年 神戸 ルミノリエ 2007.12.13.

2月になって、寒い日が続いています。

新しい年になって あっという間に2月です。 1月は「穴熊」 今年の抱負・目標は・・??? などと聞かれることもないままに、冬眠。 そろそろ 動かないとと・・・。

暗い話ばかりでいやな時節ですが、今年も精一杯「動 ただひたすらに」 これしかないなあ・・と。

2月3日は節分。この時節になると「鬼」の話が話題になる。

「鬼」というと日本各地には「鬼伝承・伝説」があって、「いい鬼」・「悪い鬼」が話題になる。

今日もラジオでは 節分で豆をまくのに「福は内 鬼も内」と豆をまく里を紹介しています。

この「鬼」とは何者なのか 「鬼」の名前には、かつて「製鉄」の集団」と関連したところが多く、「鉄」の生産活動が、周囲に数々の文化を伝え、生活環境を変えていったため、「いい鬼」「悪い鬼」がおり、また、その地の「開拓神」として、祭られることもあり、数々の伝承・伝説とともに日本各地に「鬼」の名前のつく土地・山が残る。

幾度となく訪れた東北の各地で、東北の人たちの蝦夷と呼ばれた時代の人たちへの強い愛着と近親感に新鮮と驚きで強烈な印象を受けたことがあり、この時期「鬼」の話になるといつも気になるのが、東北の「鬼」。

新しい年になって「今年は・・」と自分を省みる時期とも重なって 毎年 この「鬼」なについて、思いをはせる。

そんな折、今年は1月10日 朝日新聞に「祖先たる『蛮族』蝦夷」と題して、「古代東北の「蝦夷」と呼ばれた人々が異民族でなく、日本人の祖先であるとわたしたちを呼び起こす」記事が出たのをみましたので、あわせて紹介。

坂上田村麻呂と蝦夷の族長「アテルイ」

享月 日 発行 隔週 (夕刊) 2008年(平成20年)1月10日 木曜日

祖先たる「蛮族」蝦夷

ニッポンの面 おせて 其の貳

弓矢・騎馬 武士に継承



市川染五郎演じる蝦夷のリーダー「アテルイ」＝松竹提供

求めたが許されず、二人は河内(現在の大阪府東部)で処刑された。

アテルイとモシの処刑地は枚方市北部だとする説があり、地元の人たちが記念碑を建てて顕彰している。しかし枚方市史資料調査専門員の馬部麻起さんは「枚方市北部は当時、天皇の狩猟地である『畠野』で、蝦夷の血で濡れた」とは断言しない。

アテルイの処刑後、反乱を抑へたため蝦夷は律令国家の各地に移住させられた。蝦夷の古墳式を委ねるに苦戦した。789年に桓武が送った軍は、アテルイ(阿曇)の遺骨を運んで、ほとんどの地域で「阿曇」に祀られていた。アテルイの子孫は、東北だけでなく、全国に広がったことになる。

だが、騎と弓を全用する蝦夷の戦法は、後に習得する武士に引き継がれて、現在の対峙軍部が平定される。アテルイは旗の松たけ白犬によって、蝦夷は異民族ではなく祖先の一部なのだ。

国家軍は蝦夷の騎馬戦術に苦戦した。789年に桓武が送った軍は、アテルイ(阿曇)の遺骨を運んで、ほとんどの地域で「阿曇」に祀られていた。アテルイの子孫は、東北だけでなく、全国に広がったことになる。

アテルイの処刑後、反乱を抑へたため蝦夷は律令国家の各地に移住させられた。蝦夷の古墳式を委ねるに苦戦した。789年に桓武が送った軍は、アテルイ(阿曇)の遺骨を運んで、ほとんどの地域で「阿曇」に祀られていた。アテルイの子孫は、東北だけでなく、全国に広がったことになる。

だが、騎と弓を全用する蝦夷の戦法は、後に習得する武士に引き継がれて、現在の対峙軍部が平定される。アテルイは旗の松たけ白犬によって、蝦夷は異民族ではなく祖先の一部なのだ。

青森の岩木山(巖鬼山)の山麓にある鬼沢集落は「鬼の里」を名乗り、鬼神社を祭り、「鬼の里 鬼沢」のねぶたが弘前の街を行く。また、東北の背骨奥羽山脈は「北上(日高見)の鬼」と呼ばれる「蝦夷の族長 アテルイ」の領地。ここでは、自分たちのルーツとして 連帯・近親感を持って、熱く熱く語られる。岩手県民総参加で創られた長編アニメ映画「アテルイ」では「アテルイは親・兄弟を愛し、美しい自然を愛すために生きた。

21世紀の人間がどう生きるかという大切なメッセージがある」とメッセージを送り、
北上市の市民憲章には「あの高嶺 鬼住む誇り 音の瀬音 久遠の賛歌 この大地 燃え立つ命 ここは北上」と歌う。

関西や西日本の「鬼」 丹後大江山・鳥取大山(伯耆溝口)・岡山吉備 鬼ヶ城の鬼 等々退治される鬼とは対照的である。
冷静に考えてみれば、この「鬼」 関西人の僕らにとっても 同じルーツ・仲間なのです。

どうも 都に近いところで育ったものと地方の人たちの意識の違いの大きさに戸惑いを覚えたことがありました。

今の「東京・大阪」と「地方」の違い そっくりそのままではないでしょうか・・・。

若者と年寄り 大企業と中小企業の構図も。

中央一辺倒の流れが続く今、地方に目を向け、目を凝らさないとこの意識の違いや全体が見えないのでは・・・

切捨ては 効率で かっこよく写るのですが、必ず 行き着く先は 行き詰まること歴史が示している・・・。

あまりにも悲観的なのですが、その貧乏くじをひくのも・・・。

その時 自分の身に起こるまで気がつかぬのでは、あまりにもさびしい。

全体を揺るがす逆風を経験したことのない日本の中央では 足元が見えず、しかも、リーダーお任せの無責任な時代 ちょっとは 地方の意識にも 耳を傾けないと 自分の足元がぐらついていることに気がつかない。

年が変わり、節分の時節「鬼」が話題になるといつも 東北の「鬼」を思い出しながら、自分を振り返りつつ、こんなことが気になります。

また、中央の論理で議論されている道州制が 東北では 仙台へ向かう東北各地からのきめ細かい高速バスネットワークを始め、東京に向かうのではなく、仙台を東北の中核都市とした人・物の動きが大きな流れとなって進行しているという。同じ 流れは 西の福岡でも始まったと・・・。

中央では見えぬ21世紀の新しい胎動が始まっている。これは 中央が動いても もう つぶれない流れ。

何でも東京 そして 関西ではないし、すでにその間に 名古屋が割って入り、仙台・福岡で新しい動き。

おりしも、人の意識はすでにインターナショナルな日とも急激に増加。

TV・映画では 僕らはまだ外人と思っている人が、日本語をしゃべり、若い人たちはコスモポリタンに。

古代に起こった新しい国づくりの胎動が 今 21世紀の胎動が起こっている。

本当に 地球に優しい 地球人の時代が来るように

ヨーロッパも、日本と同じかと思いましたが、そうでもなく、ゆったりとした時間が街に流れている。

アメリカだって、救いはある。ゆるやかに 大河が流れるように 地道に時代が流れていると感じました。

「ただひたすら 動」

もっとも 好き勝手に 思いつくまま 気の向くまま かもしれませんが・・・

節分の「鬼」に思いを寄せながら・・・

2008. 2. 3. Mutsu Nakanishi

和鉄の道 Iron Road 【2】製鉄遺跡探訪 2001 & 2002 上

10. 日本各地の鬼伝説 鬼伝承の鬼は本当に悪者か??? 2003. 2. 3.

和鉄の道 Iron Road 【1】製鉄遺跡探訪 1995. 10. -2000. 5

8. 弘前ねぶたと岩木山北麓 鬼伝説の里 鬼沢 鬼神社・十腰内 巖鬼山神社を訪ねて 2000. 8. 4.

和鉄の道 Iron Road 【4】製鉄遺跡探訪 2004

6. 蝦夷の鉄・東北 和鉄の道 東北地方 和鉄の道 9編 取りまとめ 2004. 1. 18.

和鉄の道 Iron Road 【6】たたら遺跡探訪 2006

3. 蝦夷の雄「アテルイ」の足跡 「清水寺・将軍塚」 2006. 2. 9.

日本各地の鬼伝説 リスト

- | | |
|-----------------------|-------------|
| 1. 伯耆国 孝謙天皇 鬼退治伝説 | 鳥取県 溝口町 |
| 日野川流域 楽楽福神社の伝承 | |
| 2. 北上の鬼 蝦夷の雄「アテルイ」 | 岩手県一関・胆沢 |
| 坂上田村麻呂の蝦夷征伐 | |
| 3. 丹後国 大江山酒天童子伝承 | 京都府 大江町 |
| 4. 吉備国 「桃太郎伝説」の鬼ヶ城 | 岡山県総社市 |
| 5. 青森県 岩木山(巖鬼山)山麓の鬼伝説 | 青森県弘前市・鱒ヶ沢市 |

青森 岩木山(巖鬼山)山麓 鬼の里「鬼沢」



津軽 岩木山麓 鬼沢に伝わる「鬼伝説」

青森県 弘前市 鬼沢

昔々このあたりはやせた荒地で、作物の実りはきわめて悪かった。そこへ、岩木山の赤倉から下りてきたという鬼が現れ、せせとこの荒地を耕し始めた。村人達は、これを見て、ただの鬼ではないと思い、開墾の困難と農業用水の必要を鬼に訴えた。すると鬼は、それでは力を貸そうと言ったきり、姿を消してしまった。翌朝になって村人たちが行ってみると荒地には、一筋の水の流れが勢よくほとぼしているではないか。村人たちは、さっそくその水を田に引き、以後、その水は干ばつの時も決して枯れることはなかったという。村人たちは、非常に喜んで、鬼に感謝するため、神社を建立して「鬼神社」と名づけ、村の名前も「鬼沢」としたという



【鬼神社 社殿正面に掲げられた農機具の献額】

北上(日高見)の『鬼』・蝦夷の族長「アテルイ」



岩手県北上市の市民憲章には
 「あの高嶺 鬼住む誇り その瀬音 久遠の賛歌
 この大地 燃えたついのち ここは北上」
 と誇らしく歌う
 この「鬼」とは古代「日高見(北上)川」沿いのこの地に
 住んだ自分たちの祖先 蝦夷の族長 日高見の鬼「アテルイ」
 とその一族 蝦夷 を指す



今から約 1200 年前 奈良時代の末期から平安時代初期にかけて坂上田村麻呂を征夷大將軍とした蝦夷征伐があった。

坂上田村麻呂がでるまで、朝廷が苦しめられ続けた蝦夷の族長が「アテルイ」この蝦夷征伐のもうひとつの側面は今まで輸入に頼っていた「金やくろがね」がこの蝦夷の支配地であったことによる鉱物資源の支配

朝廷の蝦夷征伐の大軍を苦しめぬいた蝦夷の族長がアテルイ。

蝦夷の心情に共感しつつも戦わねばならなかった征夷大將軍坂上田村麻呂
 長年にわたる戦争の中で、アテルイは蝦夷の和平を願い、盟友・モレと約500人の兵とともに田村麻呂に降伏。

坂上田村麻呂の「蝦夷支配に活用できる人材」と助命嘆願もむなしく、アテルイは河内国で斬首。





京都 東山 将軍塚より 京都市街地全景 2006.2.9.



大日堂とその寺域の中にある将軍塚 2006.2.9.

「アテルイは親、兄弟を愛し、美しい自然を愛すために生きた。
21世紀の人間がどう生きるかという大切なメッセージがある」と東北の人達はメッセージを送る。

【参考】

巨大勢力となった寺から逃れる為、奈良平城京から平安京へ遷都されたこの時代。東寺・西寺しか許されなかった平安京に蝦夷の制圧に成功した坂上田村麻呂は国家加護の道場として清水寺の建立を許されている。

東北にある蝦夷の勢力の強さがこのことから推察される。

また、坂上田村麻呂の頭の中に蝦夷の族長「アテルイ」への思いがあったかも知れぬ。その背後の東山 坂上田村麻呂が葬られた地には「将軍塚」の名前が今も残されている。東北の地にも、大將軍 將軍通りなどの地名が今も残る。



清水寺 南の谷に面する清水の舞台下の丘にある アテルイ・モレの顕彰碑

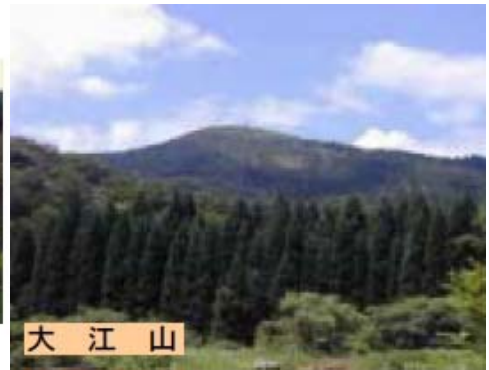


沼原(ぬまはら)の揚水発電所



上池貯水池 2003.6.28

福島県 沼原(ぬまはら)揚水発電所 上池貯水池 と 沼原湿原



大江山



安達太良連峰 鬼面山 新野地温泉より



55°Cの含鉄泉 赤



孝靈天皇 鬼伝説 伯耆 溝口 一楽福神社 古文書より

伯耆の国日野郡溝口村の鬼住山に悪い鬼が沢山住み着いていました。この鬼達は近くの村々に出ては人をさらったり、金や宝物・食べ物を奪って人々を苦しめていました。これを聞いた孝靈天皇は、みずから軍勢を率いて鬼住山の南のこれより少し高い笹苞山(さすとさん)に登り、鬼住山の鬼達をことごとく退治されました。天皇が山に登り、布陣された時、人々は笹苞の団子を献上し、士気が大いに上がったといいます。それで、この山を笹苞山(さすとさん)と呼ぶようになりました。鬼をおびき出す為、山麓の赤坂というところに団子を三つ並べたところ、弟の鬼『乙牛蟹』が出てきて討たれました。兄の『大牛蟹』は大いに怒り、手下を東ね一層暴れ、容易に退治することが出来ません。ある晩 眠っている天皇に「笹の葉を刈って山のように積上げなさい。そうすると風が吹いてそれらを舞い上げ、鬼を連れ退治出来るでしょう」とのお告げがあった。これを聞いた天皇がその通りにすると三日目の朝、猛烈な南風が吹き、積上げた笹を「あれよあれよ」と鬼の住処の方へ、巻き上げて行きました。天皇はここぞとばかり、全軍を叱咤して、舞いあがった笹の後ろを追い、鬼退治に向かいました。笹の葉に巻きつかれ、また枯葉が燃え、鬼達はなすすべも無く、麓に逃げて降参しました。人々は大変喜んで 麓宮原の地に笹で社殿を吹き天皇を祭りました。これが一楽福(ささふく)神社のいわれです。



鉄のモニュメント 世界遺産 **ビスカヤ橋** スペインバスク地方 ビルバオ近郊

Internet & TBS TV 「世界遺産」より 2008. 2. 24.

世界遺産 最古の運搬橋

ビスカヤ橋 Vizcaya Bridge.

スペイン バスク地方 鉄と造船の町 ビルバオ市の近郊



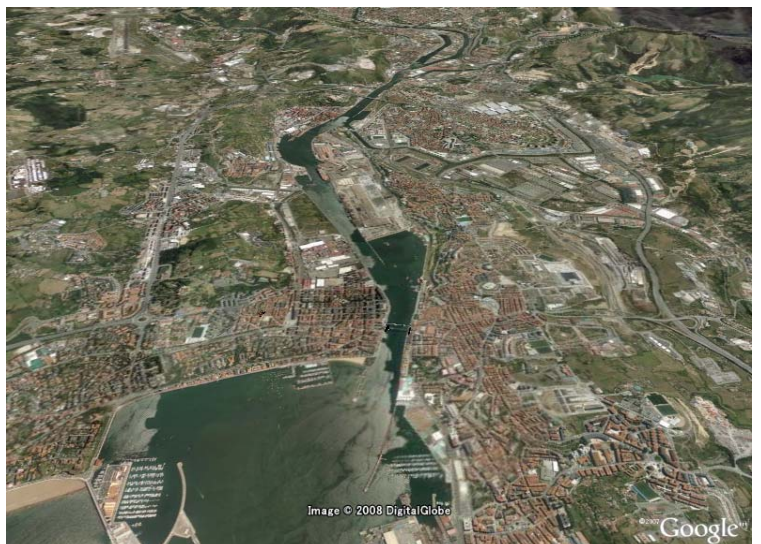
2月24日 TV「世界遺産」の番組を見ていて、世界遺産になっている鉄構造の橋があるのを初めて知りました。気になってインターネット検索でまとめました。
フランスと国境を接するスペイン北部バスク地方 ネルビオン川に架かっている世界最古の運搬橋「ビスカヤ橋」



ビスカヤ橋(スペイン語 : Puente de Vizcaya)はスペインのネルビオン川に架かっている世界最古の運搬橋。ビスケー湾に流れ込むネルビオン川の奥には鉄と造船の工業都市ビルバオがあり、その河口 ビスケー湾に面したポルトゥガレテとゲチョの街を結んでいる。

ビスカヤ橋はバスク人のエッフェルの弟子の一人、アルベルト・パラシオの設計で1893年に建設された。運搬橋という形式はビルバオに向かう海上交通の妨げになることなく、また長い傾斜路をもつ巨大な橋を造らずにすむ解決策で、鉄製のワイヤーで空中にぶら下げられたゴンドラによって兩岸を渡る。全長160mの橋は、川の兩岸に置かれた2つの大きな鉄塔の主塔から伸びるケーブルで支えられており、橋桁は、船の通行に配慮して水面から45mという高い位置に設けられている。

この橋桁から伸びる鉄のワイヤーの先にはゴンドラが吊り下がっており、人や車に乗せたこのゴンドラが川岸

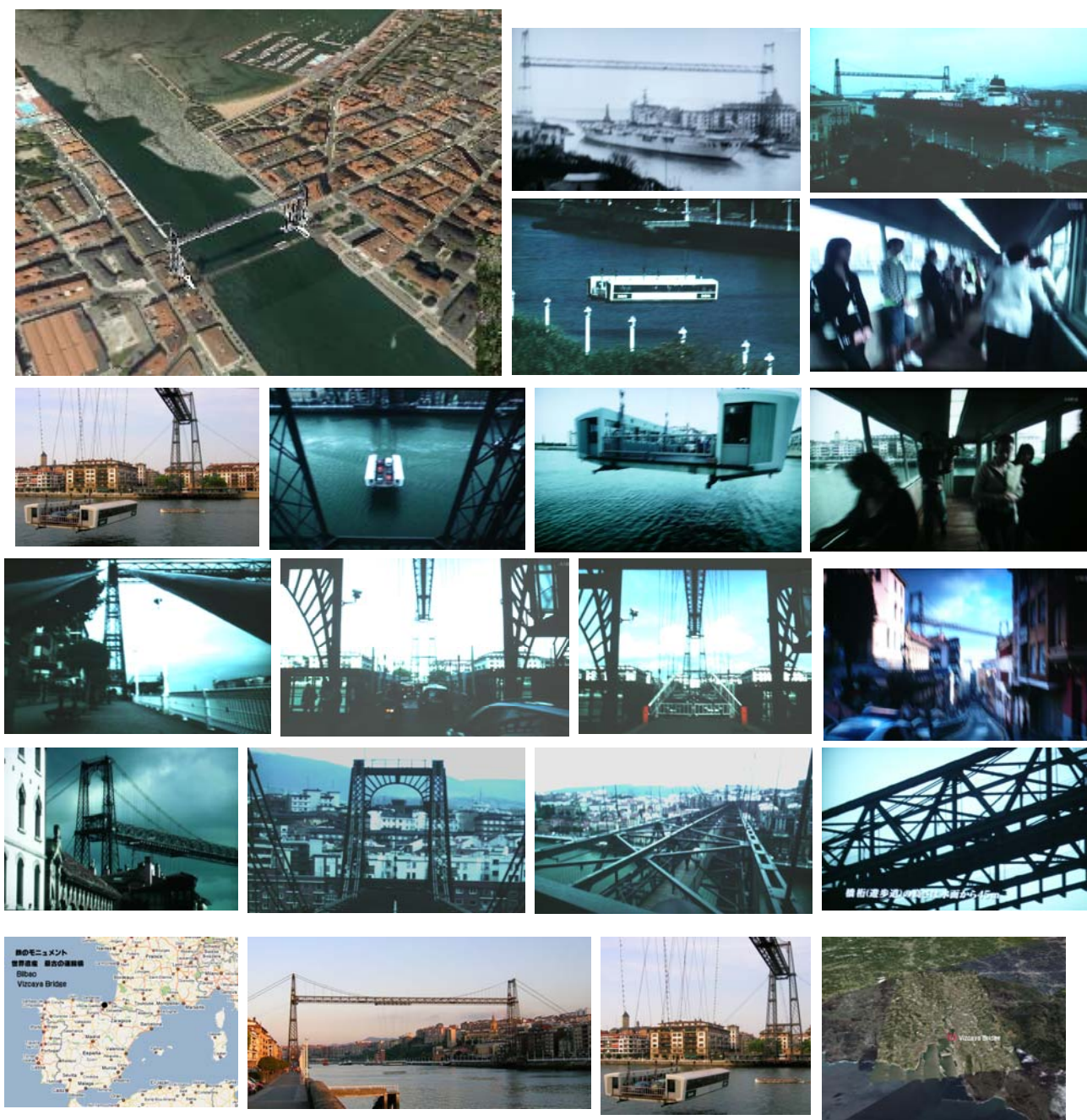


から川岸へと移動する仕組み。一切装飾が施されていない鉄橋ですが、大変存在感があります。現在使用されているゴンドラのキャパシティーは、約200人と乗用車12台(70人乗りの大型バス可)。8分間隔の運行は年中無休の24時間体制で、ポルトゥガレテとゲチョの町を片道約1分半で結んでいます。また観光用の歩道が上部構造に組み込まれており、50メートルの高さを港や湾を眺めながら歩いて渡ることができる。ビルバオ市内からは、地下鉄を使って鉄橋近くまでアクセスできる。ビルバオ市の交通と一体化しているためバスや地下鉄と同じ切符が使える。

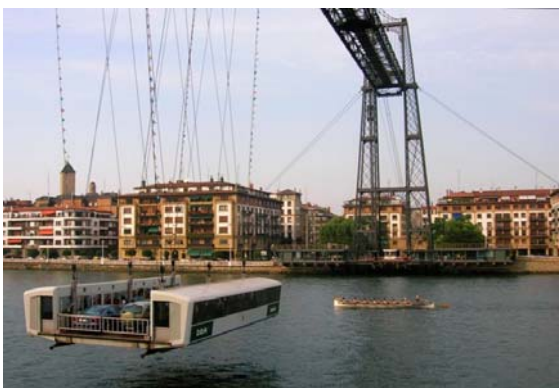
2006年7月13日に、ユネスコの世界遺産に登録された。

登録に当たっては、世界初の運搬橋であることや、その実現のために革新的な技術を用いた鉄製のワイヤーロープを最初にした橋であることなどが評価された。近現代の技術進歩の足跡を証する世界遺産である。ビルバオはビスカヤ橋が誕生する以前から造船業・鉄産業が盛んで、現在も造船業は街の主要産業であり、イバイサバル川沿いにはたくさんの造船所も見られる。

当時としては画期的な軽量鉄ケーブルを使った構造は、世界各地に造られた運搬橋のモデルともなりましたが、今日に残っているのはヨーロッパに3つ(フランスのRochefort、イギリスのNewport、ドイツのOstem)と南アメリカに1つ(アルゼンチンのBuenos Aires)だけである。







From Kobe 4月 思いつくまま

1. 3月23日 イースター・復活日に
2. 卑弥呼の時代「大和への鉄の道」のルートは 淀川・大和川・紀ノ川 ????
弥生時代の終わり 古墳時代の幕開け
やっぱり 大和川が最有力か… 畿内に現れる庄内式土器が語る卑弥呼の重要路

1. 3月23日 イースター・復活日に

今年はイースターが3月23日 いつもより早かった。
イースターがくると春であるが、この時期 クリスマスは キリストの受難に思いをはせ、自分の生き方や周囲の人たちに目を向けて祈る。
先日 友人からメールで 今年のはうるう年で2月は29日があったが、使っている日課表の月29日の項に「わたしたちが愛さない人のためにいのる日」とあるという。
自分の敵なる人の為には4年に1回祈ればいいのだろうか……という。
昨年8月の広島での平和行進に参加した時 ある神父さんが、「今の日本では、週末になると『ちょっと平和を』ですわね」と。
ガンと頭をたたかれた思いをしたことを思い出しました。



「酒と泪と男と女」「野風僧」など亡くなった河島英吾のフレーズが好きなのですが、その娘さんたちが奈良の街でやっておられる静かな喫茶店があると聞いていて、一度行ってみたかったのですが、3月8日探し当てていってきました。
その喫茶店の壁に下の写真のような河島英吾の絵とフレーズが飾られていました。



暖かい輪の集いに縄文のストーンサークルを重ねながら、現在の世相をあれやこれや…

元気をもらって帰ってきました。

また、4月は新しい出発の時でもあります。

地球人 みんなに思いをはせ「主の平和」と祈りますが、みんなが お互いを生かしあう知恵を神剣に出し合わねば…
ことしのイースターの時期の思いです。

2. 卑弥呼の時代「大和への鉄の道」のルートは 淀川・大和川・紀ノ川 ????

弥生時代の終わり 古墳時代の幕開け

やっぱり 大和川が最有力か… 畿内に現れる庄内式土器が語る卑弥呼の重要路

3月22日姫路で「倭国連合の成立と姫路地域の役割」のシンポジウムがあった。

弥生時代の終わり 古墳時代の幕開けを告げる3世紀 卑弥呼の時代の播磨の役割を告げるシンポジウムである。

私の一番の興味はこの卑弥呼の時代朝鮮半島の「鉄」を西日本瀬戸内から大和へ持ち込む鉄の道のルートはどこか???

卑弥呼の時代の後 九州に対抗した吉備・出雲・東海そして河内・大和の勢力など西日本の諸国が連合を組んで、初期大和政権が誕生したという。この連合の絆は朝鮮半島の鉄素材の供給ルートの支配だったといわれる。

この朝鮮半島の「鉄」を西日本瀬戸内から大和へ持ち込む鉄の道のルートはどこなんだろうか???

日本にはまだ 馬が居なかった時代 淀川・大和川・紀ノ川の3本の川の流域が考えられ、それぞれの川から大和へ入る周辺には後年それぞれ渡来の鍛冶集団と関係深い専用の鍛冶工房が現れる。

その先駆けとなった卑弥呼の時代の主要道はどこだったのだろうか?

昨年春 この3つの川沿いを大和へ至る古代の道をWalk。瀬戸内・大阪湾から 距離的には大和川を遡る 一番短いのですが、

大和川には河内と大和の境 生駒山山地と葛城・金剛山地の切れ目から流れ出すところに亀の瀬の急流があり、隔てる谷の両側には険しい龍田山と二上・葛城山がそびえる。また、淀川や紀ノ川からは険しくはないが道のりが遠い。

この疑問に答えてくれる話が聞けるかもしれないと出掛けました。

この疑問に答えてくれた土器の話。

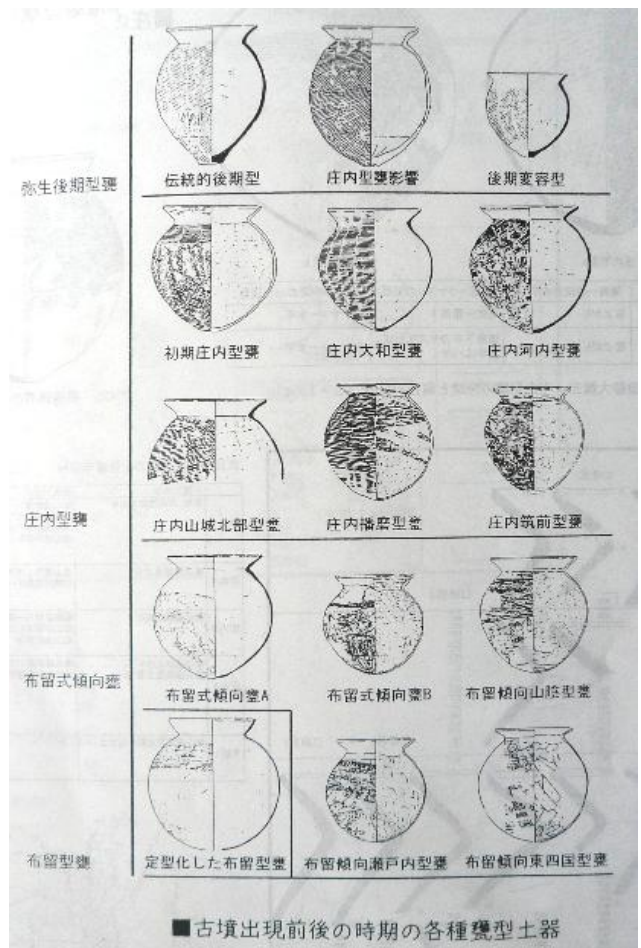
卑弥呼の時代に先駆けした弥生の終わり、畿内に吉備などの特徴を併せ持つ新しい土器 庄内式土器(叩きの技法がうけつがれ、左斜めの櫛模様 内側が削られ、平底から尖がり底へ)が現れ、それが河内の中心部や大和に現れ、古墳時代の初期にはそれが 布留式土器と呼ばれるハケで化粧された形のきれいな丸型の土器に変わってゆく。この新しい土器の動きを見れば、時代が見えてくるといえる。

畿内でのこの庄内式土器の出現地をたどると 大和川流域河内の中心部がいち早く 淀川流域の北河内(枚方・交野)や紀ノ川水系と考えられる葛城で現れるのは遅れるという。

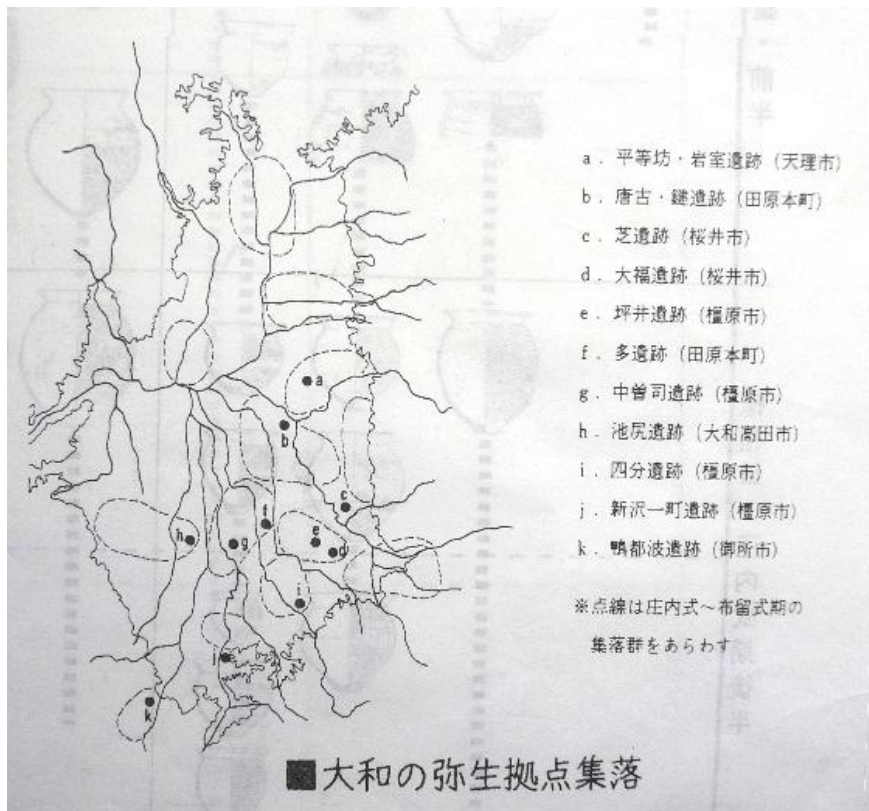
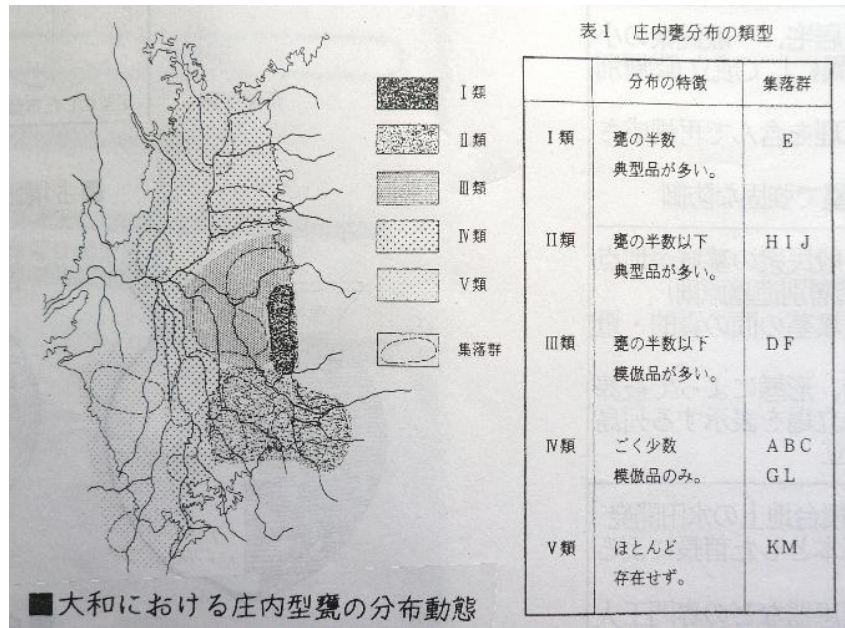
この庄内式土器・布留式土器の動きを見るとやっぱり、大和への道は大和川遡行がメインか

古代大和は要塞の地とよく言われるが、この大和川遡行・龍田山越の鉄の道を開いたことが、大和王権確立のポイントかもしれない。

ついでながら、吉備と大和の中間点の重要ポイントにある播磨に庄内式土器が現れるのはずっと後。また、讃岐とこの吉備・播磨の交流を土器で見ると讃岐から吉備・播磨には多くの人々が動いているのに播磨から讃岐へは人が動いていない一方通行という。



瀬戸内の鉄の道が当時の中央・メイン道路であることが、よく見え、現在の地方過疎化の波が古墳時代の始まりの頃にもあったと思えて面白い。



大和における庄内型甕の分布動態と弥生拠点集落

青木勘時「大和からみた播磨 -播磨における庄内式土器の意義」より

縄文土器の面白さ・美しさには惹かれますが、弥生の土器なんて みな同じように見えて 面白さも判りませんでした。すばらしい土器編年の魅力。ちょっと土器の見る目にひとつ加わったような気がしています。

おもしろいシンポジウムでした。

参考資料

シンポジウム「倭国連合の成立と姫路地域の役割」講演資料

青木勘時「大和からみた播磨 -播磨における庄内式土器の意義」

1. 大阪 国際ウエルディング ショウに思う「ものづくり」の現実



2年後とに開催されている国際ウエルディングショウが4月9日から12日まで大阪で開催された。

仕事から遠ざかって サビた頭の体操にもなるし、昔の仲間にも会えると案内状をもらって、11日 久しぶりに会場のインテックス大阪に出掛けました。もう5年以上遠ざかっていて 新しい技術動向を見るのも楽しみ。

以前は 大阪での開催は東京と比べて人が少なく、また、ビジネスの場というより、会社のステイタスを示すようなイメージ展示が多かったのですが、今年行って見て、参加者の多いのにビックリ。会場は凄い混みよう。

また、どの会場でも 何処も溶接機を持ち込んで、実用の現場溶接を

演している。以前 同じような現場溶接の実演を持ち込む企画を「バタクサイ実演をやめろ」といわれたのを思い出した。えらい様変わりである。大手メーカーもなりふり構わず、それぞれ「バタクサイ」実演を連続して進めている。ウエルディングショウが本来のビジネスの場に変ったと驚きました。また、小さな1コマのブースしか持てなかったアジアのメーカーが、日本の大手と同じような広いブースでビジネス展開しているのにも驚き。

今 溶接のビジネスは活況だと聞いてはいましたが、現実に見ると想像以上でした。

でも このウエルディング ショウ の変貌は何を意味するのだろうか……

新興国が見せる現場主義のバタクサイ手法を遅れているとし、先へ進むと称して IT 制御やビジュアル映像などの仮想画像そして、完全コンピューター制御の万能機がもてはやされた時代の終末か……。

現実の作業に使えるかどうか… 自分の目で確かめる現実的な現場主義の時代にもどったように見える。

日本のメーカーがブランドだけでは 新興国のものに勝てなくなった「必要の現実」 激的な具体的なビジネス競争が見えてくる。「ペーパーで何が出来るのか」「現場尊重の言葉だけで何が出来るのや」と「ものづくり」の現場で自嘲気味に語られてきたことが現実のものになりつつある。

それが ウエルディング ショウの変貌にも 現れてきているように見え、そこにビジネスチャンスが生まれてきたのだろう。

あたらしい海外メーカーに働き場をみつけた仲間 そして、一緒に仕事をした海外メーカーのリーダーの自信に満ちた笑顔と忙しくユーザーの人たちと歓談する姿に出会えたのが印象的でした。

仲間から「今、溶接機はコンピュータ制御の素晴らしい自動機になっているが、機械の標準設定では作業はできても 品質は保証できず、その自動機に品質や速度などモディファイ付加の具体的な溶接設定を組み込める人が海外ばかりでなく、国内でも大量に不足。現場条件設定ができる人が引く手あまただ」とも聞きました。

「機械だけ持ち込まれても……」である。

思いもかけない別分野の人たちにも出会えて ラッキー。また、久しぶりに東京からこられた先輩にも出会えて、大阪の夕景を眺めながら、昔の技術談義に花を咲かすことができました。

不況の中で 苦しみぬいた仲間のビジネス うまく 舵取りして 乗って欲しいと……

時代は スピードで 動いている。

自分にとっては もはや 自分の場ではありませんが、やっぱり、時々 頭の洗濯しないと 置いてきぼりになってしまうとつくづく感じました。

霞ヶ関ではやたらに目に付く「〇〇会議をつくった 第三者をいれた〇〇会議」を作ったから 進むと……。

船頭多くしても ましてや ほかの人入れて…である。

指示した本人が、「自らやる」という姿勢のない会議の多発は「どつぼ」の連続。

対極には 自動車ショウに世界の自動車メーカーの社長が乗り込み、自ら自社の自動車に乗り、ダイレクトに自分で自社の自動車

を語る。そんな時代にきているのに、それに気がつかぬ未だコスト・国際競争力・効率化の言葉薄っぺらな管理にしがみついた日本。「IT」ではなく「アイティ」「アイティ」と叫びまわったのが今は下火になったと思ったら、今は地球温暖化防止のための「炭酸ガス排出権取引・カーボンオフセット」の言葉だけがもてはやされている。

今も「IT 技術」「地球温暖化防止技術」は正面から取り組まないと「一番すすんでいる」との妄想に取付かれているだけで、いずれ置いてきぼりになってしまう。

「ものづくり」の世界でいわれる「根本原因・ルート コーズ」に眼を向けることをほうかぶれば、間違いなく付けが来るだろう。

心地よい酔いの中 久しぶりに出会った人たちを思い起こしながら

神戸への快速電車で 2008.4.11. by Mutsu Nakanishi

2. 久しぶりに アフリカのむかしばなしとアフリカのリズムを堪能

「江口サロン」の人たちに出会いえました



5月4日午後 「地球おはなし村」を主催する江口久さん(民族博物館名誉教授)と 南アフリカ出身のアフリカ音楽のミュージシャン ジョゼフ・ンコシ・川辺知美さん ジョイントの「アフリカのおはなしと音楽」の会が京都市北文化会館であった。

この企画に協力推進した「地球おはなし村」の皆さんたちと一緒にあって、参加させてもらった国立民族学博物館の特別展示「西アフリカ おはなし村」に集った仲間である。

あれから5年 久しぶりに江口さんの「語り」とジョセフさんの音楽 そで一緒に集い、踊って飲んだ仲間に出会える。アフリカのあのリズムに出会えると聞くともう むずむず。 会後の「江口サロン」の飲み会も魅力ででかけました。

5年ぶりなので、知った人いないのでは……の不安も会場に入るとあの「おはなし村」の雰囲気そのまま、なつかしい顔が幾つも。。

久しぶりに アフリカのリズムに気持ちもルンルンでした。

中学生で太鼓をたたいていた女の子がもう 大学生のお嬢さん。夜おそくまで楽しんで帰りました。

久しぶりに聞く 河辺さんの太鼓に合わせて語る江口さんの「オマルのひょうたん」に「ピラーリーさんの話」。

もうアフリカの夜ばなしの世界の中にドブプリと引き込まれてゆく。

ええなあ……と。まわりもみんな 身を乗り出して聞きほれる。

おはなしの後は ジョセフィンさんと河辺さんのアフリカ音楽の世界。

マリンバと太鼓が作り出す激しいリズムに自然と体が反応。手をたたき、体をゆずって会場が一つになる。

だれも
さいたことのない

アフリカのおはなしと音楽

江口久 & ジョゼフ・ンコシ

2008年5月4日(日)
京都市北文化会館 (創造活動室)

だれも
さいたことのない

プログラム

～～ 第一部 ～～
こどもの世界 おはなし: 江口久
作曲: ジョゼフ・ンコシ
河辺知美
「オマルとひょうたん」他
☆休憩(5分)

～～ 第二部 ～～
江口久の世界 作曲: ジョゼフ・ンコシ
河辺知美
「男の子と指輪」
☆休憩(5分)

～～ 第三部 ～～
ジョゼフ・ンコシの世界
「ジョゼフ・ンコシが奏でる
アフリカの音……
アフリカのリズム……」

ごあいさつ

アフリカは人類の故郷です。アフリカは不幸にして植民地になり、独立後も、北の諸国のおかげで、かすかすの困難にあえいでいます。でも、大部分のアフリカの人たちは、まずしいながら、ゆたかな口承文芸や音楽を伝承してきています。逆にいえば、昔話の語りや楽器の演奏にさえられて、アフリカ人は豊かな生活をおくっています。わたしは四十年のあいだ西アフリカの昔話を聞いてきました。どれも、おもしろいものばかりです。今日は、その中からよりすぐった昔話をここでかたることができることをたいへんうれしくおもいます。昔話は口でかたり、耳できくものです。現地で聞いたような素材なむかしながらの昔話を再現したいとおもいます。

江口久

アフリカは、天然資源にも、音楽、語り、踊りなど豊かな文化にもめぐまれています。経済的には貧しくても、アフリカにおいて、音楽は、欠かすことのできないものでした。いつの時代にも、人びとは、昔話でおしえ、昔話からななできました。みなさまのご来場によって、この催しが可能になったことをよるこんでいます。どうもありがとうございました。

(江口 祝)

ジョゼフ・ンコシ

私にはどうしても合わせられなかった太鼓のリズム 会場で手をたたいての参加。
長いこと このリズムわすれかけていたなあ……と。



「アフリカのおはなしと音楽」の会 京都市北文化会館で 2008.5.4.

会の最後は いつもながら アフリカのリズムに合わせて みな 手をたたいて 体をゆずって 総踊り。
5年前の民博「西アフリカ おはなし村」 歳を越えて踊る姿は みな 元気 元気。
会の後は 二条川原町のアイリッシュパブで ギネスを飲みながらの「江口サロン」
飲んで 話して 踊って。ここに来るとほんと 毎度ながら 話し始めたそのときから みな仲間
なんで ここに集っているのか 笑っちゃいますが、ようは この会が 体にしみてしまった仲間
終わってもまだ ジャンベのリズムが体をかけまわる。

又 続けて欲しいなあ……と。

地球おはなし村の「アフリカのおはなし」や「アフリカ音楽」の会の公演にも 一度顔をだそうと思いながら帰ってきました。



会の後 河原町二条のアイリッシュパブで ギネスを飲みながらの「江口サロン」 2008.5.4.

● [地球おはなし村 ホームページ](http://ohanashimura.web.infoseek.co.jp/index.htm) <http://ohanashimura.web.infoseek.co.jp/index.htm>

大阪を拠点に活動する「地球おはなし村」の楽しいホームページです

惜別

この5月「久しぶりに 江口サロンの人たちに会えた」と紹介した仲間

言葉と心の壁越える達人(朝日新聞 惜別より)と愛された 江口一久さんが急逝



また、ひとつ 僕の仲間のつらい話を伝えねばなりません。この5月のホームページで「江口サロンの人たちに会えた」と紹介ばかりの神戸の仲間 江口一久さん 西アフリカの民話の収集・研究者でその語り部である言語・民族学者 国立民族学博物館名誉教授 その江口一久さんが、6月14日駅での転倒事故で、ほんの一瞬にして亡くなってしまった。

どこにいても、日曜日にはその土地の教会へ行くというクリスチャンで、10ヶ国語を越える言葉が話せるという言語学者ではあるが、言葉がわからなくても、初めての人でも、どこでも、話の輪の中に飛び込み、そのうちに、言葉も内容理解できるというまさに達人言語民族学者といわれた。私とは正反対というか、どこでも飛び込んで直ぐ酒をくみかわし、肩を組んで踊ってお友達・お仲間。後先が逆で、行動を起こす人。それだけで、学者としての鋭い視点・思慮を持つ論客でもあった。

「まな、今度一緒に行く、ええ酒の飲めるで」と青森の三内丸山遺跡のお月見の会に連れて行って来て、縄文の道にまるきかけを作ってくれた人である。

また「民博で、西アフリカおはなし村の特別展、そこで、多くのボランティアの語り部が語る西アフリカの「おはなし」の展示やるんや。手伝いに来てや」と。「おはなしの展示って、それ何」とついつい引き込まれて、ここでも多くの仲間と引き合わせてくれた。(2003年4月から10月)

バオバウの大きな木を会場に据え、その傍に語り部の語るお話の家をしたらえて、多くの語り部が常時、西アフリカの昔ばなしを語り、アフリカからやってきた仲間や語り部、そして会場に来た人みんな一緒になって、バオバウの木の周りを、ジャンベの太鼓にあわせて踊り回ります。その先頭いつも、彼がいたのも懐かしい思い出。

語り部としても、本当にすごい実力で、登場人物になりきった語り口は、むかし話を聞いているというより、独り芝居についつい引き込まれてゆく、楽しいものでした。

このおはなし村がベースになった「地球おはなし村」を起こして、その村長として活動を進めて、民博退官後もこのおはなし村活動とアフリカフルベの民話収集・研究をつづける現役で、フルベの昔話の意味を語りとともに、みんなに伝えつづけ、アフリカを思い、「平和」を説きつづけた行動のひとつだった。

「アフリカのために、また何かやろうや。また、15日、御所の中でお茶会とおはなし村やるよ、京都で一杯どうや」と話したのが最後だった。

くちぐせは「まあ、そやな、ひとつよろしく」
まとまらない時でも、また、独り突出して取捨がなくなかった時でも、にこっと「ひとつよろしく」

「江口さんの、ひとつよろしくには、まいるわ」といいたながらも、みんな引き込まれてついてゆく、世界に多くの友達を持ち、多くの人を愛し、愛された人でした。

まだまだ、聞かしてほしかった昔話。また、博識の先を見据えた地球人の話等々、本当に残念で「まっかりと、穴があいたような気持ち。彼の「ひとつ、よろしく」が耳に残っています。ひと付き合いの下手な私にとっては、分け隔てのない達人の心には、何とか少しでも近づきたいものです。

また、彼がこよなく愛した「地球おはなし村」この活動が彼のDNAを受け継いで、ますます、広がってゆくことを期待しています。

2008.6月 by Mutsu Nakanishi

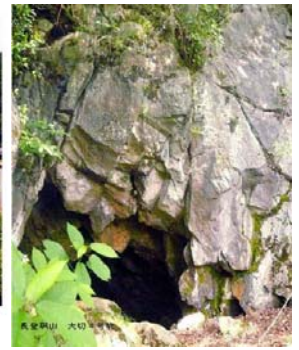


2003年4月 民博 特別展「西アフリカおはなし村」より

【参考】

1. From kobe 2008.5月「久しぶりに アフリカのむかしばなし と アフリカのリズムを堪能」
江口サロンの人たちに会えました
<http://mutsu-nakanishi3.web.infoseek.co.jp/walk5/0805kobe00.htm>
2. 2003.7月「バオバウの木の下で 国立民族学博物館 特別展「西アフリカ おはなし村」 open」
<http://mutsu-nakanishi2.web.infoseek.co.jp/walk/mnwalk07.pdf>
3. 2003.8月「「マリ国立民族舞踊団による音楽とおどり」バオバウの木の下でみんな踊って」
<http://mutsu-nakanishi2.web.infoseek.co.jp/walk/mnwalk08.pdf>
4. 地球 おはなし村 home page <http://ohanashimura.web.infoseek.co.jp/>

帝木蓬生著「国銅」に 物づくりの思いを見る 奈良の大仏を作った長登の銅の周辺で



8月の更新で 奈良大仏の銅を産出した山口県美祢市美東の「長登銅山」をご紹介しましたが、先輩・友人諸氏より、「帝木蓬生氏著の『国銅』に奈良の大仏建立と長登銅山の銅生産の様子が丁寧に描かれている。」とのメールをいただきました。

長登周辺の秋吉カルスト台地の自然とともに「丁子」として働いた「国人」という人物を通して、長登銅山の鉱石採取から銅製錬の様子 そして 奈良の大仏建立の様子が克明にえがかれています。面白くて一気に読みました。

長登銅山堅坑での鉱石採取 たたら踏みと炉吹き製錬 製錬家庭での亜硫酸ガスとの戦いの厳しさ そして 鑄かけによる克明な巨大第仏の建立等々。少しは知っていましたが、それらにたずさわる仲間・組織と操業プロセスそして作業歌が克明に描かれていて、古代のたたら衆の山の作業の様子がありあり。

銅製錬の工程を書き出すと本当に数行の無味乾燥なものになってしましますが、実際の作業となるとそれこそ数々の知恵、硫化銅鉱石の亜硫酸ガス抜きに 1ヶ月以上も鉱石を焼き続けて「焼ハク(金篇に白)」を取るなど工程は知っていましたが、実際の作業は知りませんでした。

銅の製錬では銅鉱石を溶融させた時に出るスラグをカラミ 溶銅成分をカワ(金篇に皮と書く)というのですが、なぜ溶銅成分が「皮」か 不思議でしたが、ふいごを 吹き、風と火が廻ると鉱石は溶けて湯になり、銅分は沈み、その他の滓が浮くのでこれを流し出して棄てる。銅分がたまとこれを冷やすと平べったい瘡蓋状の硫化銅の塊が出来る。それで「カワ」(金篇に皮)という。

やっとわかりました。また、溶出させたスラグをカラミという。

また、なぜ亜硫酸ガスを浴びる危険を冒しても 火の中を見続けるのか 単に温度コントロールだけかと思っていましたが、そうではなく鉄抜き、不純物抜きを見続けている。最も大事な作業。

硫化銅の中から亜硫酸ガスが抜けてくると同時に溶銅の中から酸化鉄スラグとなって表面に沸き出てくるのを見つけている。

鉄スラグが出てくる工程が収まると、溶けた硫酸銅の温度をゆっくり下げながら 表面に空気を吹きかけて硫黄分をガスにしてさらに取り除く。そして、慎重に水を吹きかけ、表面を凝固させて脱硫された薄皮の銅成分(荒銅)のみを取り出す。

(イメージ的には金属版の生湯葉製造のイメージ 生湯葉のようにやわらかく曲がることはありませんが……)

うっかり「どど」と水を入れれば、それこそ大爆発。

丹念に溶銅の表面に水を拭きかけるなど、危なくて、とても考えられぬ技。



鉱石を焼いて硫黄を飛ばす



焼いた鉱石を火床で溶融し、鉄分と硫黄を飛ばして硫化銅が主成分のカワにする
別子銅山「鼓銅図録」より



カワを再度溶融 硫黄を飛ばして荒銅を作る

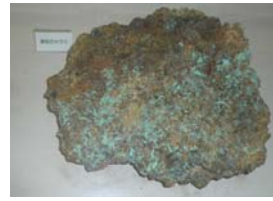
そんな技で品質の良い荒銅を作り出す。本当に物づくりのすごい技。
どれもこれも「国銅」に描かれた「吹屋」での命がけの作業です。



坑内を走る銅鉱脈



主要硫化銅系鉱石 黄銅鉱



銅滓 カラミ



荒銅

また、奈良の大仏の建立の技術にも 私には思い入れがあります。

私が溶接のエンジニアとして 仕事を始めた当初

諸先生諸先輩から「溶接は奈良の大仏に始まり 宇宙まで延々と続く物づくりの基盤技術」

物づくりの知恵の結晶 常に先人たちの知恵を受け継ぎ、先端を行くと教えられました。

「奈良の大仏はとてつもない鑄掛けの鑄造技術」と知ってはいたものの あの巨大な大仏の鑄掛け作業

「どのように取り組んだのだろうか…… いつか きっちり調べてやろう」と。

この鑄掛の作業も実に丹念にその工程が書き込まれていました。

大仏製作の同じ段の銅の同時鑄込み。100 を越えるこしき炉で溶解された銅が合図ひとつで 一斉に鑄込みを始める図など思い
もりませんでした。大仏の建立もまた鑄型製作作り等も含め、巨大プロジェクトを内から支えた知られざる物づくりの技。

長登・秋吉から三隅へ 古代の大鉱物資源帯であるカルスト台地の山々 そして 奈良の大仏を作り上げて 山口長登へ帰る道筋
琵琶湖 若狭から 竹野 出雲 浜田 益田 そして 野並瀬・三隅 古代日本海側に続く「和鉄の道」。

本当に丹念に準備された筆。長登での銅製錬 そして 奈良での 大仏鑄造を通じて、物づくりの苦勞とそして 物づくりから得
られる喜びが苦勞が生き生きと描かれています。

古代の物づくりというと浮浪・俘囚などを使った「苦役」のイメージが
ついて回りますが、「物づくり」の真髄というか 面白さが描かれ、
物づくりを通じて得られる真の技術とは何か 物づくり技術として
伝えたいことがふつつつと浮かんできます。

常木蓬生氏が『国銅』の著で描きたかったのは何だったのか……

別子銅山の作業を描いた「鼓銅図録」の工程絵図を重ねながら
「吹屋」での物づくりの作業描写に夢中でした。

鉄と同じくフイゴを踏む「たたら」衆 この銅製錬の吹屋で歌われる
作業歌も印象的ですね。

機械に名前をつけ、歌を歌って調子をとる。

そんな時代はるか彼方に消えてしまいました。

「機械が物を作る」「機械とマニュアルがあれば 効率よく物が作れ
る」そんな 現在の管理社会。

うつろに響く「物づくり」技術の大事さをお題目のようにな
えても……

物づくり技術で何を伝えないといけないのか……

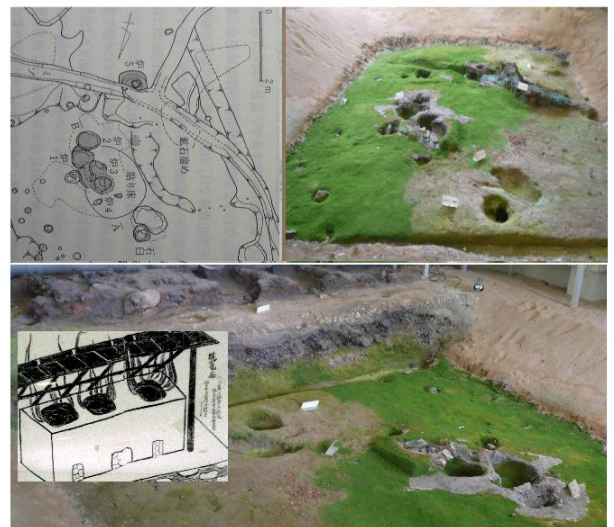
マニュアルでは判らん作業の中に生きる知恵

物づくりは この知恵なしに 出来ないだろう。

材料屋としての思いいれもあって、ちょっと異質な見方かもしれませんが、

全編にわたり そんなイメージで 一気に読みました。

教えていただいて本当にありがとうございました。



焼窯と吹床遺構例 兵庫県多可町 妙見山 石垣山銅山遺跡
時期が異なる炉が5基か吹床から出土 また吹床遺構の上層部の壁に焼きがま遺構が見える

東播磨 妙見山 石垣山遺跡 2008.8.21.

加古川の中流 多可町

日本古来の吹屋の遺構賀出土

当時の吹屋の諸施設配置 操業の様子を明らかにした

■ From Kobe 思いつくまま 10月 「混乱の時代に」

「変えられないものを受け入れる 心の静けさ
変えられるものを変える 勇気と
その両者を見わける 英知と」

「変えられないものを受け入れる心の静けさ 変えられるものを変える勇気と その両者を見わける英知と」
教えてもらってピンときた いつも頭にある言葉。これが 庶民の現実的な知恵だと思っています。

世の中は 本当に何が正しいのか 良くわからん 混乱の時代

政治家は 全く先を語らず、目前の政争に精を出し、マスコミは話題づくりか何か、せつな的なことばかりにしか目を向けず、
自分たちが誘導したお祭り騒ぎが世論という。踊らされる方も 今踊らないと・・・と流されてゆく。

もっと落ち着いた先への道がないのか・・・・・・・・・・と。

どこを見ても芸能人の学芸会 TV 番組のひどさに悪態をつつく。

家族からは「年寄りの冷や水 自分が世の中に 付いて行けなくなっているのを自覚しろ」と怒られるのですが、最近読んだ「アエラ」に最近のTVのひどさについて書かれた一文に喝采。おんなじこと言っている人がいる。

大阪人にある「わらわせて 場を盛り上げないと」との刹那の論理が東京でもっと変質してTVを席卷。

正と偽を見分けることもなく政治家までもそれを利用する。

アメリカのサブプライム問題に端を発した金融危機が世界を席卷。金融危機の世界連鎖と不景気と雇用の不安感。

資金に余裕のある日本の銀行によるアメリカ金融への膨大な投資。何か割り切れない。

低金利で利子を10数年銀行にせっせとつぎ込んだ結果である。

アメリカもついに公的資金を投入する。アメリカもついに強欲資本主義の道の看板を下ろすのか・・・・・・・・と思いましたが、

今日 アメリカ下院は政府の金融安定化法案の公的資金投入は拒否した。

これはアメリカが進めてきた効率化 奥行きのない強者弱者の二者選択 O×論を推進してきた自己責任の社会の道としては 当然の道 すごい社会である。良い悪いは別にして アメリカにはこんな凄みのある事を進めてもそれぞれが 生きてゆく道があるのか・・・・・・・・と。この成り行きは しっかり見たい。

でも アメリカのこの凄みある強欲主義は世界から見放されるだろう。

ちょうどBSではオリビア ハッセイの「マサーテレサ」の映画を再放送していました。

「変えられないものを受け入れる 心の静けさ
変えられるものを変える 勇気と
その両者を見わける 英知と」

私には やっぱり こっちの生き方の方に共感する。

今の混乱の社会世相を反映してか、新聞の出版広告などで見ると最近 国際競争や金融の本の中に この「愛」をテーマにした本が増えていることも気になっています。

団塊の世代が云々いわれるが、団塊の世代の社会は 働けば働くほど生活がみんな上がった社会。

企業の汚さや歪はあったものの・・・ 一億総中流 総何々といわれた平準社会

今ほど 若者がかわいそうに見える時代はない。

やっぱり 平和が一番 武器は取らない。

それでは立ち行かぬと人は言うが、あまりに強欲なのは悪を通り越して罪であること そろそろ認識しなくては・・・と思う。

また、取り込むばかりでなく 与えることも

今度の総選挙 さあ どうなるでしょうか・・・・・・・・

「アエラ」の檄文に触発されて、また ぶつぶつです。

From Kobe 11月

1. Yes we can 私たちにはできる
2. 巣に引っかかった虫の振動で獲物を知る蜘蛛の習性

1. Yes we can 私たちにはできる

オバマ次期大統領の勝利宣言の演説。 やっぱり すごい。

その格調の高さにびっくりです。

市民は次の日 歴史的な演説を長く自分の下に留めるため、演説の全文を載せた新聞を買いに長蛇の列を作って、「Yes We Can」の格調高い唄まで広く歌われだしたという。すごいですね。

選挙中 何度も そのカリスマ性というか 演説のうまさ 若者が熱中するのも無理からぬ と思っていましたが、そこに次期大統領としてのすごい自負・理想に格調も加わって・・・。

さすが リーダーの気概。

また、IT 万能 二個-の割り切りの短期主義のアメリカ人が、映像・ラジオのせつなから書き物になった演説をしっかりと読み直し、歴史的瞬間を自分の手に書き物で保存しに走るとは・・・。

イメージの違うアメリカにびっくりすると共に ここにアメリカの奥があるのか・・・と。



折りも折り、日本でも、世界はアメリカ サブプライム ローン問題に端を発した 金融不安に株価の大暴落そして大不況の追い打ち。何度も聞く 政治家の無節操な付け焼刃の言葉の数々にもううんざり。

- アメリカのサブプライム問題に アメリカ・ヨーロッパは大打撃をうけるが、日本はもう10年バブルを克服し、大丈夫。アメリカやヨーロッパのようにはならぬ。日本の経験をアメリカ・ヨーロッパに教えるのだ・・・と。ところが アメリカに連動して株価は大暴落。その崩落の大きさはアメリカ・ヨーロッパに勝るとも劣らず。

(アメリカと全く同じ線を描いて推移する図式 そのもの)

「自己責任で株を買え 投資運用して資産形成しろ。」と言ってきたのはどうなったのか・・・

老後の預金も大きく目減りである。ローンが払えず、町にはネットカフェ難民があふれ、正規雇用はどこにもなしのその日暮らしが急増していることが、ひっそりと裏で語られている。

- 銀行は政府が助けて「傷は浅い。いま 欧米の買いどきだ」と。国民は不況に苦しみも 銀行は攻めだと言う。その金 みんな 本来 預貯金者へ来る利子をせっせと銀行に積んだやつとちがうのか・・・ 返せ!! と叫びたい。
- 日本も株価大崩落に世界大不況の真っ只中に突入すると次は の言葉がちまたに踊っている。「世界同時の100年に一回の大不況に見舞われている。選挙やっている場合でなく 不況対策に専念する」と。期待が膨らむ中 この対策が「一人当たり12000円の給付金」「日曜日の高速道路の大幅ディスカウント」でそれを誇らしげに演説発表するトップリーダー。アメリカの鼻持ちならぬところもあるが、このトップリーダーの違いに もう啞然と言うか 日本がおかしくなりつつあるのがはっきり映った一瞬と理解する。

日本はずっとアメリカの後を追いや アメリカナイズしてきたと言われるが、そもそも本当だろうか・・・

最近のTVと同じで、表面的な自分に都合のよいかこのいいご都合主義が はびこっただけではないだろうか・・・

ふたを開ければ、日本だけが 世界の孤児。そんな危機感すら感じる最近の政情である。

ぼやいてばかりは いられない。「Yes We Can」である。

ついでながら 先日 山口から神戸へ帰る夕方の高速道路でみたびっくり。
ちょうど長距離トラックが行列をなしてビュンビュン飛ばす時間帯である。
ところが、長距離トラックがおとなしい。

あんだけ ビュンビュン追い抜き競争をしていたトラックが前のトラック
を追い抜かないのである。たまに追い抜くトラックも追い抜き速度は90km。
追い抜くトラックと長いこと平行して走って追い抜いてゆく。

一台だけだったら たまたまか・・・と思うのですが、山口から神戸まで、
次から次に追い抜くトラック皆同じ。

勢いよく猛スピードで追い抜くのはカッコいい乗用車のみ。

ここまで トラック業界の不況が進み 運転手一人ひとりに ここまで業界が追い込まれ、ガソリンのコスト意識が
徹底されているのか・・・とトラック業界の不況のすごさを認識しました。



高速道路を併走するトラック

ちょうど 先日朝日新聞の「天声人語」に 航空自衛隊幹部の「我が国は侵略国家だというのは 濡れ衣」との論文を批判し
た記事が載っている。

「「珍しく」と言うべきか、時代小説の藤沢周平に政治がらみのキナ臭い問題に触れた随筆がある。
先の戦争をめぐる教科書問題が騒然となったとき、く(蹂躪された)相手の立場に立ってみることを
自戯的などというのは軽率な言い方である。」と、その歴史観の一端を述べている。

- ▼ そうした相手の立場はおろか、自らの立場も、政府の立場もおかまいなしの「突撃」には驚いた。
.....
- ▼ 加害の意識を欠き、事実目をつむる内向きの論理は危険なものになりかねない。
冒頭の藤沢周平は、いつもの穏やかな筆致ながら、そう案じていた。
..... 自衛隊の後任は、猛将よりも知将がのぞましい。 」

朝日新聞天声人語より 抜書き

この自衛隊問題も大変ですが、どこか 今の日本の政治家に最も乏しい面を言い当てていませんか.....。

知将のリーダーを待望してはならないのですが、 そんな社会変革をしっかりと推進できると映る政治家いないのか.....。
日本のブレがはやく修正されることを願わずに折られない。

「Yes We Can」。 そう自信をもってそう言って欲しいなあ。

2008. 11. 10. 神戸で

By Mutsu Nakanishi

Internet に掲載避けていた オバマ・バラード

「Yes We Can 」 やれば出来る

It was a creed written into the founding documents that declared the destiny of a nation.

Yes we can.

It was whispered by slaves and abolitionists as they blazed a trail toward freedom.

Yes we can. Yes we can.

It was sung by immigrants as they struck out from distant shores
and pioneers who pushed westward against an unforgiving wilderness.

Yes we can. Yes we can.

歌詞はニューハンプシャー州の予備選後のオバマ氏のスピーチからとったもの、
the Black Eyed Peas のメンバー William James Adams Jr. が作曲、
ボブ・ディランの息子 Jesse Dylan がディレクターで作成された。

2. 巣に引っかかった虫の振動で獲物を知る蜘蛛の習性

今年はどうも蜘蛛が大発生しているようだ。
山口の家に久しぶりに庭の樹木のあちこちに巣をかけている。
吉敷の田中さんの家に行くとやっぱり多い。

きれいに多角形状の蜘蛛の巣の前で、田中さんが「蜘蛛の面白い習性している・・・?」と小さな葉っぱをちぎり、蜘蛛の巣の端にひっつけ、巣の端を小刻みに震わすと、蜘蛛の巣の中心にいた蜘蛛が引っ付いた葉っぱのところにやってきて、葉っぱを抱かえるとそれを巣からはずして、下に落として中央の元の場所に帰ってゆく。

何度やっても そうする。

全く知らなかったのですが、巣に引っかかった虫を蜘蛛は巣の振動で察知して飛んでくる。知りませんでした。

面白がって 家の庭の巣でもやってみました。

むかし、そんな自然を対象とした遊びがたくさんあったのだなあ・・・と。

ところで、あれだけ粘着性のある蜘蛛の巣。

蜘蛛自身は風に揺られたりしたときに隣の巣や自分の巣に引っ付かないのか?

これも これも不思議です。



2008. 10. 19. 山口で by Mutsu Nakanishi

